

第 2 次 さぬき市生涯学習基本計画



平成 28 年 3 月
さぬき市教育委員会

第1章 第2次生涯学習基本計画策定にあたって

I	計画の趣旨	3
II	計画の背景	3
III	計画の目的	4
IV	計画の期間	4

第2章 生涯学習を取り巻く現状と課題

I	現状分析	5
	さぬき市生涯学習市民意識アンケート調査結果	
II	各分野における課題	55
1	学校・家庭教育における課題	
2	生涯学習・スポーツにおける主な課題	
3	歴史・文化における主な課題	
4	青少年健全育成における主な課題	
5	人権・同和教育における主な課題	

第3章 計画の基本方針

I	基本理念	57
II	基本目標と内容	58

第4章	計画の内容	60
-----	-------	----

第5章	計画の推進	63
-----	-------	----

資料編

計画策定の経過

さぬき市社会教育委員



第1章

計画策定の基本的な考え方



I 計画の趣旨

さぬき市では、市民一人ひとりの主体的な参画により、創造性を十分に発揮するなかで、生きがいと満ちた人生を送ることができる生涯学習社会を築くため、「さぬき市生涯学習基本計画（平成21年3月）」を策定して、さぬき市の生涯学習を総合的、計画的に推進してまいりました。

本計画は、「第2次さぬき市総合計画（平成27年3月）」の基本構想における「4 まちづくりの基本目標」にある「（4）基本目標Ⅳ 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち」を受け、さらに教育の振興のための施策に関する市の基本的な計画である「さぬき市教育振興基本計画（平成25年2月）」との整合性を図り、今後豊かな人生を送ることのできる生涯学習社会の実現を目指していくため、「第2次さぬき市生涯学習基本計画」を策定するものです。

II 計画の背景

近年は人口減少と超高齢社会の到来、地球温暖化などの環境問題、それに伴う大型化、多発化する自然災害の発生、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）への交渉参加に伴う経済情勢の変動、産業構造や雇用形態の変化、インターネットの普及などに伴う消費者トラブルの増加、地域コミュニティの希薄化など、社会の変化は市民生活や家庭生活を営む上で大きく影響を与えています。このように絶えず変化する社会の中で、市民が楽しく生きがいを持って生活するためには、生涯を通じて趣味、教養・文化、スポーツ・レクリエーション、ボランティア活動など、生活のあらゆる分野において自由に楽しく取り組んでいける活動を行っていくことが大切です。その成果が個人の生きがいだけでなく、様々な形で活用することによりまちづくりや地域づくりの基盤となり、地域社会が抱える問題の解決につながっていきます。

Ⅲ 計画の目的

「第2次さぬき市総合計画」の基本構想のうち基本目標Ⅳ「学ぶ意欲と豊かな心を育むまち」の実現に向け、市民が生涯学習活動を通して必要な知識や能力を身につけ、それらの成果を活かせるような市民参加型、協働型※の生涯学習によるまちづくりの推進を進めていくため、5つの目標を掲げ努力していきます。

※協働型：協働（きょうどう）とは、複数の主体が、何らかの目標を共有し、ともに力を合わせて活動することをいう。

Ⅳ 計画の期間

計画の期間は平成28年度から平成37年度までの10年間とし、「第2次さぬき市総合計画」や「さぬき市教育振興基本計画」と整合性を図りつつ、時代のニーズに合わせて見直すものとします。

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
期 間	第1次 さぬき市 総合計画 ～平成26年度 さぬき市基本構想 平成27年度～平成38年度 前期基本計画 平成27年度～平成30年度 中期基本計画 平成31年度～平成34年度 後期基本計画 平成35年度～平成38年度													
	さぬき市教育振興基本計画 平成25年度～平成29年度 さぬき市教育振興基本計画 平成30年度～平成 年度													
	第2次さぬき市生涯学習基本計画 平成28年度～平成37年度 見直し期間													

第2章

生涯学習を取り巻く現状と課題

I 現状分析

市民意識アンケート調査結果報告

I 調査の概要

1 調査の目的

本計画の策定に先立ち、さぬき市における市民の生涯学習に関する意識や行動実態について把握することを目的としてアンケート調査を実施しました。

2 調査の設計

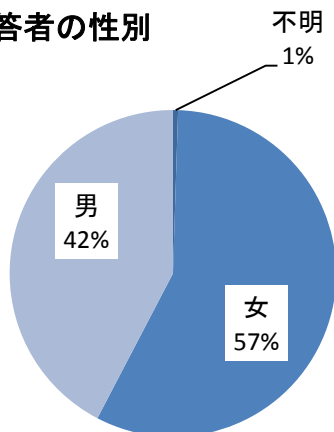
調 査 地 域	さぬき市
調 査 対 象	さぬき市に住む 18 歳以上の方
調 査 数	3,000 人（人口比率 6.4%）
回 収 数	940 人（回収率 31.3%）
調 査 期 間	平成 26 年 1 月 20 日～2 月 28 日

3 報告書の見方

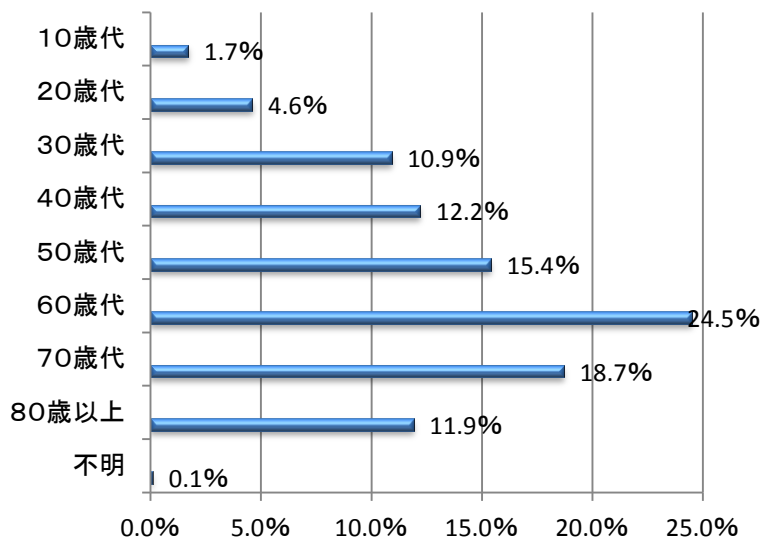
- (1) 回答率 (%) は、その質問の回答数を基数（N=Number of Case の略）として算出し、小数点以下第 2 位を四捨五入しています。したがって、比率の数値の合計が 100.0% 丁度にならない場合があります。
- (2) 複数回答の設問は、すべての比率を合計すると 100.0% を超えることがあります。
- (3) グラフについては、無回答及び無効回答を属性項目では「不明」、設問項目では「無回答」として掲載しています。

4. 回答者の属性

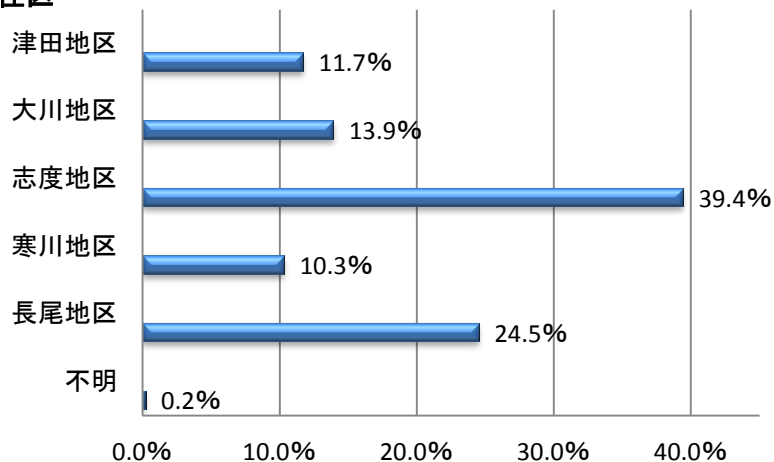
回答者の性別



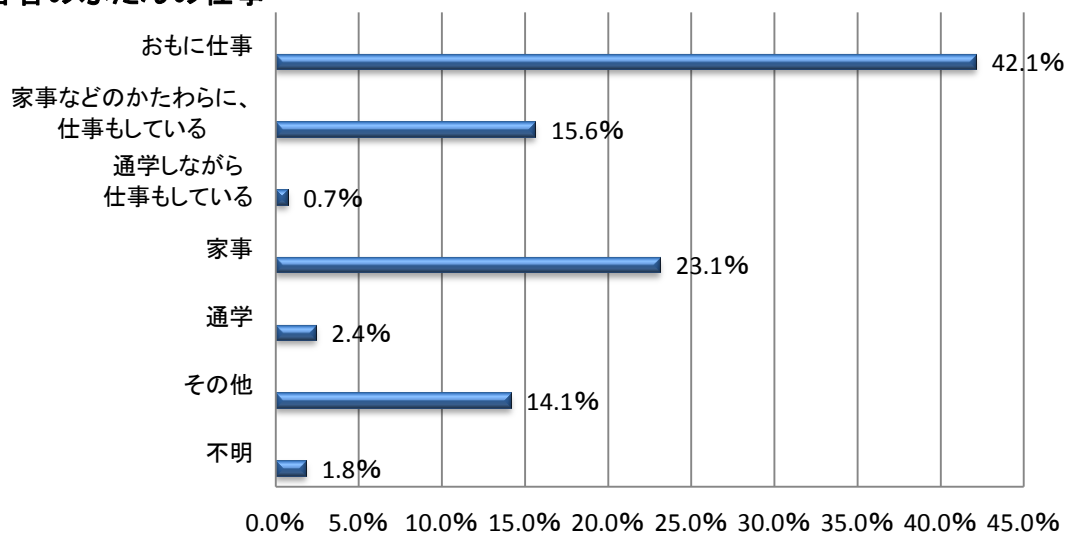
回答者の年齢



回答者の居住区



回答者のふだんの仕事



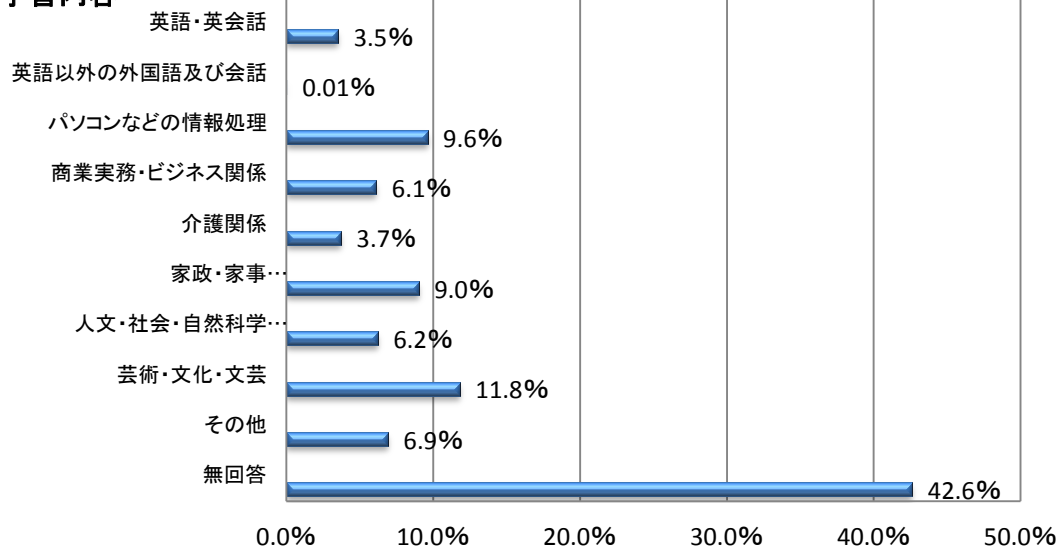
Ⅱ 調査結果

1.学習・自己啓発・スキルアップについて

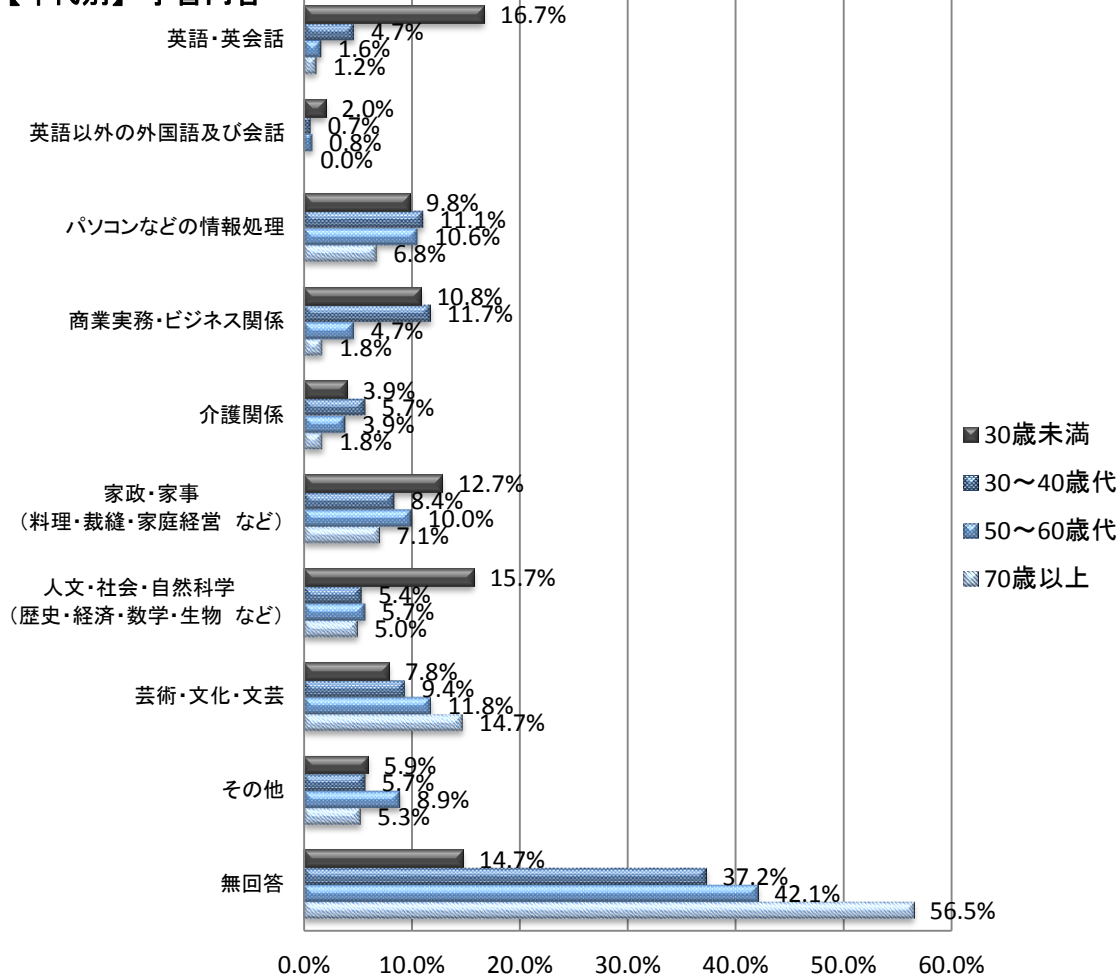
(1) どのような内容のものを学習しましたか。次の中から行っている頻度が高い順に3項目選択してください。

「芸術・文化・文芸」が11.8%と多く、次いで「パソコンなどの情報処理」(9.6%)、「家政・家事」(9.0%)となっている。

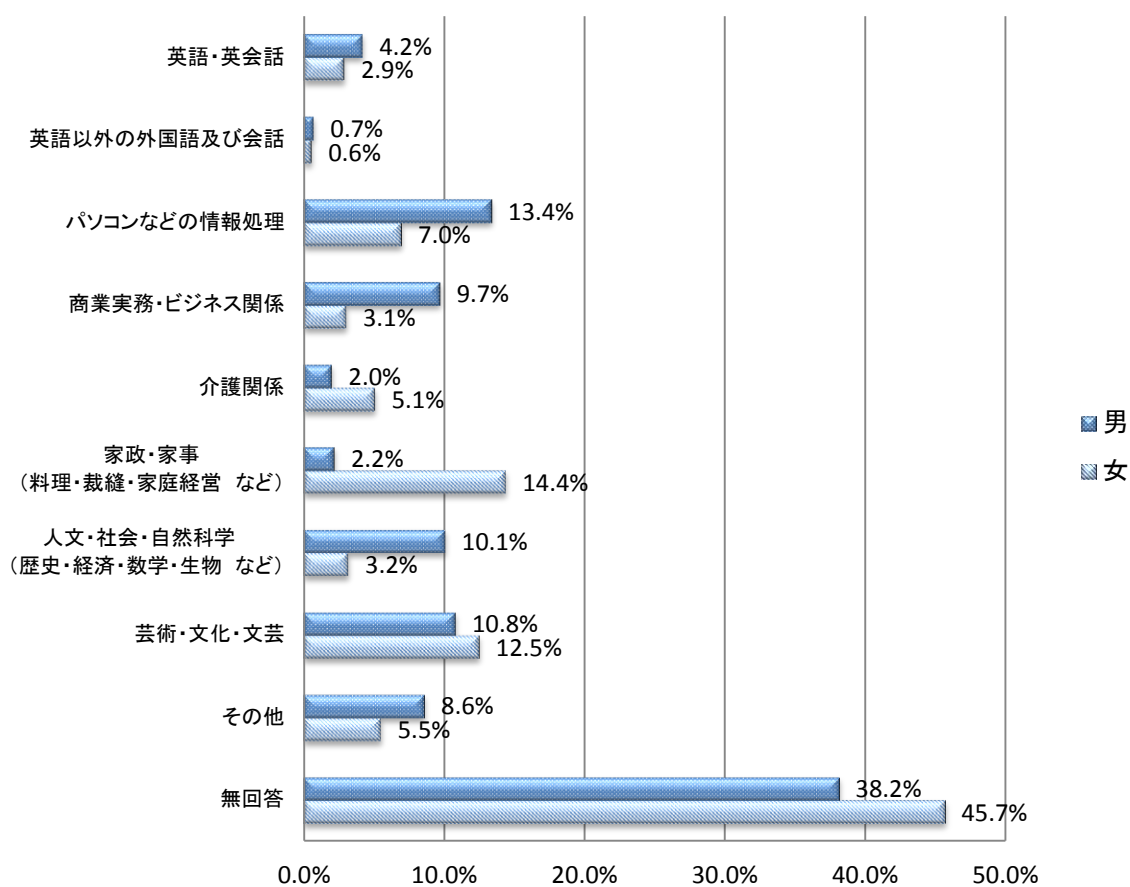
学習内容



【年代別】学習内容



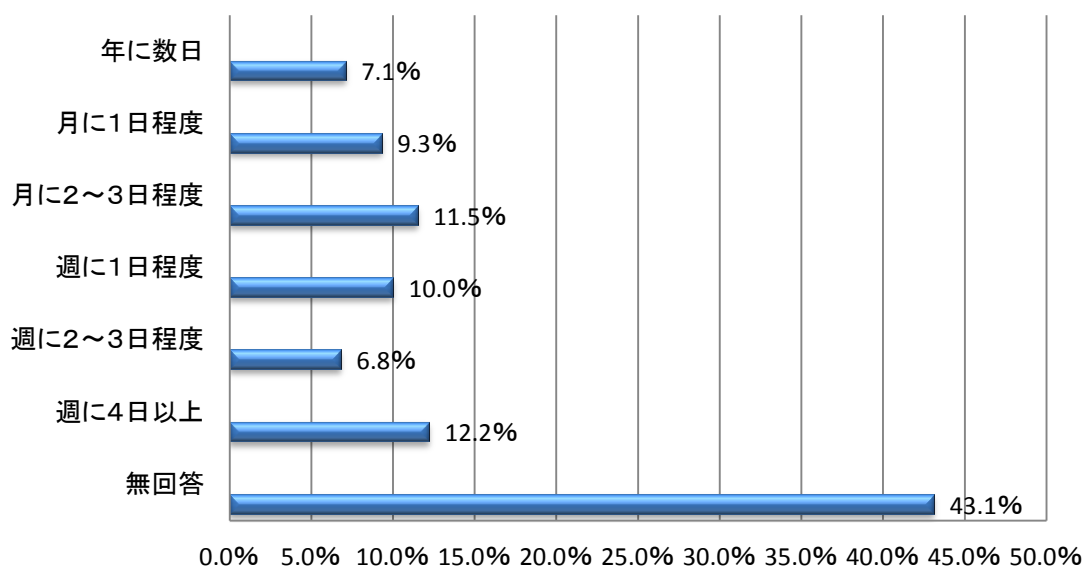
【男女別】 学習内容



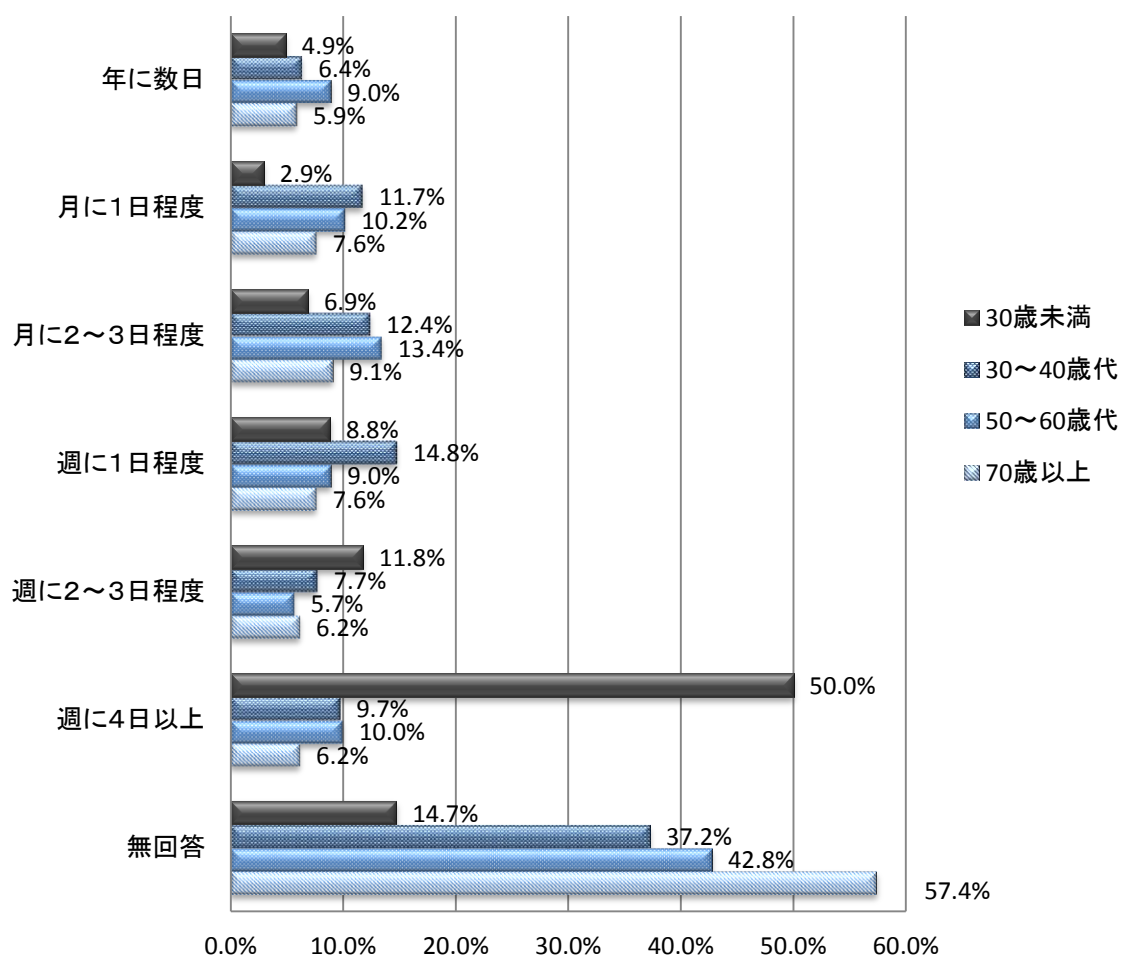
(2) どれくらいの頻度で行っていますか。

週に4日以上(12.2%)、月に2～3日程度(11.5%)、週に1日程度(10.0%)となっている。

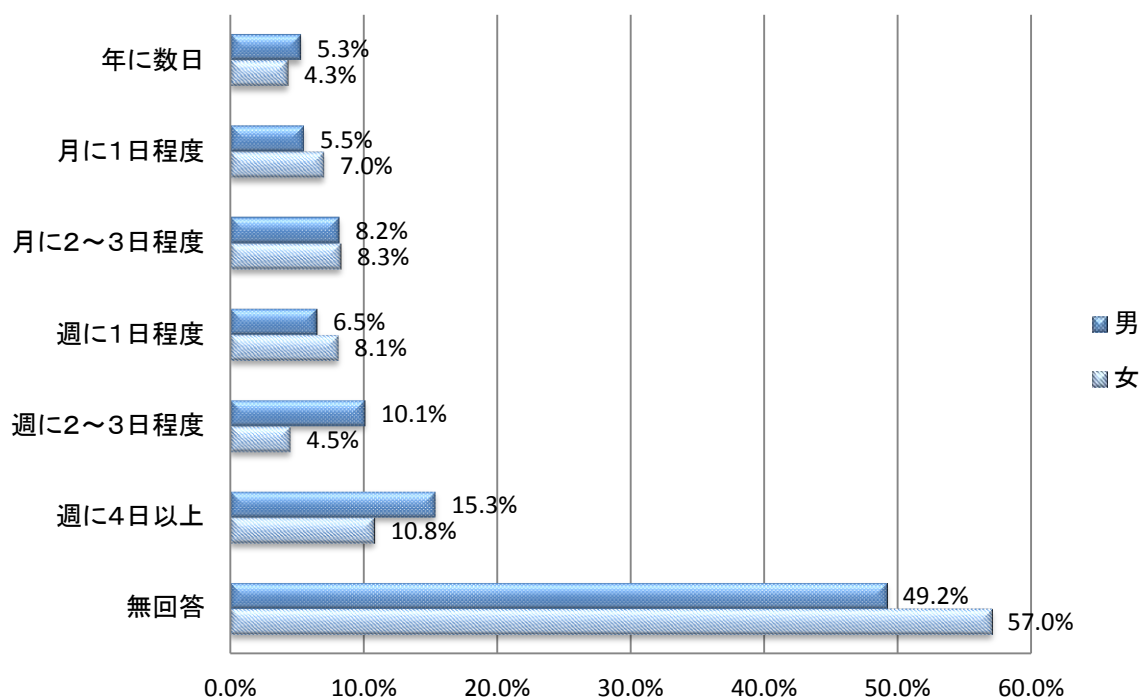
学習の頻度



【年代別】学習の頻度

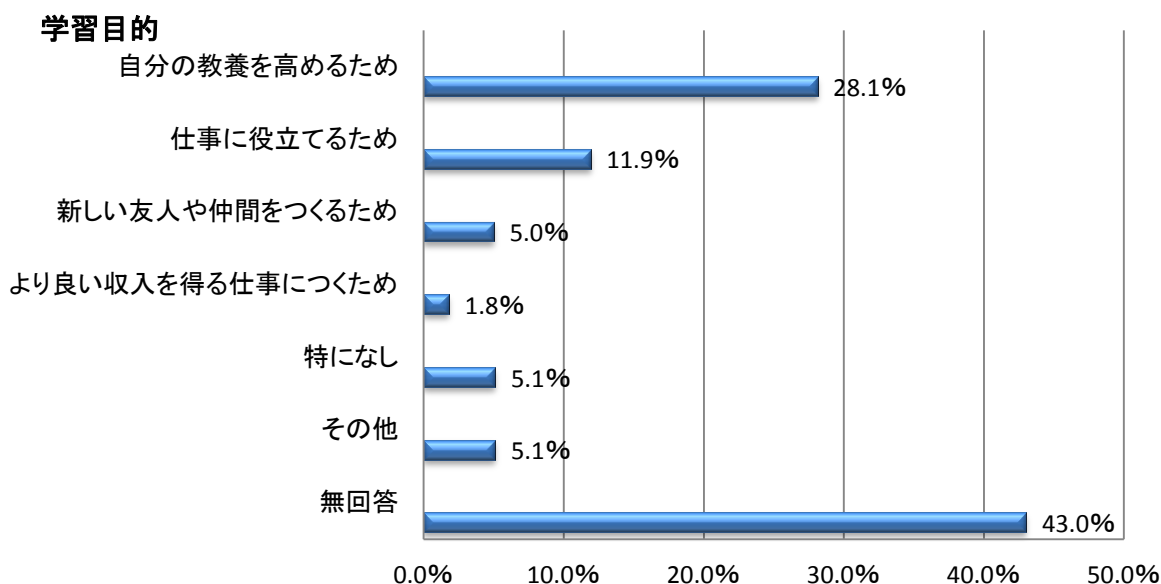


【男女別】学習の頻度

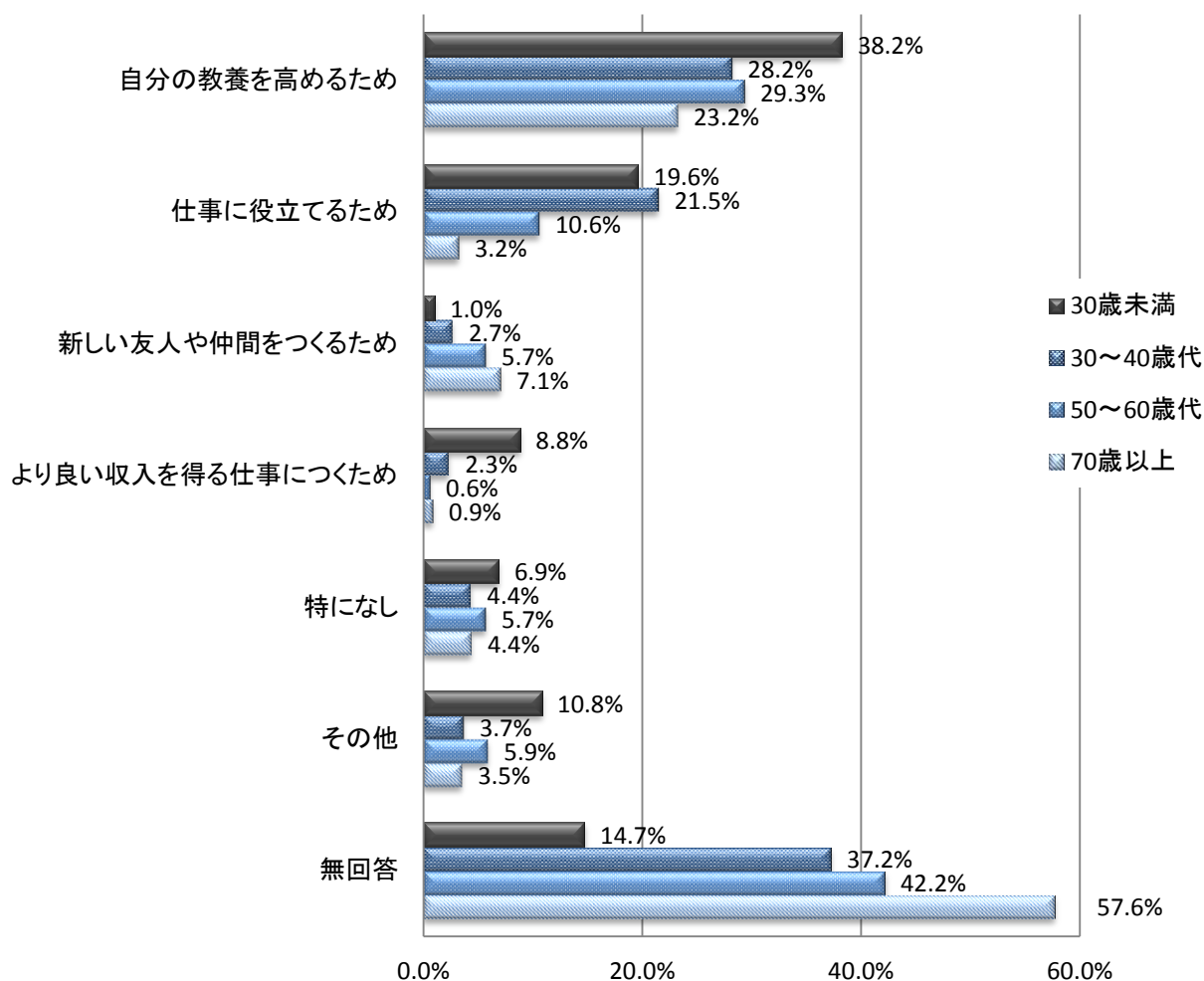


(3) どのような目的で学習しましたか。

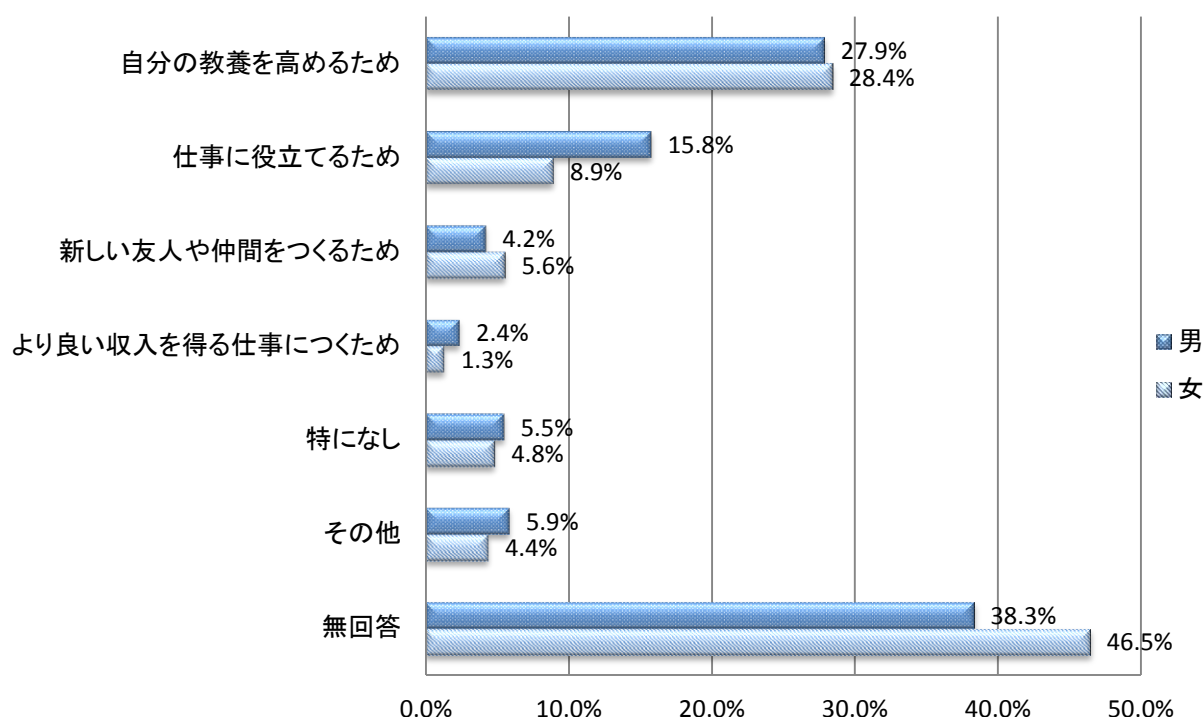
「自分の教養を高めるため」が28.1%と回答があった中では最も多く、次いで「仕事に役立てるため」(11.9%)、「新しい友人や仲間をつくるため」(5.0%)となっている。



【年代別】 学習目的



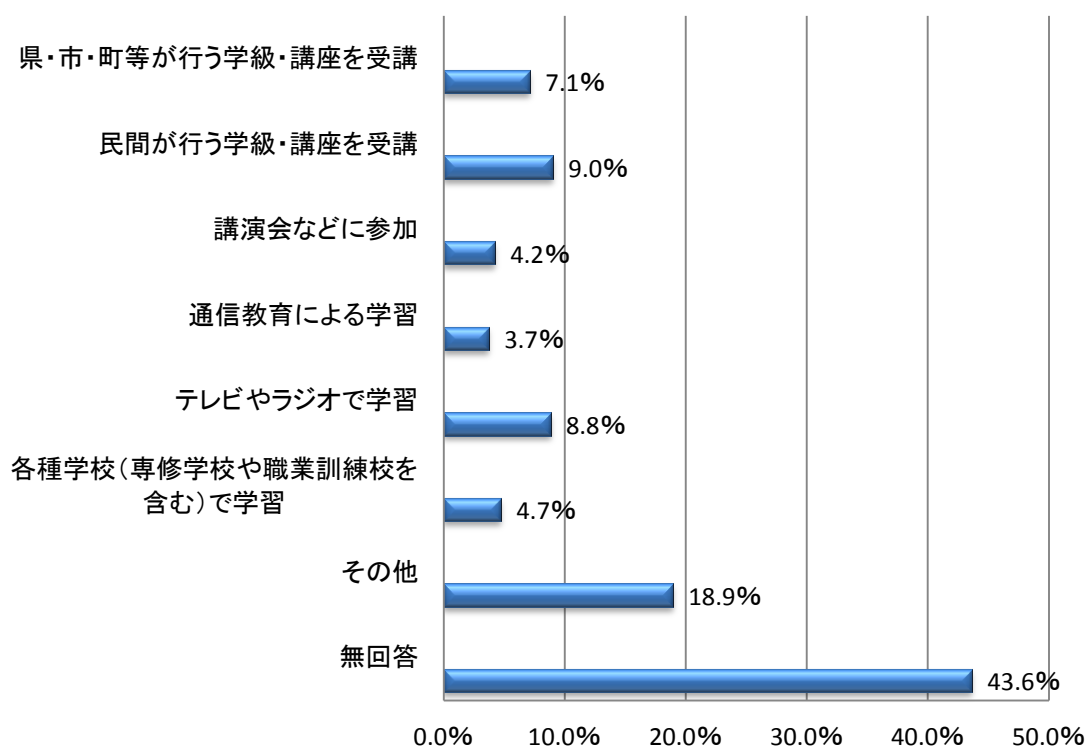
【男女別】学習目的



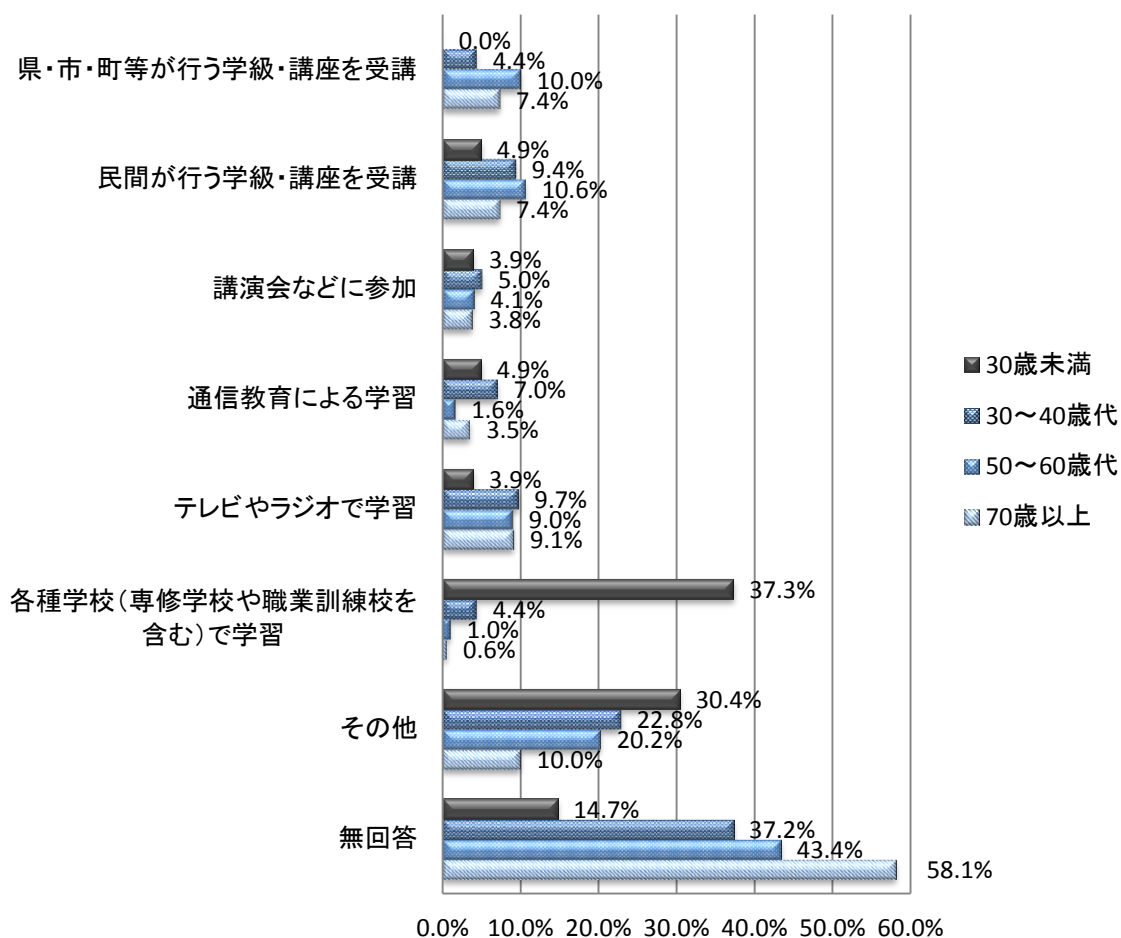
(4) どのような方法で学習しましたか。

「民間が行う学級・講座を受講」(9.0%)、「テレビやラジオで学習」(8.8%)、「県・市・町等が行う学級・講座を受講」(7.1%)となっている。

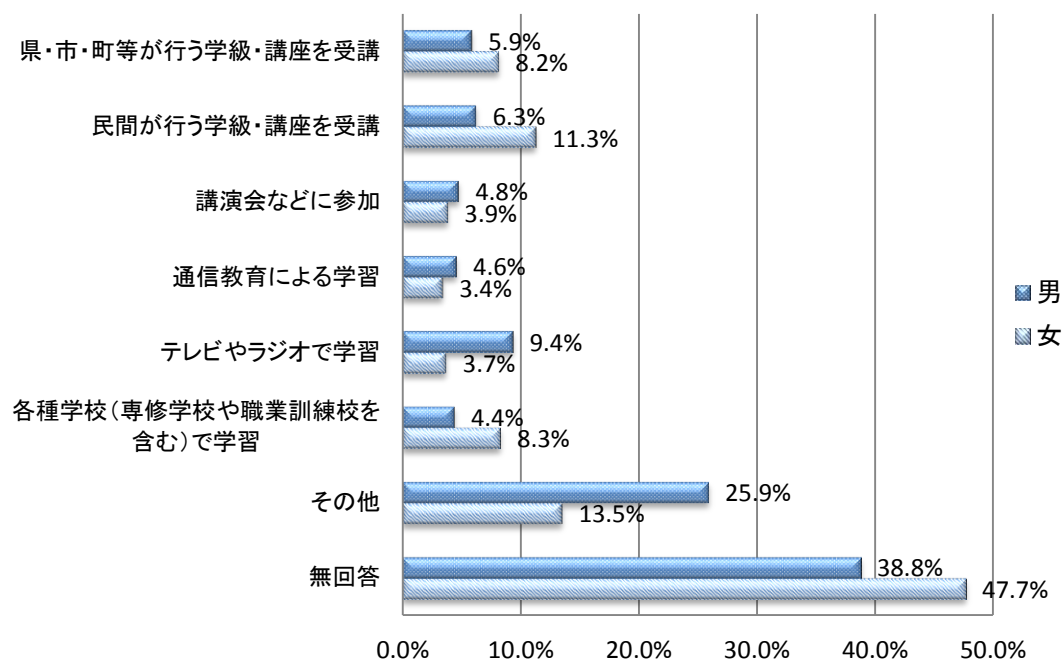
学習方法



【年代別】学習方法



【男女別】学習方法

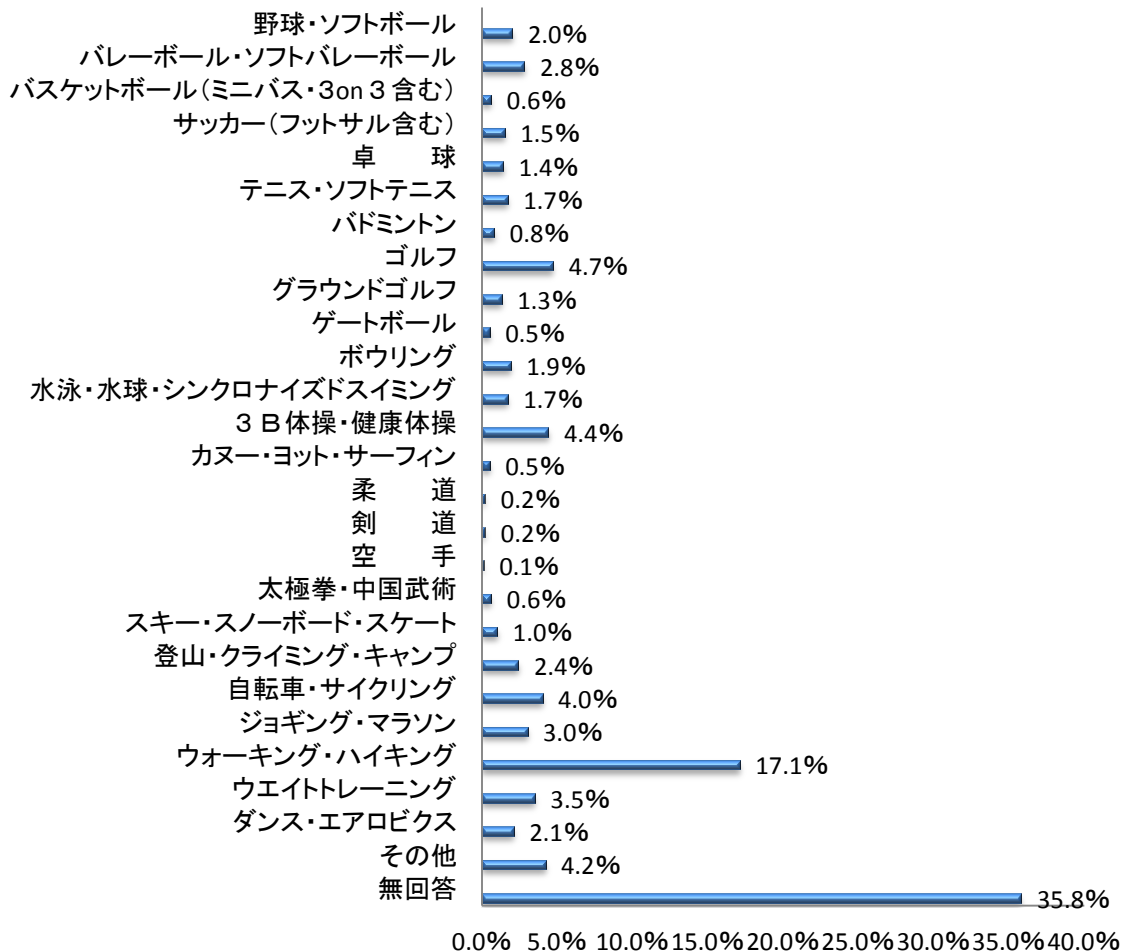


2. スポーツ及び体力づくりについて

(1) どのようなスポーツ及び体力づくりをしていますか。次の中から行っている頻度が高い順に3項目選択してください。

「ウォーキング・ハイキング」が17.1%で、次いで「ゴルフ」(4.7%)、「3B体操・健康体操」(4.4%)となっている。

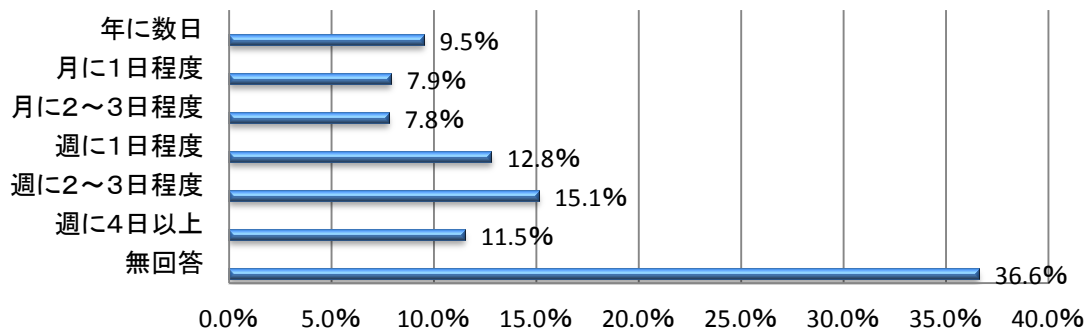
スポーツ、体力づくりの種類



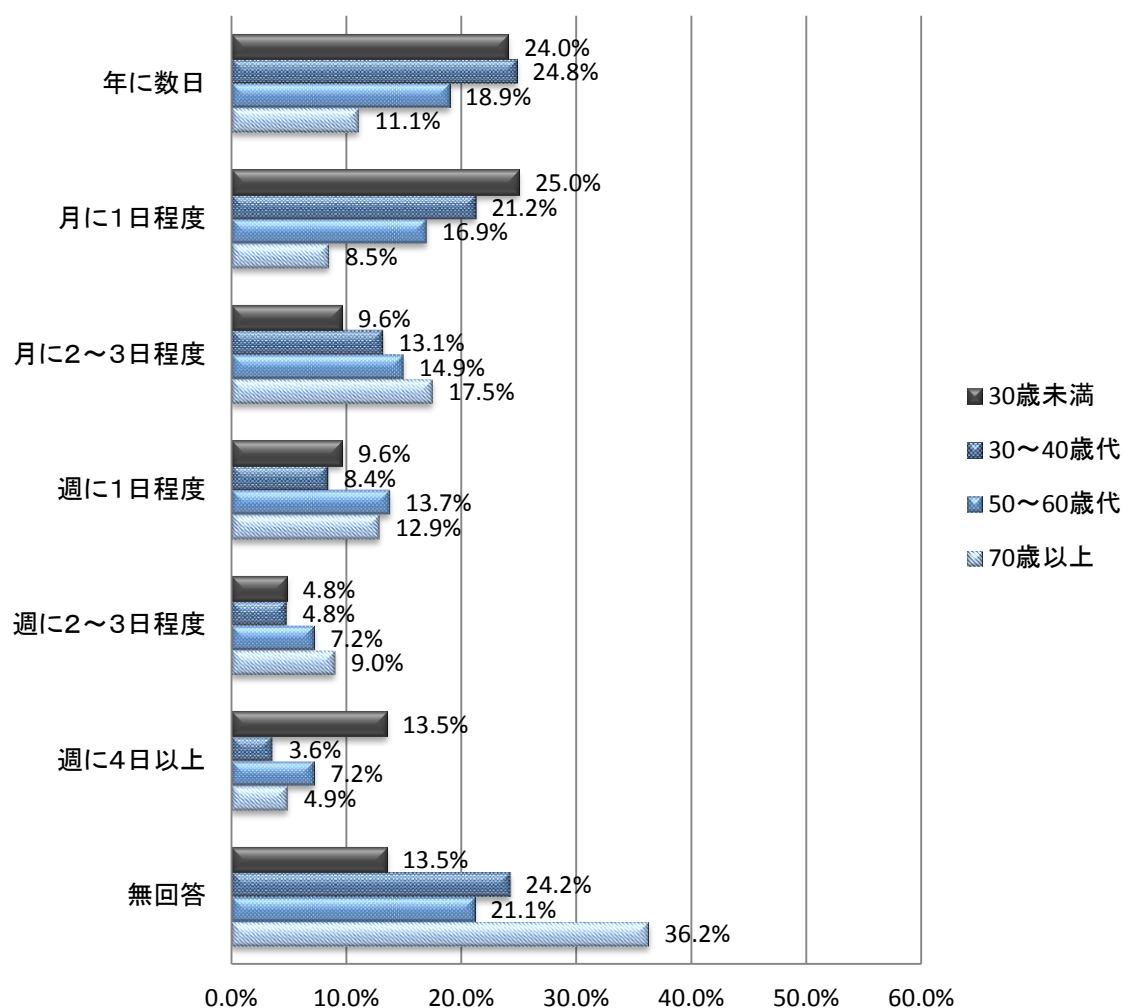
(2) どれくらいの頻度で行っていますか。

「週に2～3日程度」(15.1%)、「週に1日程度」(12.8%)、「週に4日以上」(11.5%)となっている。

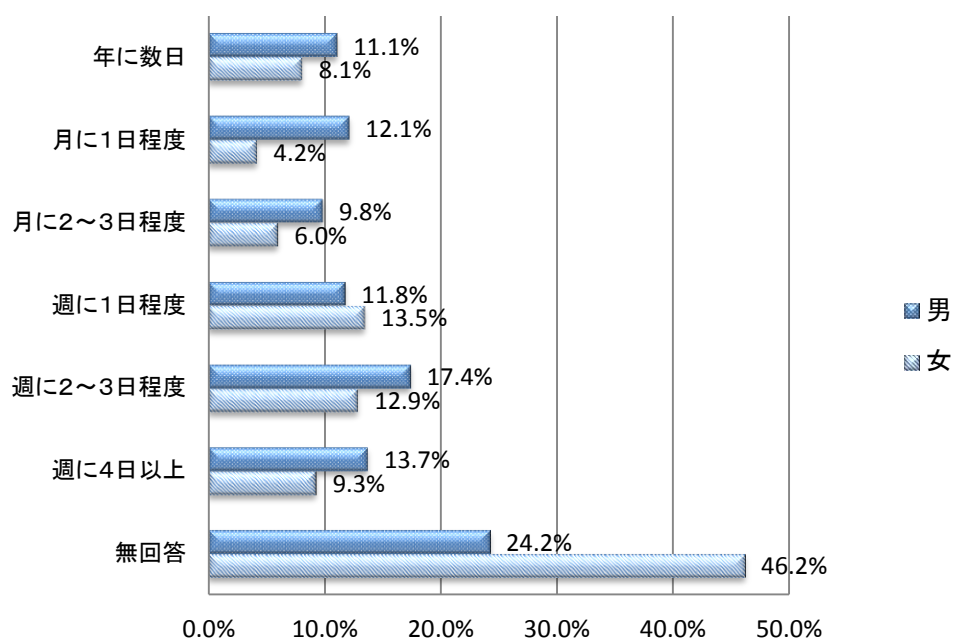
スポーツ、体力づくりの頻度



【年代別】 スポーツ、体力づくりの頻度



【男女別】 スポーツ、体力づくりの頻度



(3) どこで行いましたか。

「民間営業施設」が8.5%と最も多く、「その他公共施設」(5.6%)、「個人住宅等」(5.4%)がよく似た割合で利用されている。

利用施設

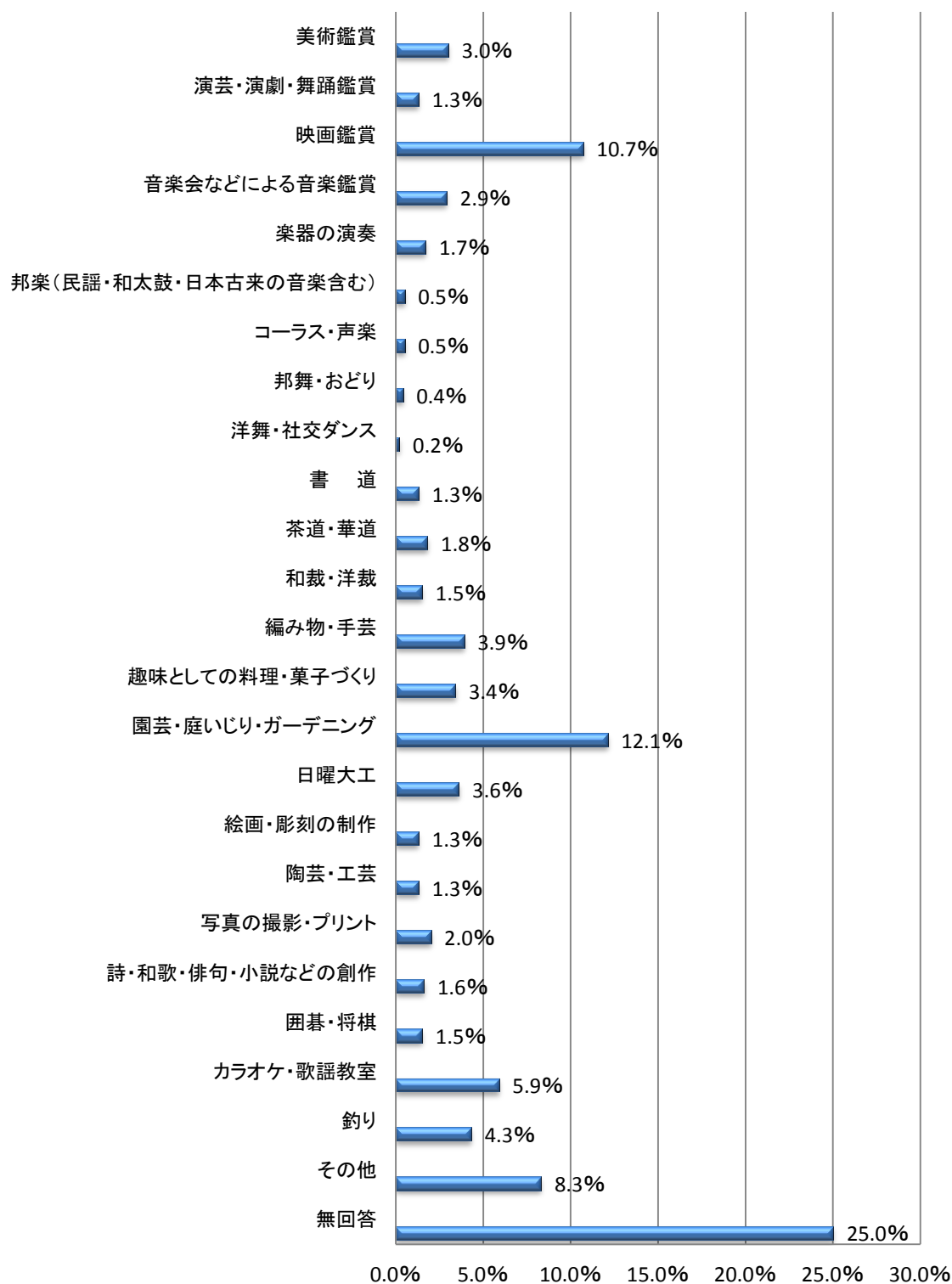


3. 趣味・娯楽について

(1) どのようなことをしていますか。次の中から行っている頻度が高い順に3項目選択してください。

「園芸・庭いじり・ガーデニング」が12.1%、次いで「映画鑑賞」(10.7%)となっている。

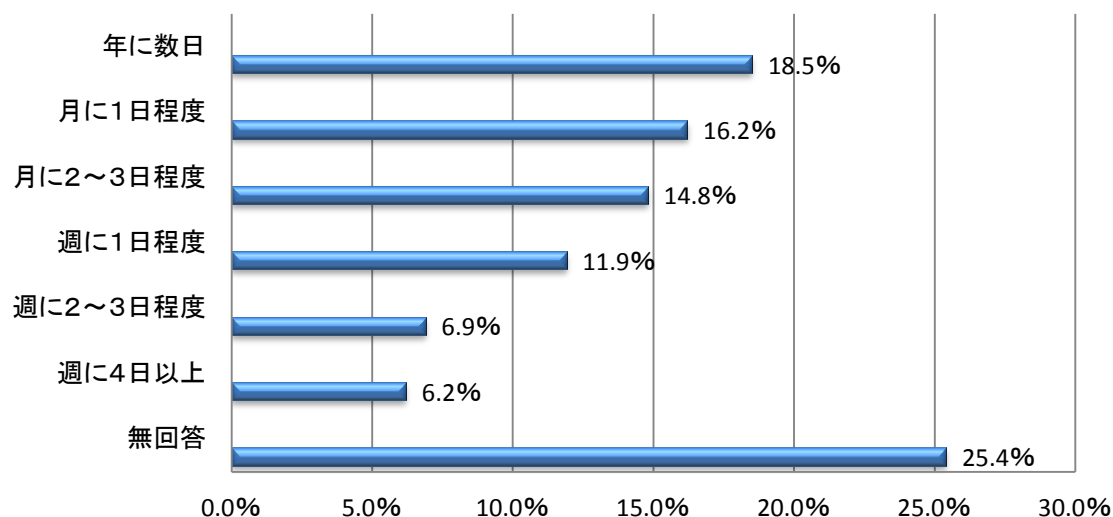
趣味・娯楽



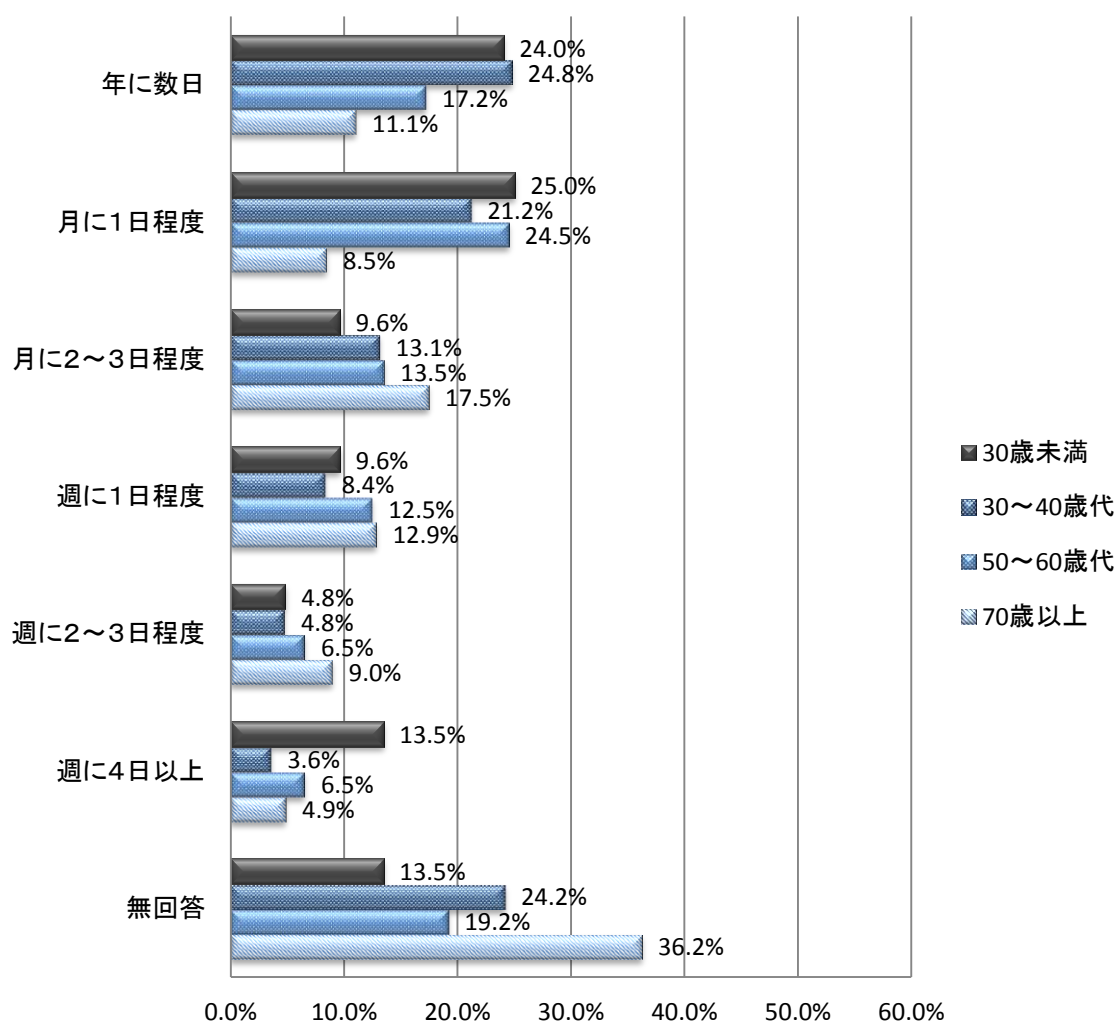
(2) どれくらいの頻度で行っていますか。

「年に数日」が18.5%と多く、次いで「月に1日程度」(16.2%)、「月に2～3日程度」(14.8%)となっている。

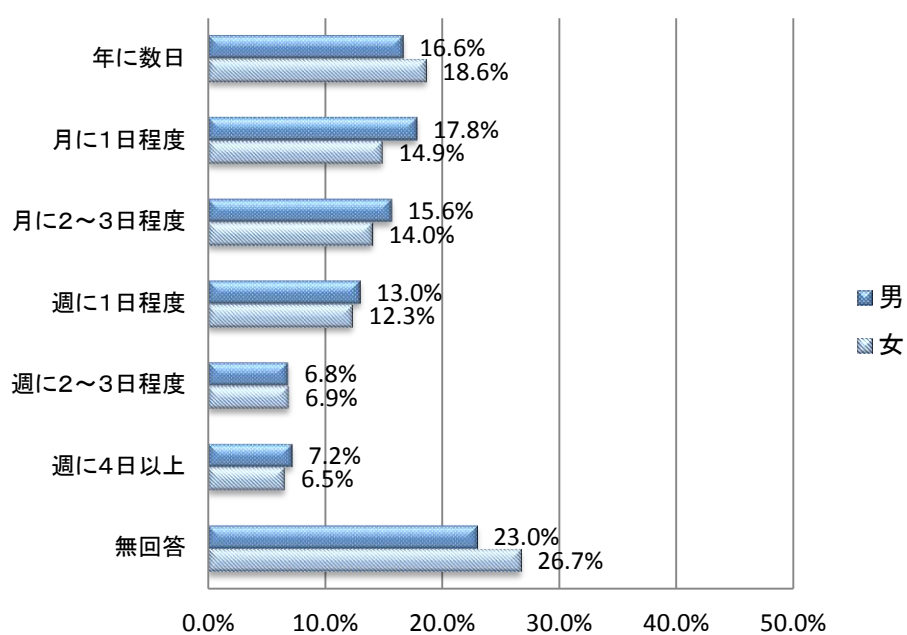
趣味・娯楽の頻度



【年代別】趣味・娯楽の頻度



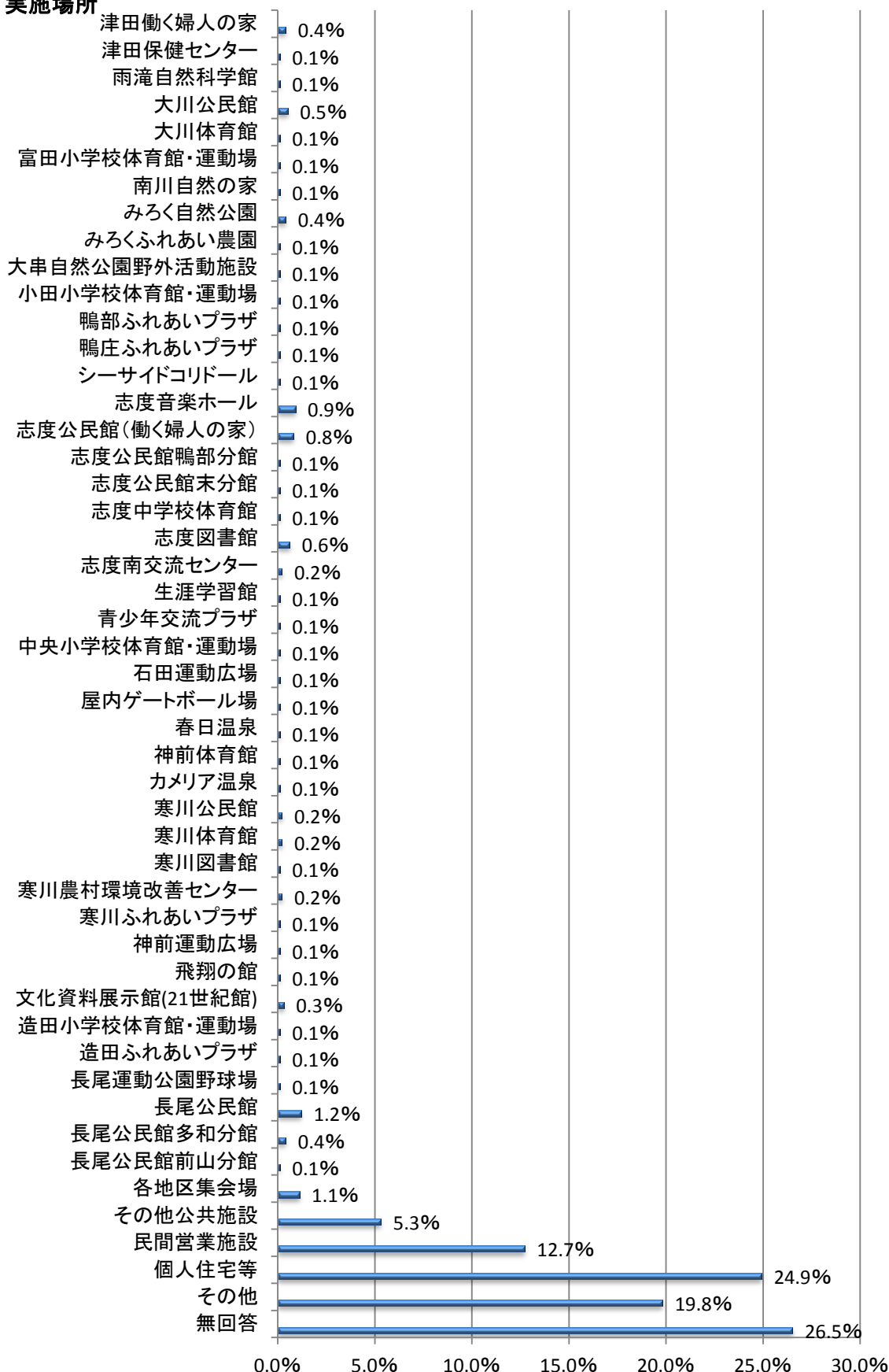
【男女別】 趣味・娯楽の頻度



(3) どこで行いましたか。

「個人住宅等」が24.9%と最も多く、次いで「民間営業施設」(12.7%)「その他公共施設」(5.3%)となっている。

実施場所

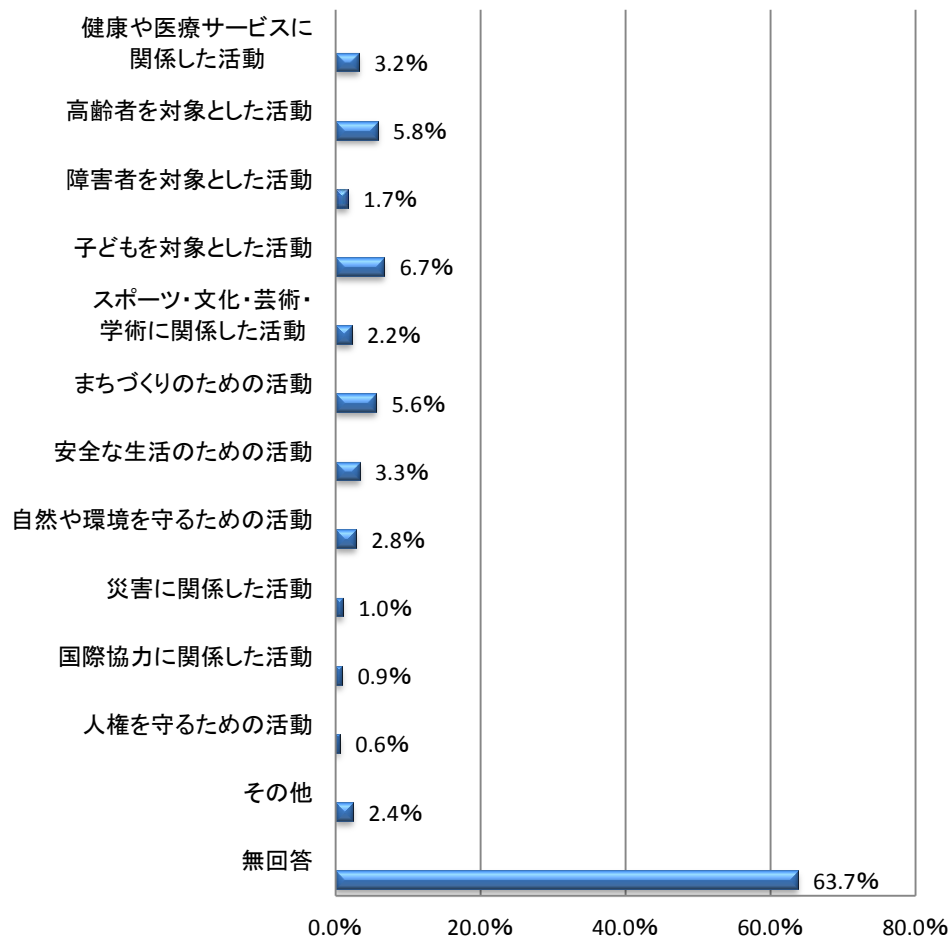


4. ボランティア活動について

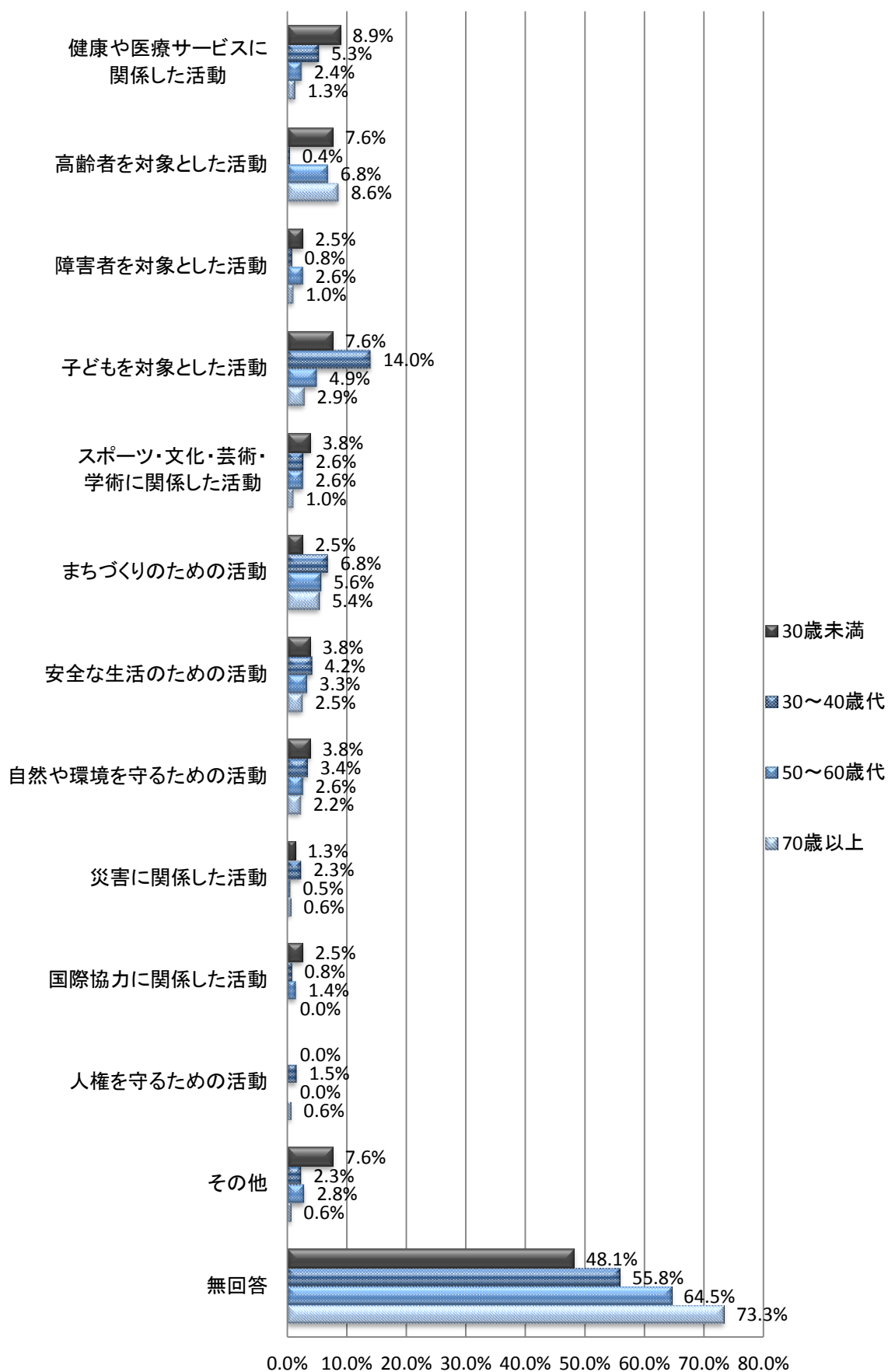
(1) どのような活動をしていますか。次の中から行っている頻度が高い順に3項目選択してください。

「子どもを対象とした活動」(6.7%)、「高齢者を対象とした活動」(5.8%)、「まちづくりのための活動」(5.6%)が上位を占めている。

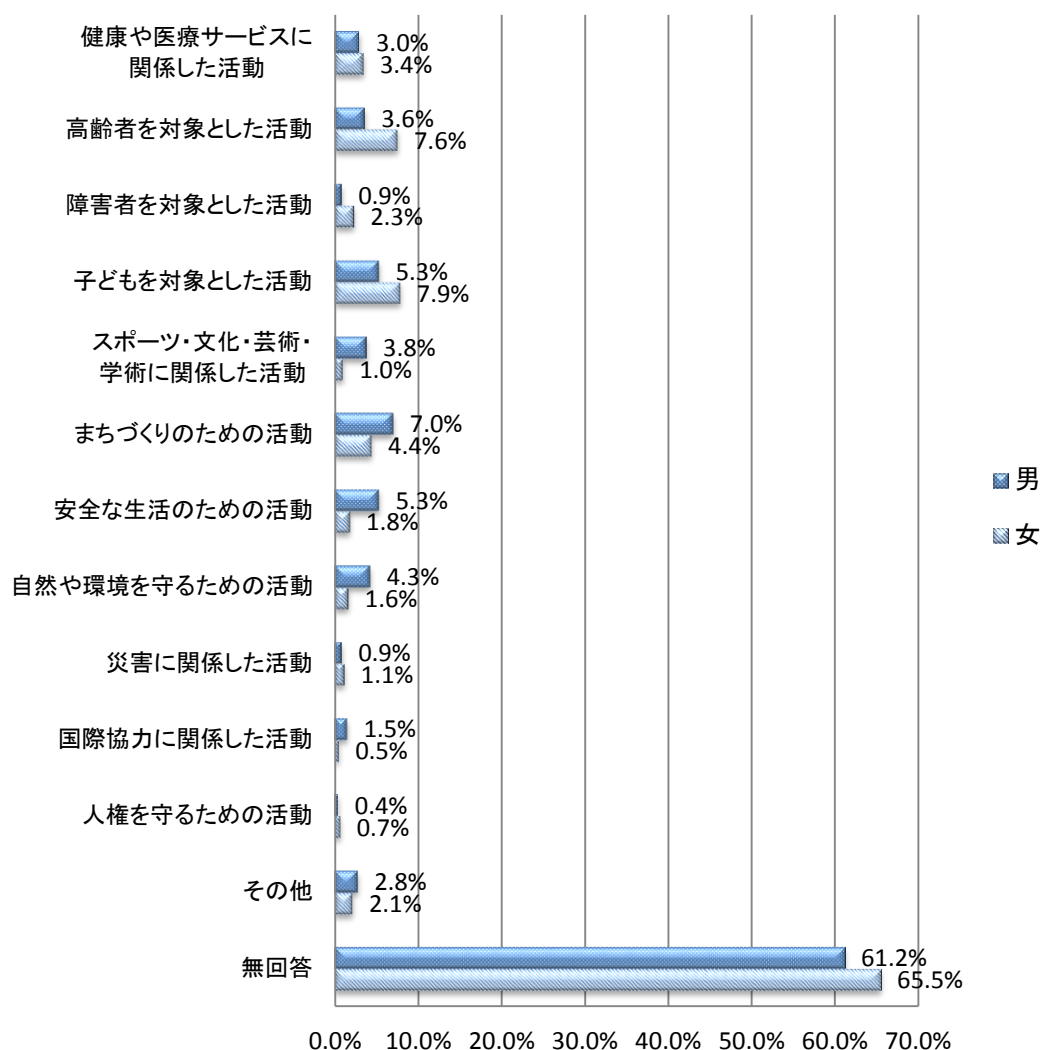
ボランティア活動内容



【年代別】 ボランティア活動内容



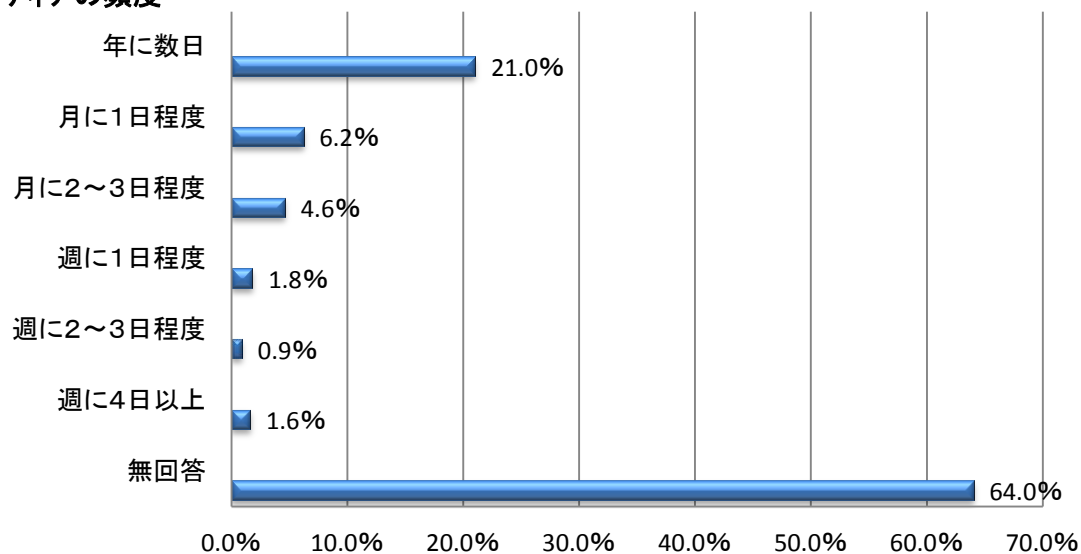
【男女別】 ボランティア活動内容



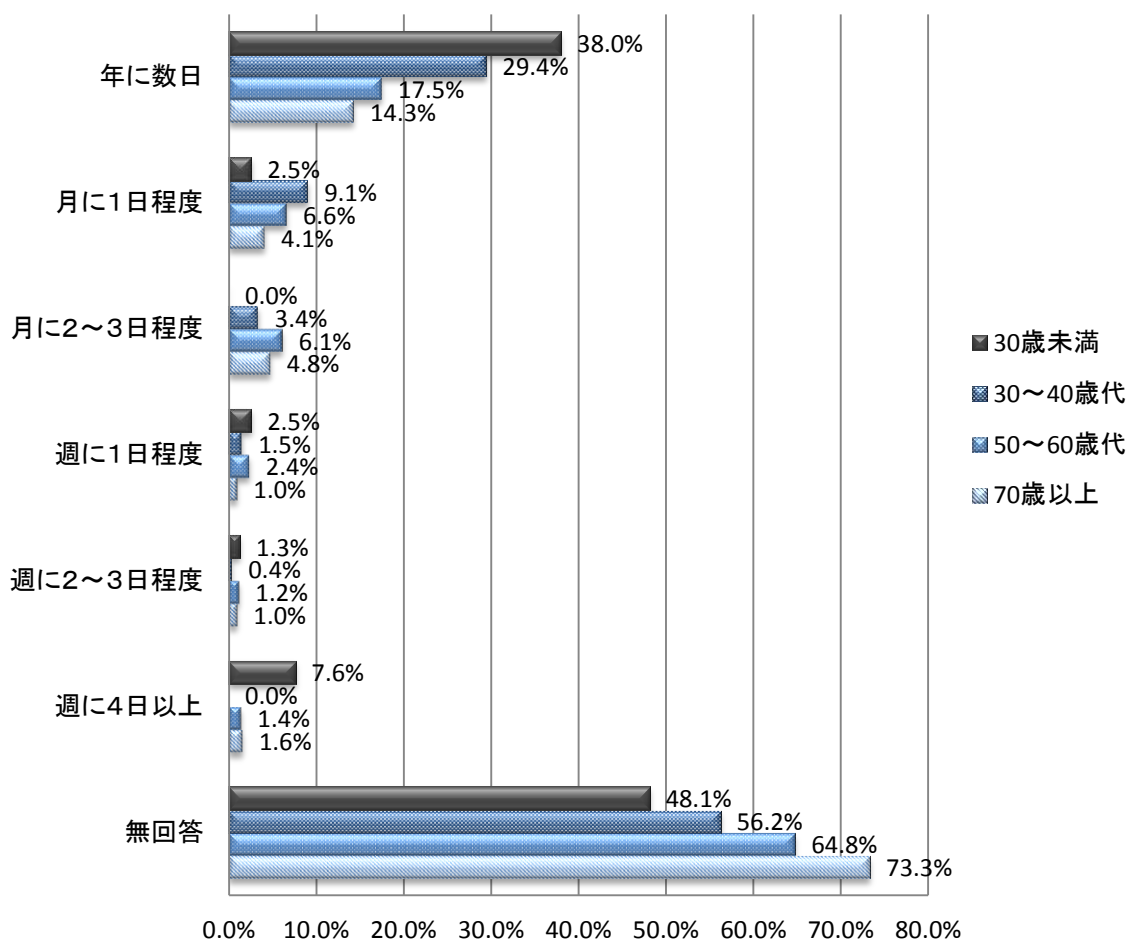
(2) どれくらいの頻度で行っていますか。

「年に数日」が21.0%と最も多く、次いで「月に1日程度」(6.2%)、「月に2～3日程度」(4.6%)となっている。

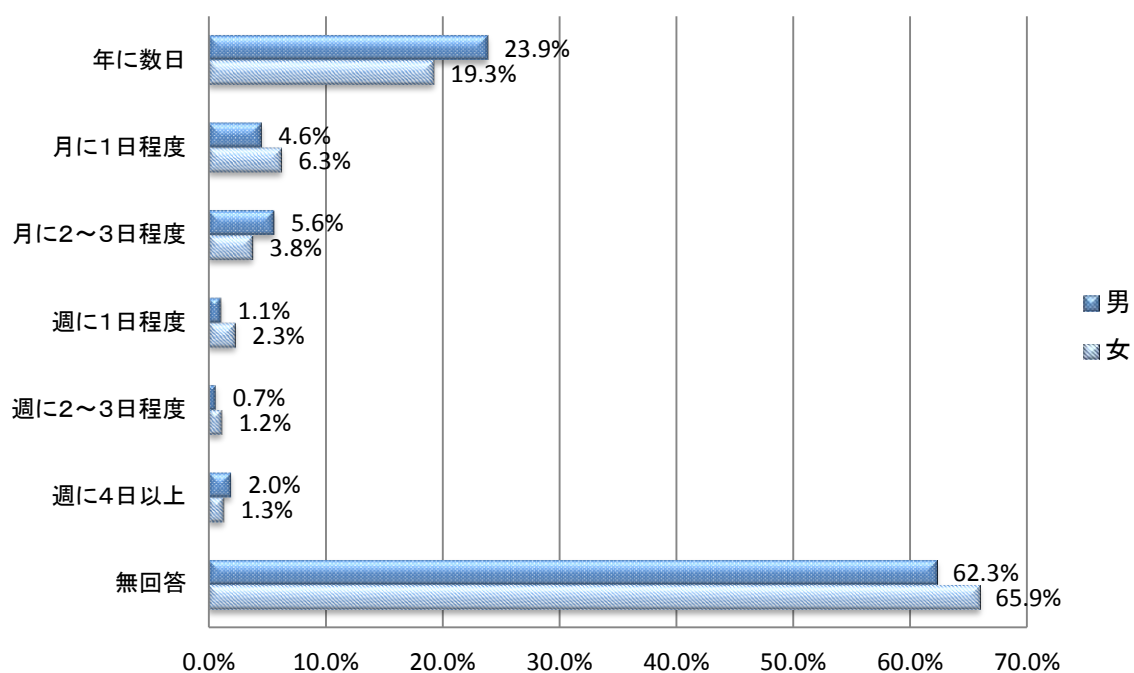
ボランティアの頻度



【年代別】 ボランティア頻度



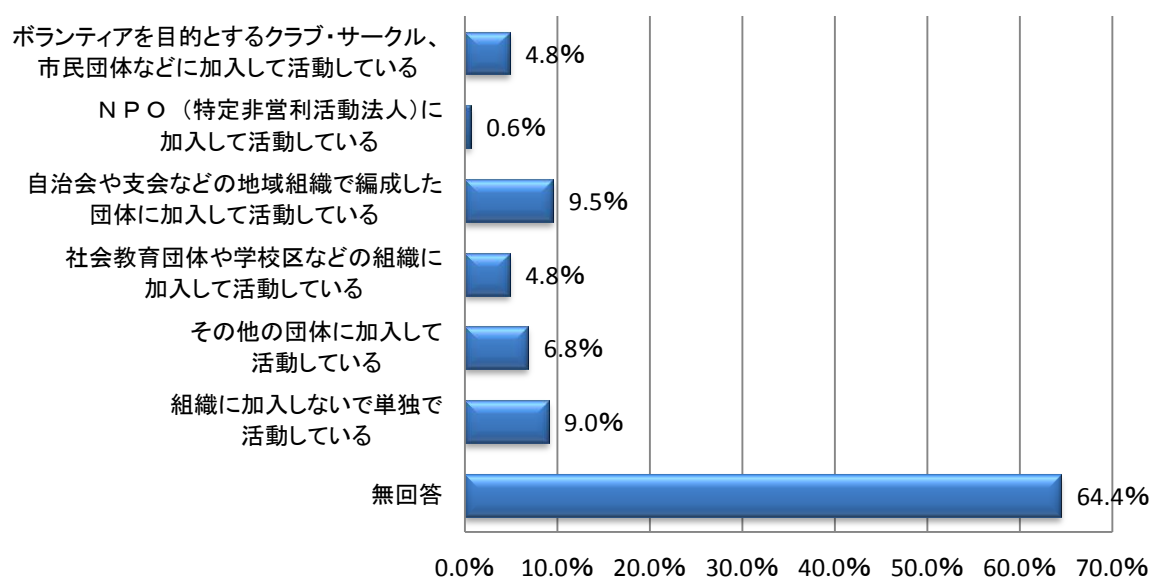
【男女別】 ボランティア頻度



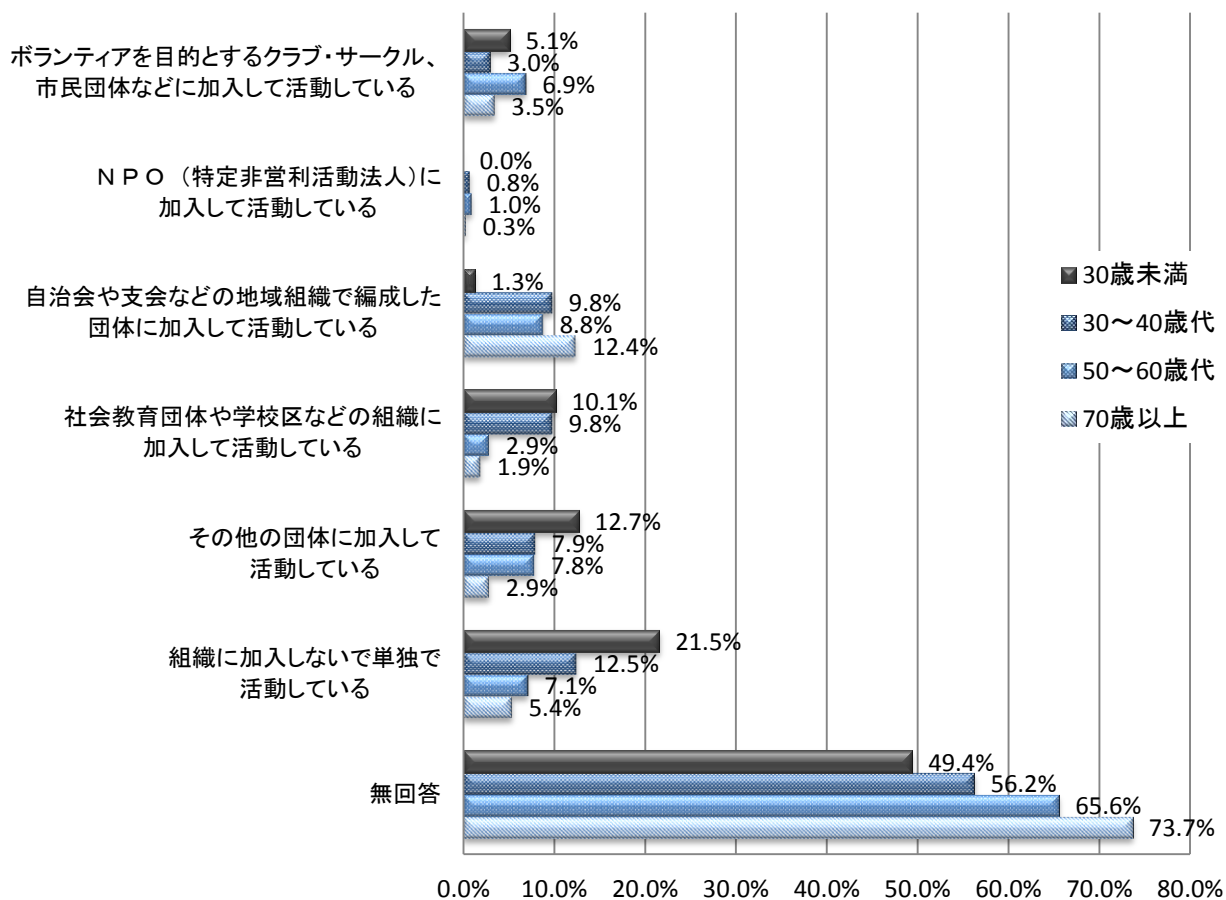
(3) 団体などに加入して活動していますか。

「自治会や支会などの地域組織で編成した団体に加入して活動している」が9.5%、「組織に加入しないで単独で活動している」が9.0%とよく似た割合になっており、次いで「その他の団体に加入して活動している」が6.8%となっている。

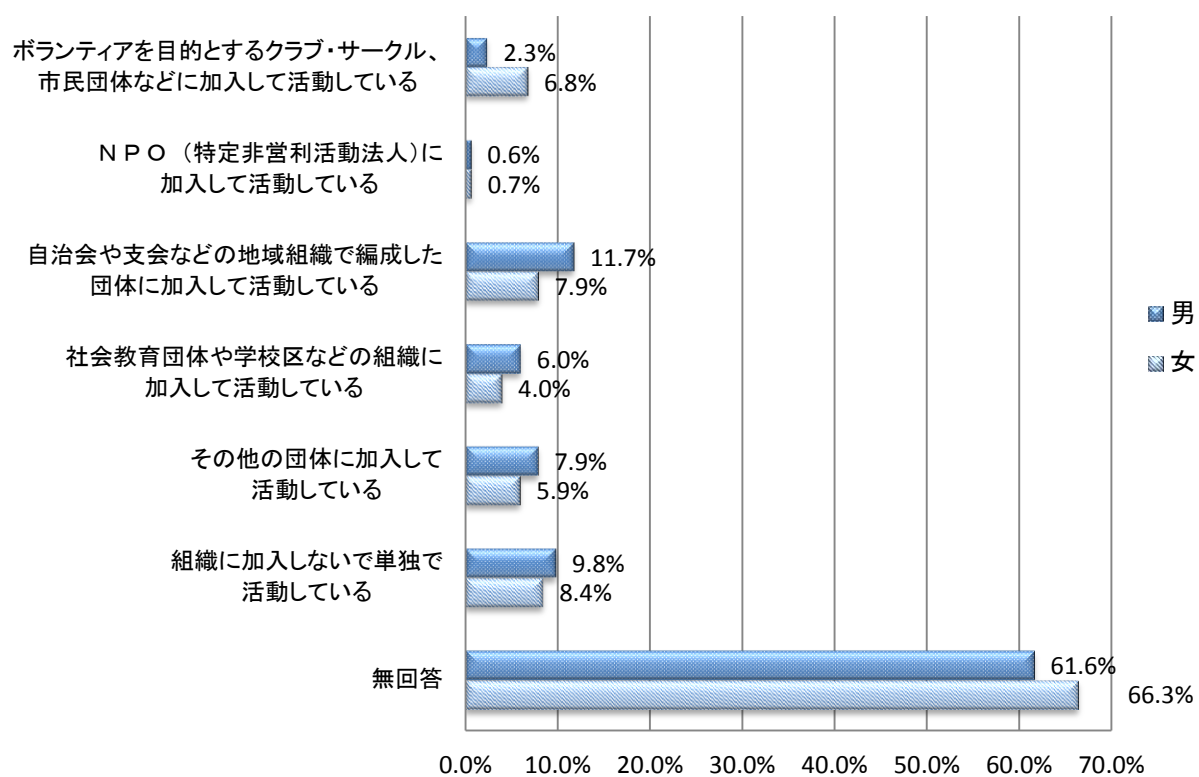
加入団体



【年代別】 ボランティア加入団体



【男女別】 ボランティア加入団体

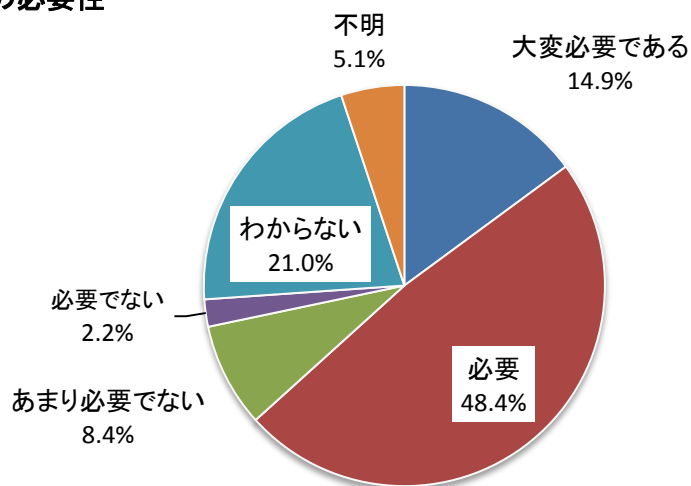


Ⅲ 生涯学習について

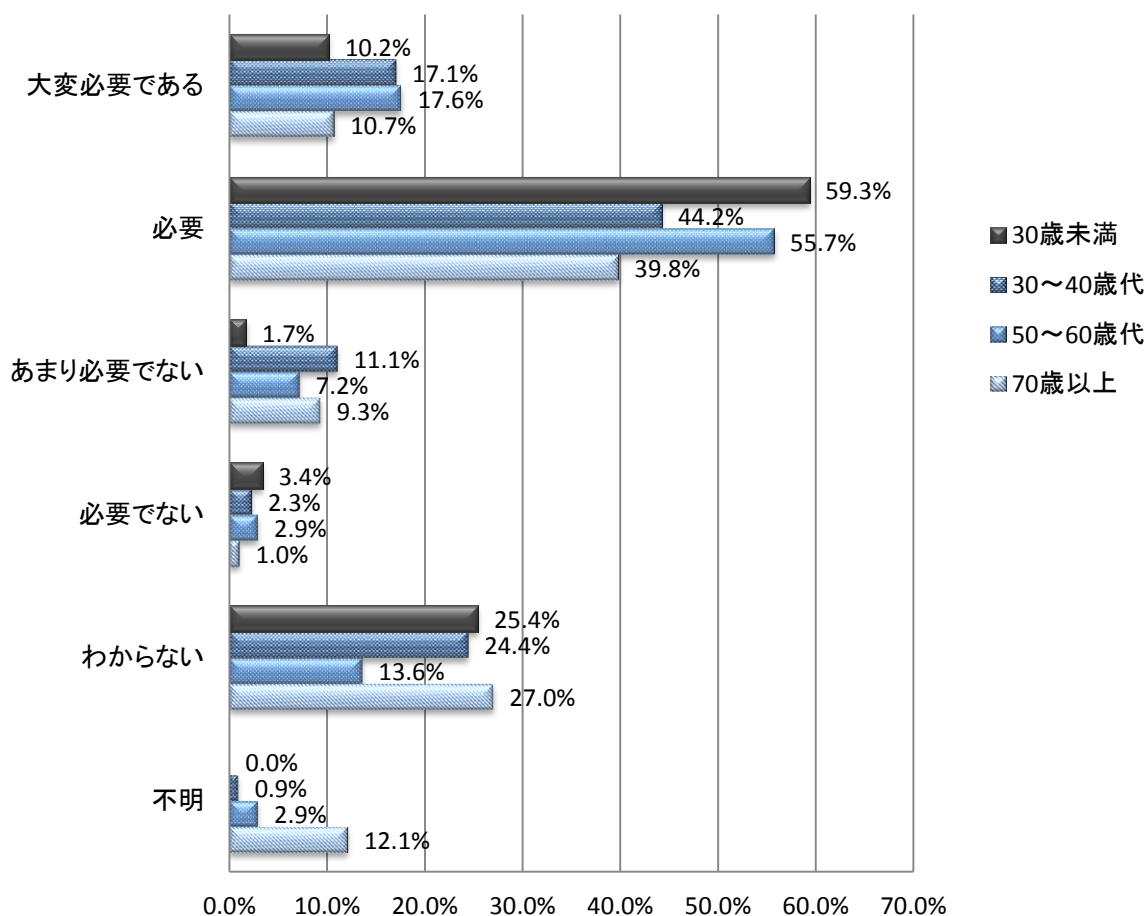
1. 生涯学習の必要性についてどう考えますか。該当するもの1つを選択してください。

「必要」が48.4%、「大変必要である」が14.9%と6割の人が必要としている。一方で、「わからない」が21.0%と2番目に多い結果となっている。

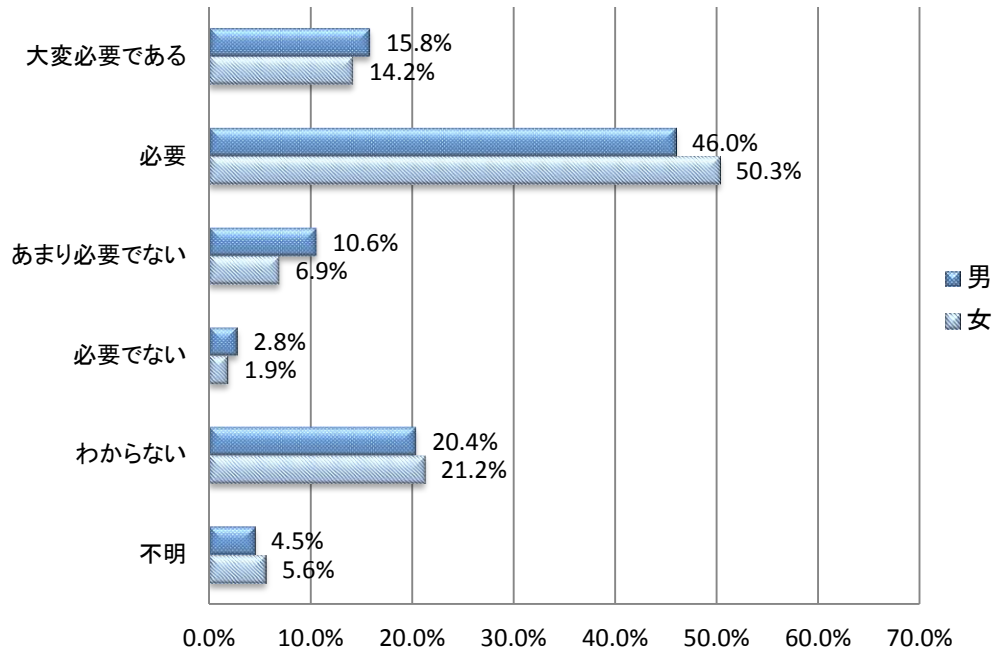
生涯学習の必要性



【年代別】生涯学習の必要性



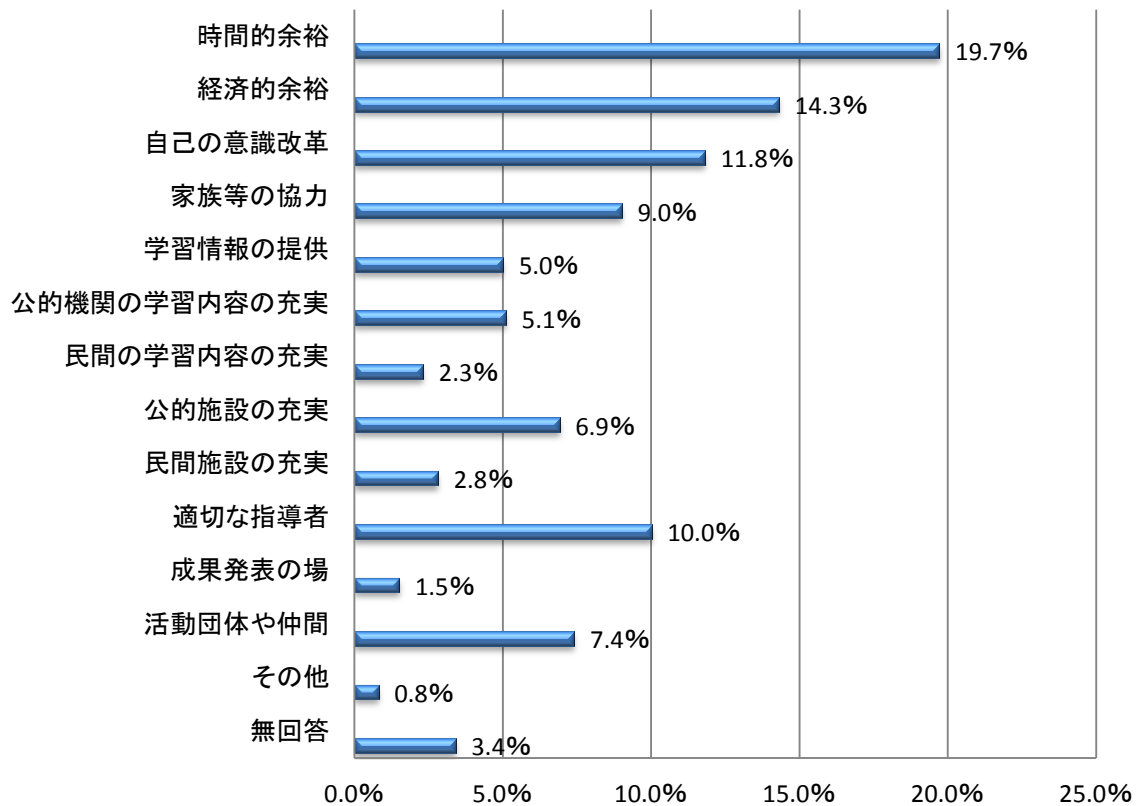
【男女別】生涯学習の必要性



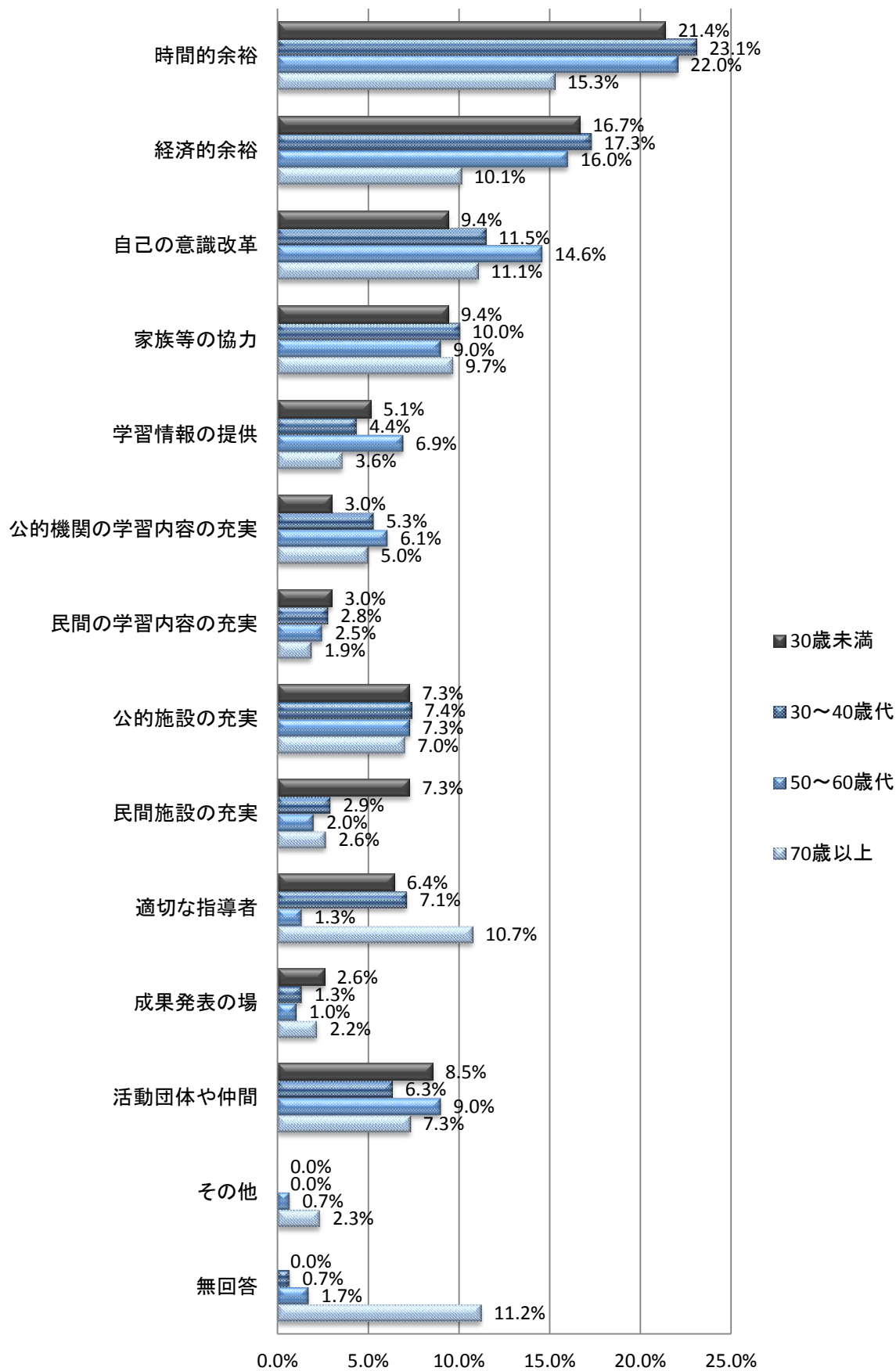
2. 生涯学習の充実に必要なものは何ですか。該当するものすべてを選択してください。

「時間的余裕」(19.7%)が最も多く、次いで「経済的余裕」(14.3%)、「自己の意識改革」(11.8%)、「適切な指導者」(10.0%)となっている。

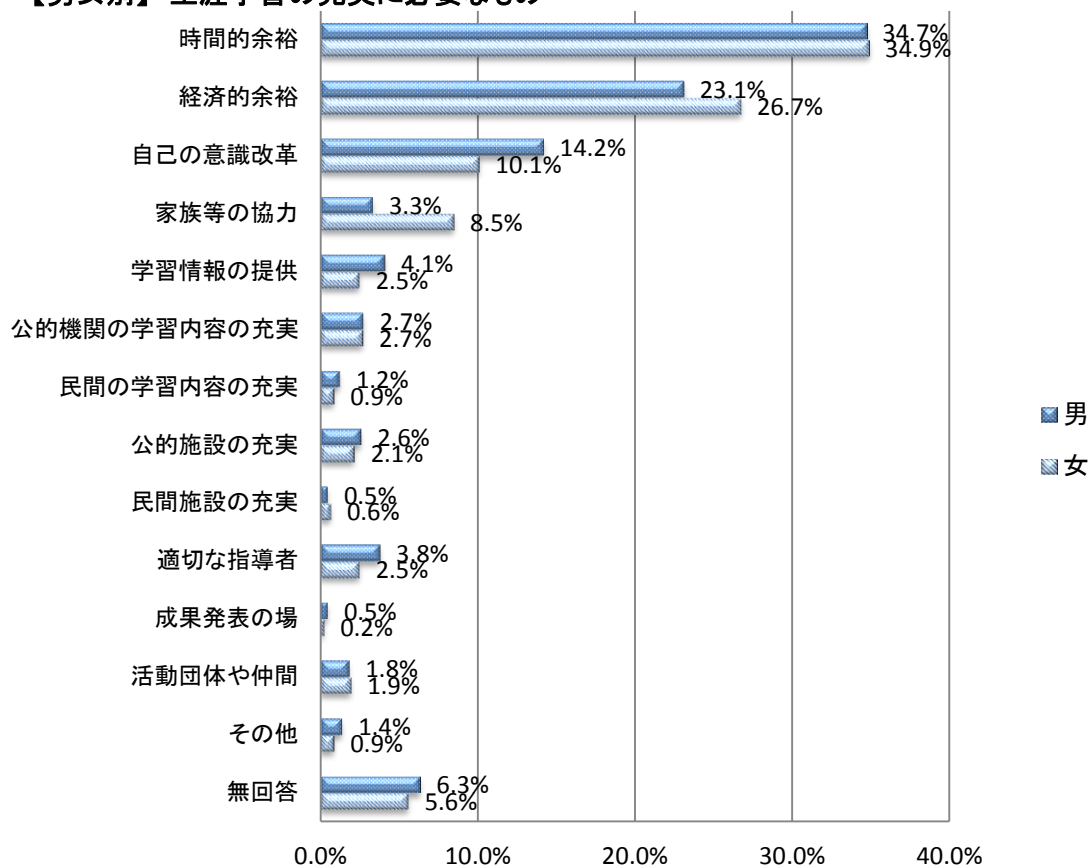
生涯学習の充実に必要なもの



【年代別】生涯学習の充実に必要なもの



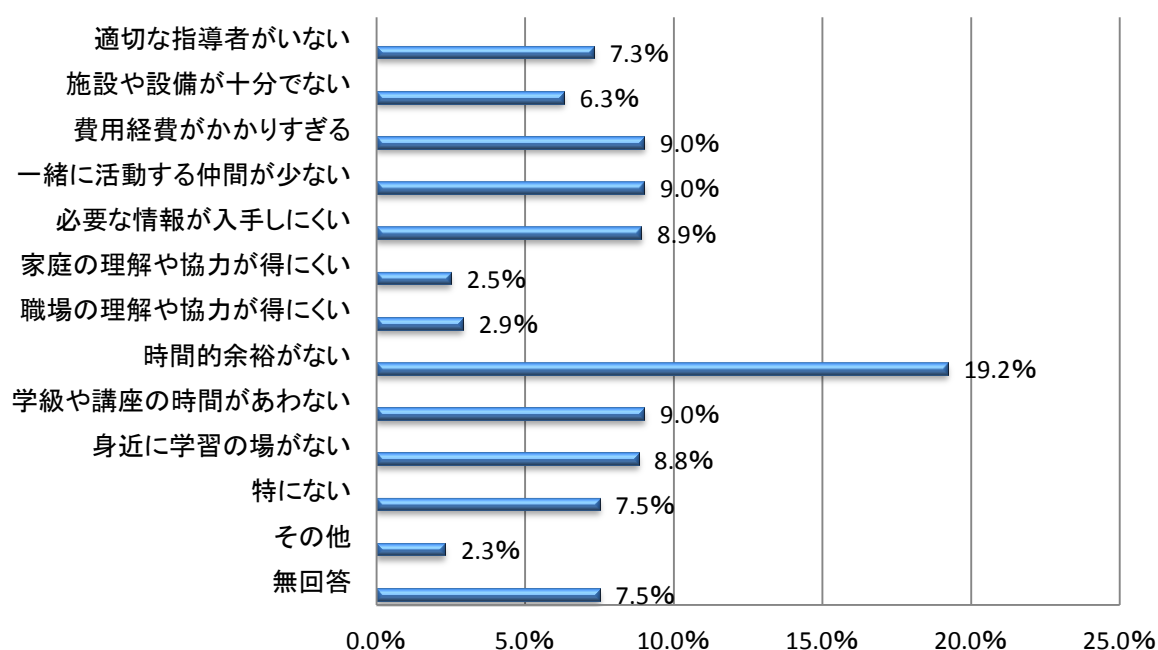
【男女別】生涯学習の充実に必要なもの



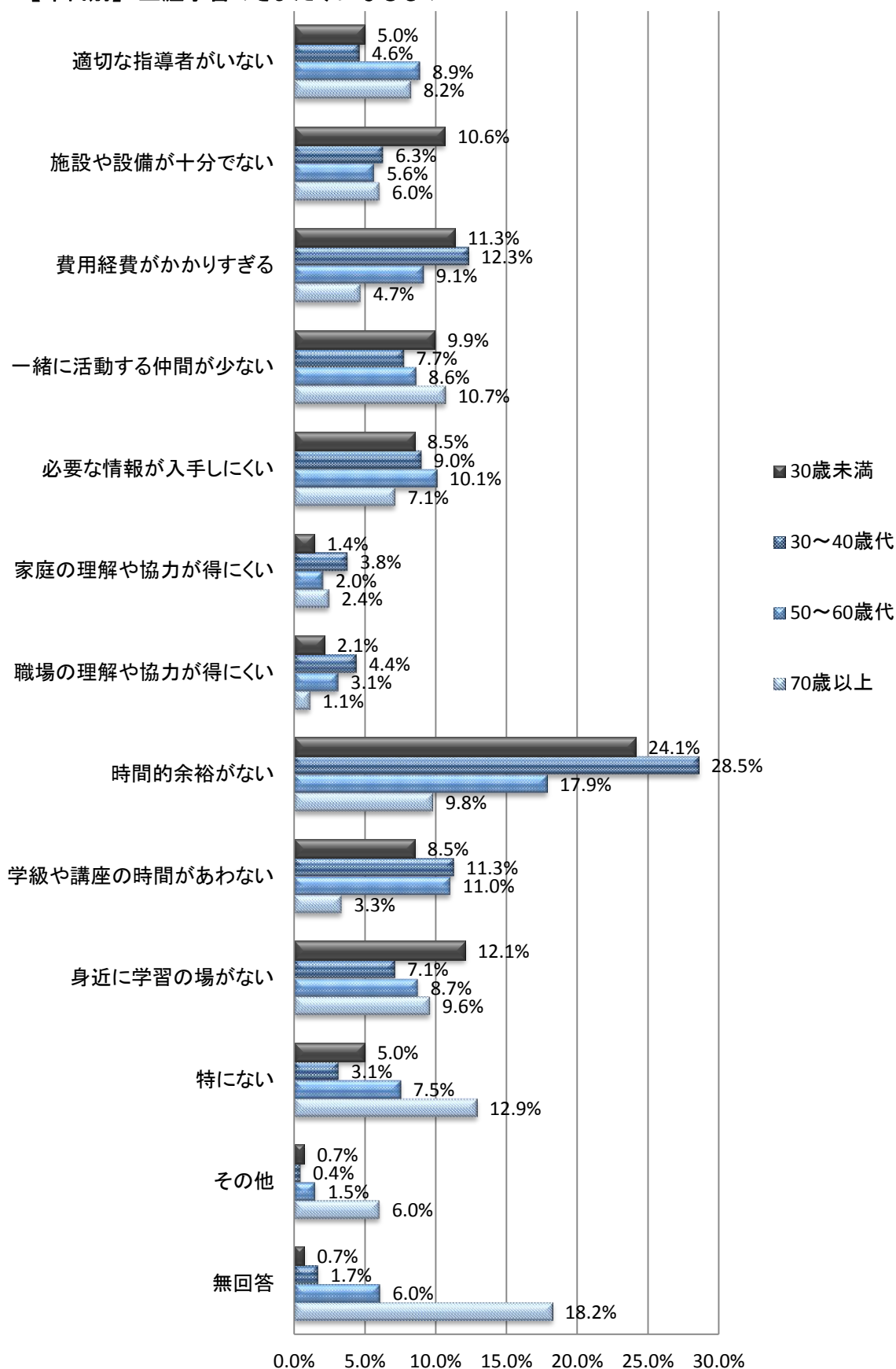
3. 生涯学習を行う際、さまたげとなるものがありましたか。該当するものすべてを選択してください。

「時間的余裕」が19.2%と最も多く、約2割を占めている。次いで「費用経費がかかりすぎる」「一緒に活動する仲間が少ない」「学級や講座の時間があわない」が9.0%となっている。

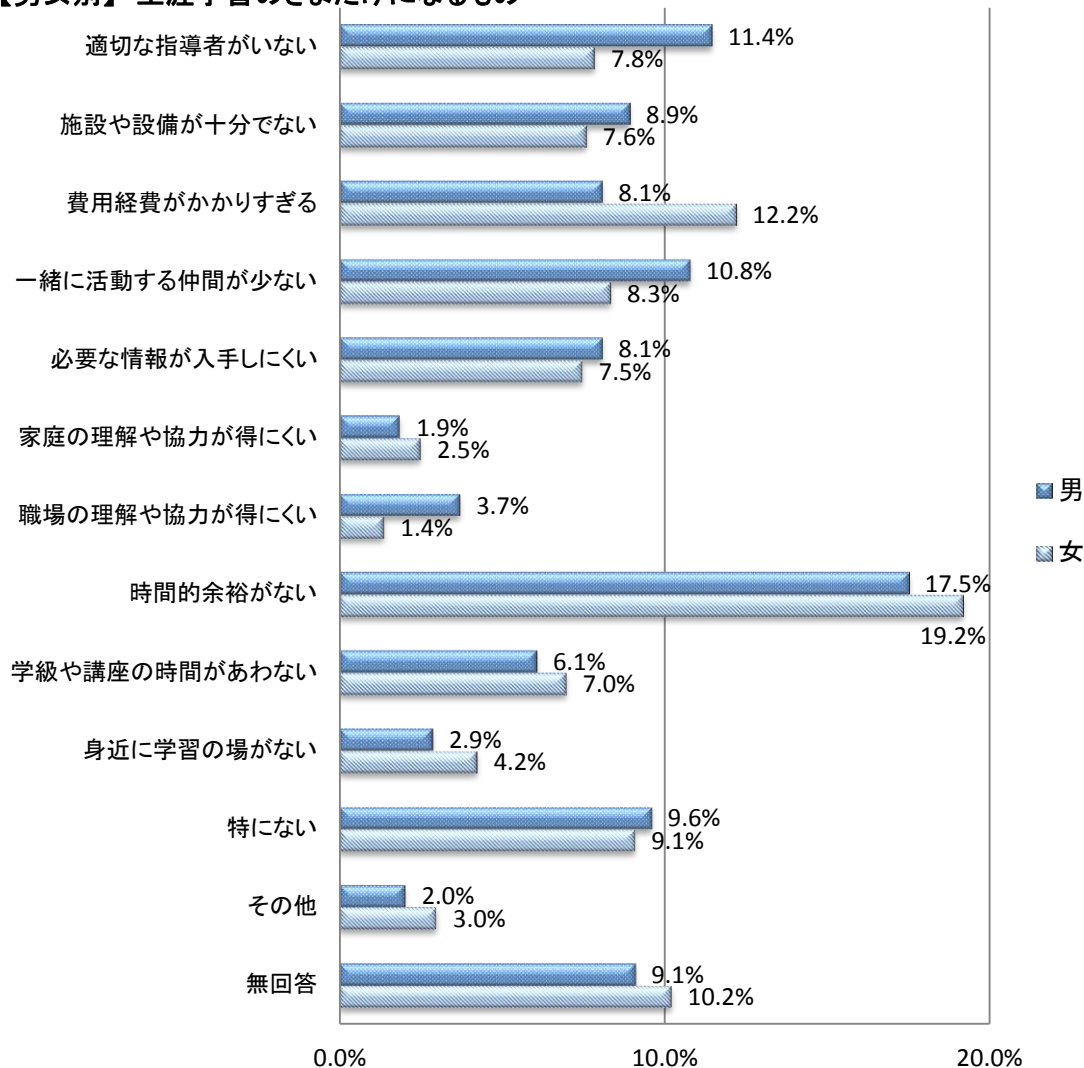
生涯学習のさまたげになるもの



【年代別】生涯学習のさまたげになるもの



【男女別】生涯学習のさまたげになるもの

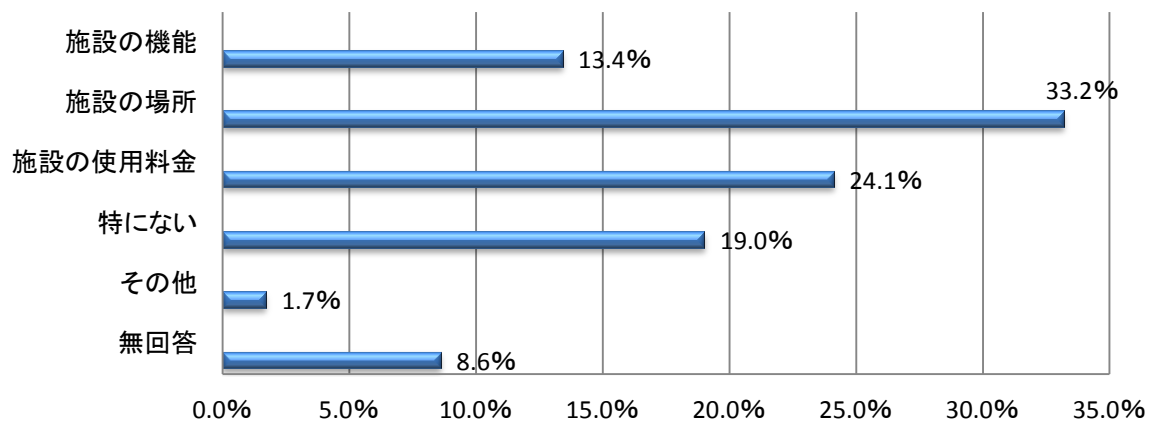


IV 生涯学習活動をするにあたっての活動施設について

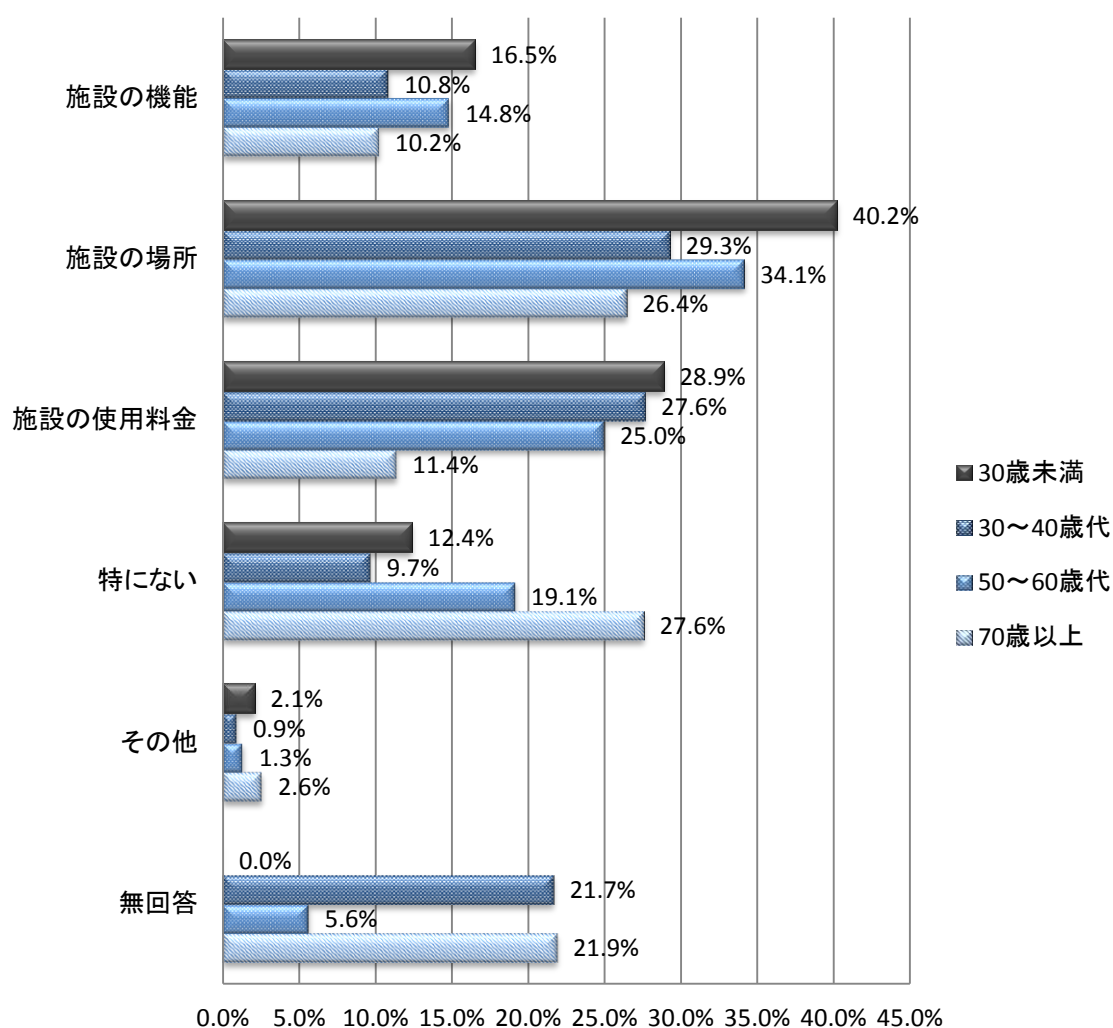
1. 生涯学習活動を行う際、利用する施設について重視しているものは何ですか。該当するもの2つを選択してください。

「施設の場所」が33.2%と最も多く、次いで「施設の使用料金」(24.1%)となっており、交通アクセスや駐車場の充実などの行きやすさが求められている。

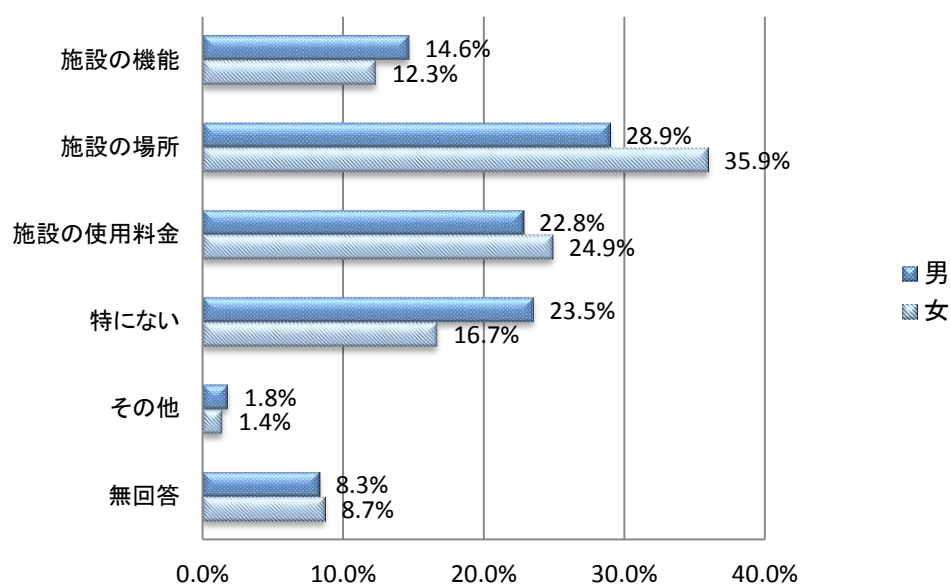
利用施設で重視すること



【年代別】 利用施設で重視すること



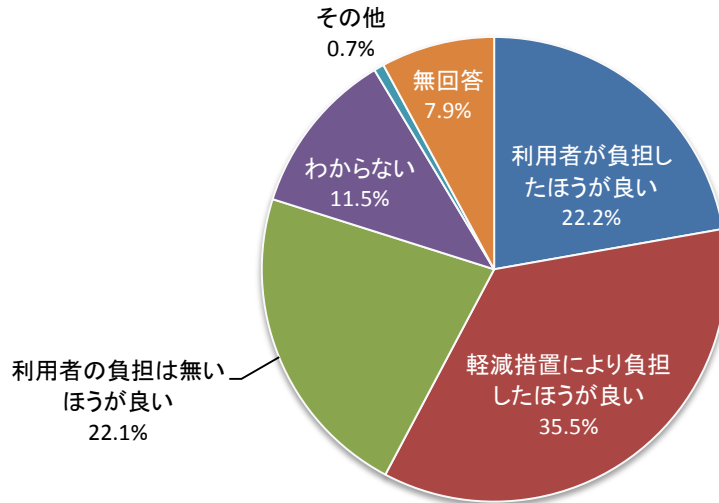
【男女別】 利用施設で重視すること



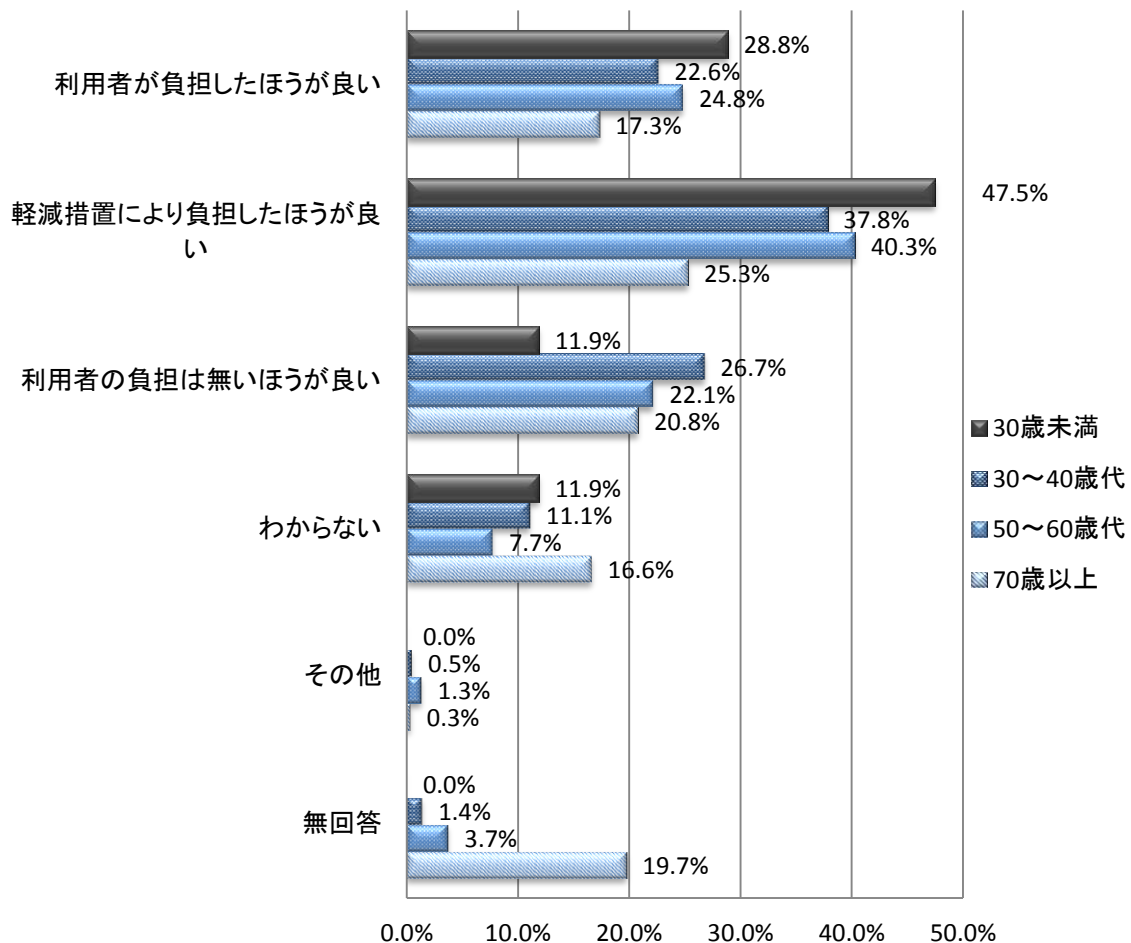
2. 公共施設の使用料を利用者が負担することについて、どのように考えますか。1つを選択してください

「何らの軽減措置により負担したほうが良い」(35.5%)、「利用者が負担したほうが良い」(22.2%)と、負担しても良いと考えている人が6割近くを占めている。逆に「利用者の負担は無いほうが良い」と考えている人も22.1%となっている。

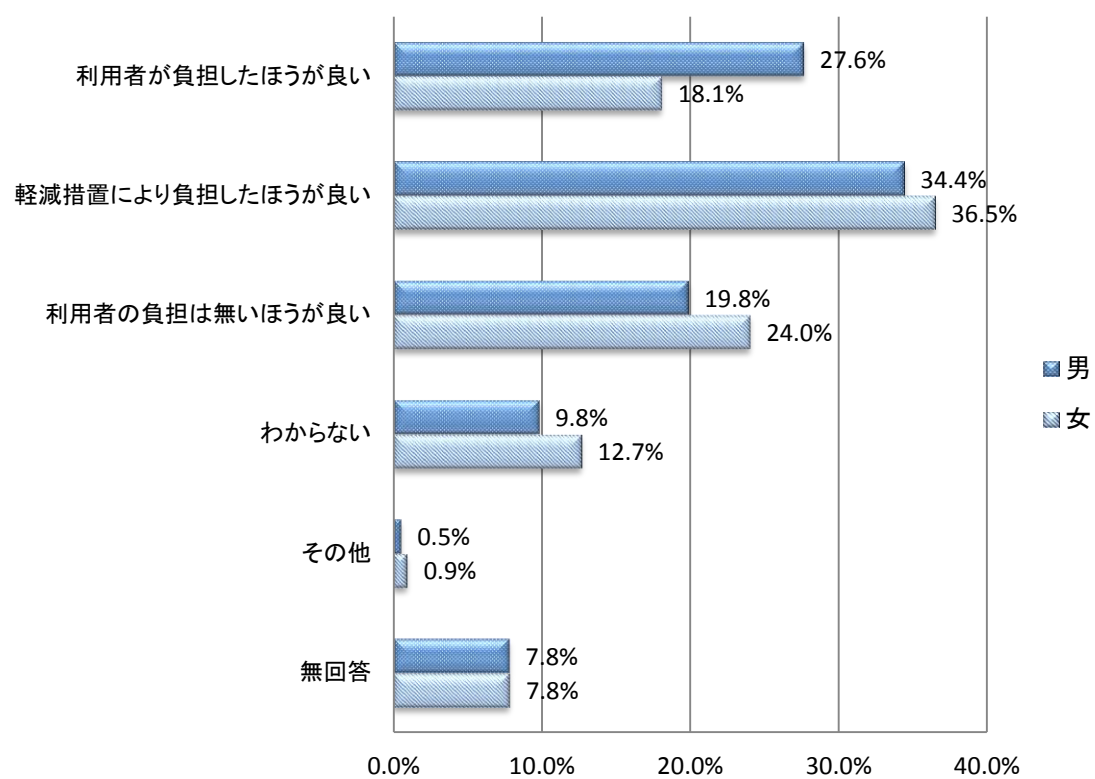
公共施設の使用料利用者負担について



【年代別】利用者負担



【男女別】利用者負担について



3. 利用する公的施設について希望することがありましたらご記入ください。(自由記述)

要望として、「利用者負担の軽減」、「駐車場の整備・拡充」、「老朽設備の改善」等の施設や設備に対する意見が多かったが、一方で「利用期間の延長」、「講座の充実」等の要望もあった。

施設名	主な希望または要望及び改善点	
クアタラソ	○最新器具の導入	
クアパーク	○利用者負担の軽減	○スタッフ力の充実
津田公民館・体育館	○備品の修理(カーテン等)	○キャンセル期日の変更
津田多目的研修集会施設	○利用者負担の軽減	○簡易修繕の早期対応
大川公民館	○夜間利用時の管理人設置	
大川体育館	○備品等を含めた施設の総点検	
富田小学校体育館・運動場	○少人数者への無料無届開放	
みろく自然公園	○屋内遊び場の設置 ○テニスコート アスレチックコースの整備	○老朽設備の改善
志度音楽ホール	○開館時間の延長 ○交響楽団演奏会の回数増加	○納税者に対する軽減措置
志度構造改善センター	○卓球台の設置 ○駐車場の整備、拡充	○備品の修理(カーテン等)
鴨部小学校体育館・運動場	○閉校に伴う有効利用	
鴨部ふれあいプラザ	○掃除道具の充実	
志度公民館	○施設の拡充 ○土・日の講座充実	○老朽設備の改善 ○簡易修繕の早期対応
志度総合運動公園	○管理者の接遇改善	
志度図書館	○利用者のマナー改善 ○蔵書の充実 ○高齢者用学習空間の設置	○開館時間の夜間延長 ○開館日の改善 ○移動図書館への取り組み
志度武道館	○故障、不具合箇所の早期対応 ○外灯の増設	○駐車場の拡充
生涯学習館	○鏡の設置 ○照明設備の修繕	
B&Gプール	○温水プールの設置(通年利用) ○利用時間・期間の延長	○老朽化対策
寒川農村環境改善センター	○冷暖房利用条件の緩和	
下所運動広場	○全く不要	
寒川図書館	○駐車場の拡充、見回り ○新着図書の充実 ○冷暖房設備の清掃 ○高齢者用学習空間の設置	○広報活動の充実 ○お話会の充実 ○施設環境整備、充実 ○開館時間の夜間延長
ツインパルながお	○プール施設の利用期間延長 ○アリーナの個人一般利用可能化	○プールの通年開放
長尾運動公園多目的広場	○幼児の遊び場所提供 ○芝の養生	○ジョギングコースの案内
長尾運動公園コテージ	○ペット同伴の宿泊	

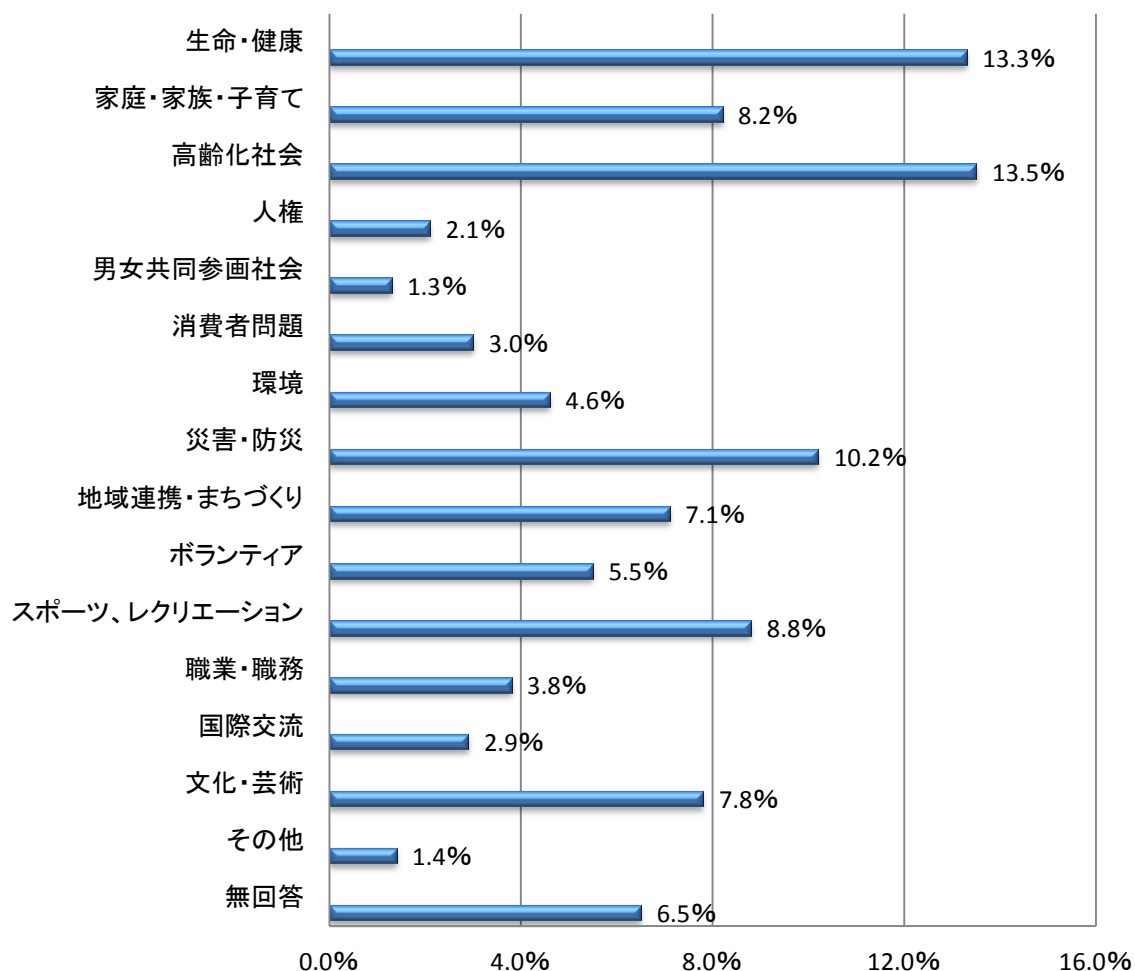
施設名	主な希望または要望及び改善点	
長尾運動公園テニスコート	○市内施設との料金統一化	
文化資料展示館	○展示補助係の設置	
長尾公民館	○音響設備の改善 ○全体的な間取りの改善 ○若者向き講座の充実	○老朽化対策 ○休館日の廃止
長尾公民館造田分館	○開館日の管理員設置	
長尾中学校体育館・柔剣道場	○トイレの改修	
その他	○志度駅での学生生徒のマナーの悪さ ○現状で良い ○市役所本庁近辺で、室内健康増進の施設を建設 ○多目的、多機能対応の施設を集約し、管理費や人件費を節約して、老若男女の多様なニーズに対応できる、ローコスト運営可能な公的生涯学習体制(ハード面、ソフト面)を整えて欲しい ○鶴羽地区に施設が少なすぎる ○どの施設も内容・参加者とも固定化している。若い人達との交流ができるようにして欲しい ○廃校校舎、グラウンド 技術室等の特別教室等の開放 ○ランパル広場に水を出してほしい。真ん中のオブジェ不要 ○月～金までフルタイムで仕事している人用に時間取りしてほしい	

V. さぬき市の生涯学習の事業等について

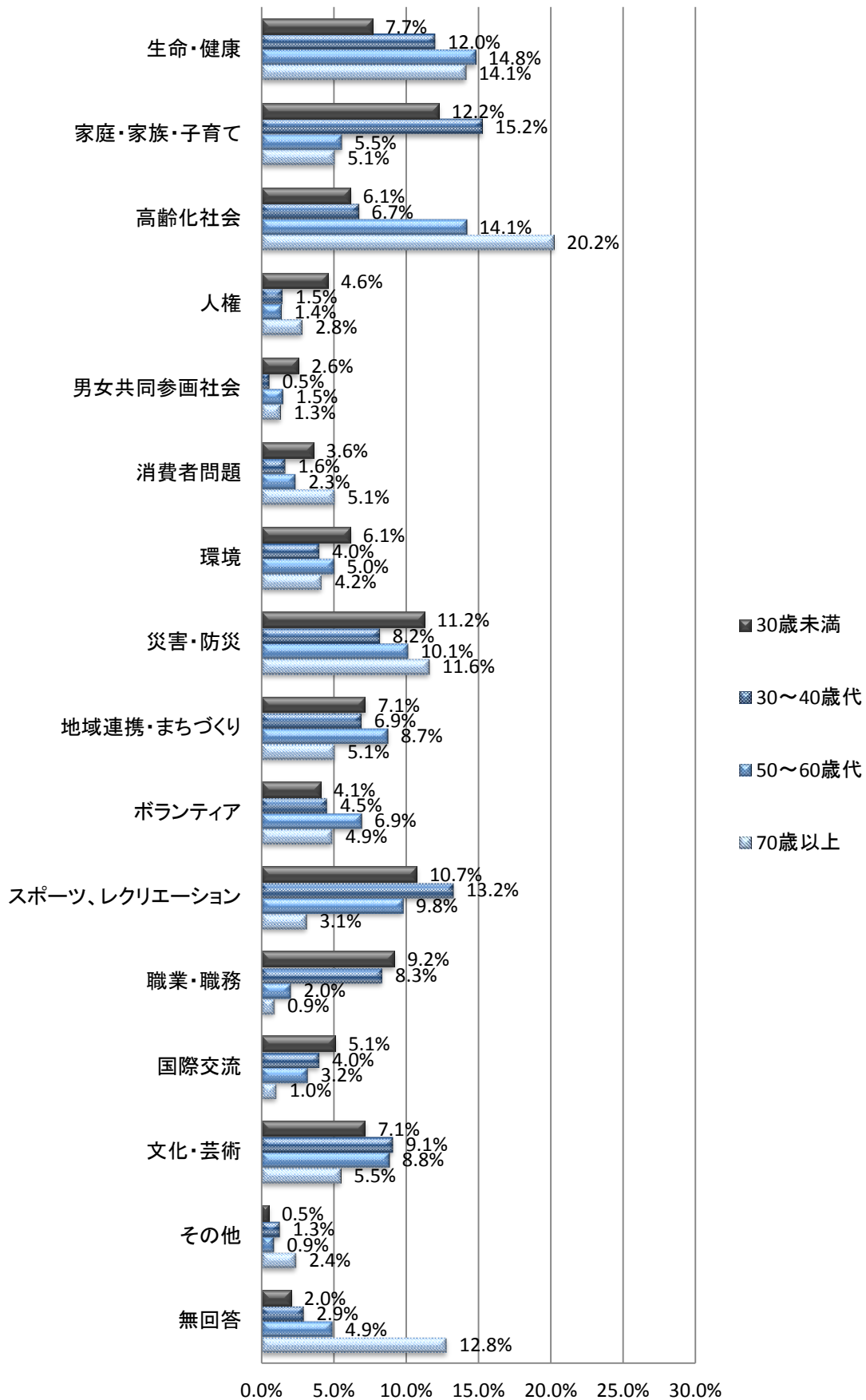
1. どのような生涯学習の事業や企画等を希望しますか。該当するものすべてを選択してください。

「高齢化社会に関すること」(13.5%)、「生命・健康に関すること」(13.3%)への関心が高く、次いで「災害・防災に関すること」(10.2%)、「スポーツ・レクリエーションに関すること」(8.8%)、「家庭・家族・子育てに関すること」(8.2%)となっている。

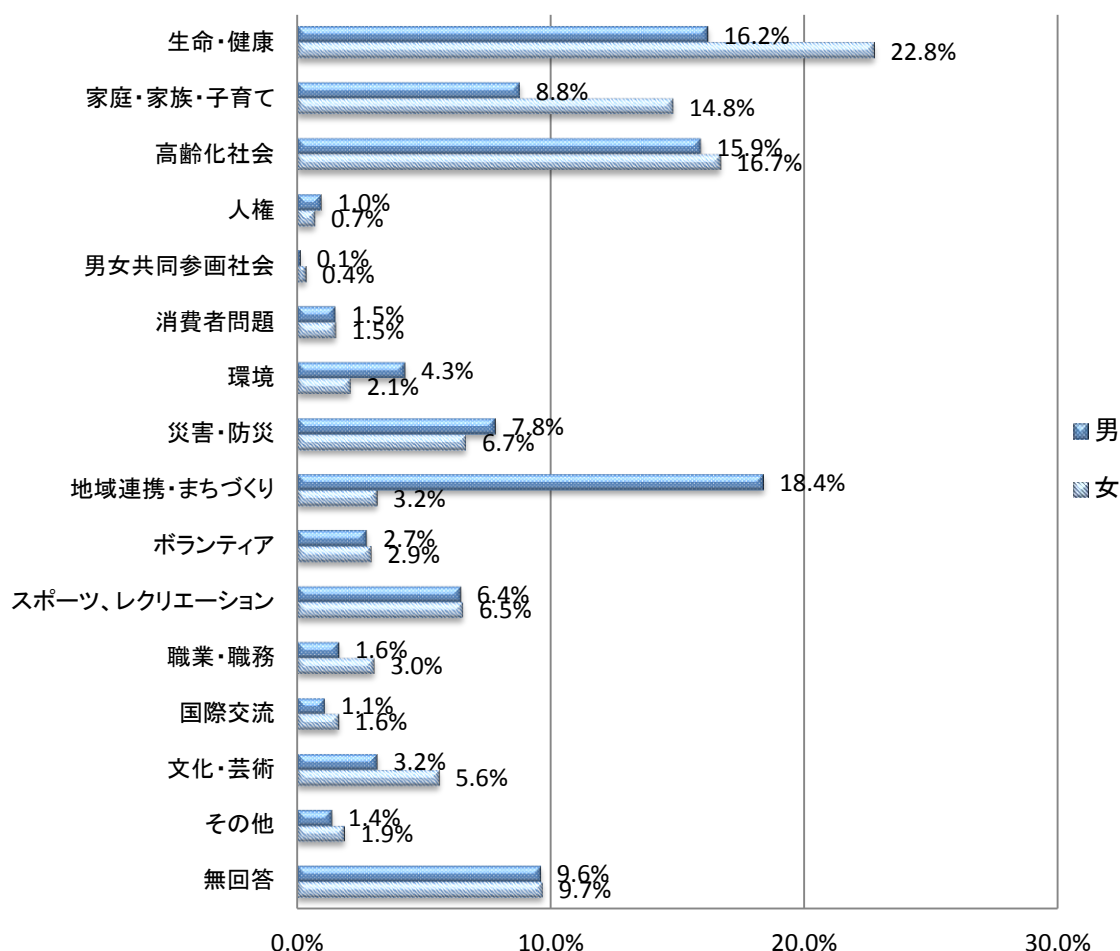
希望する生涯学習の事業、企画



【年代別】生涯学習の事業、企画



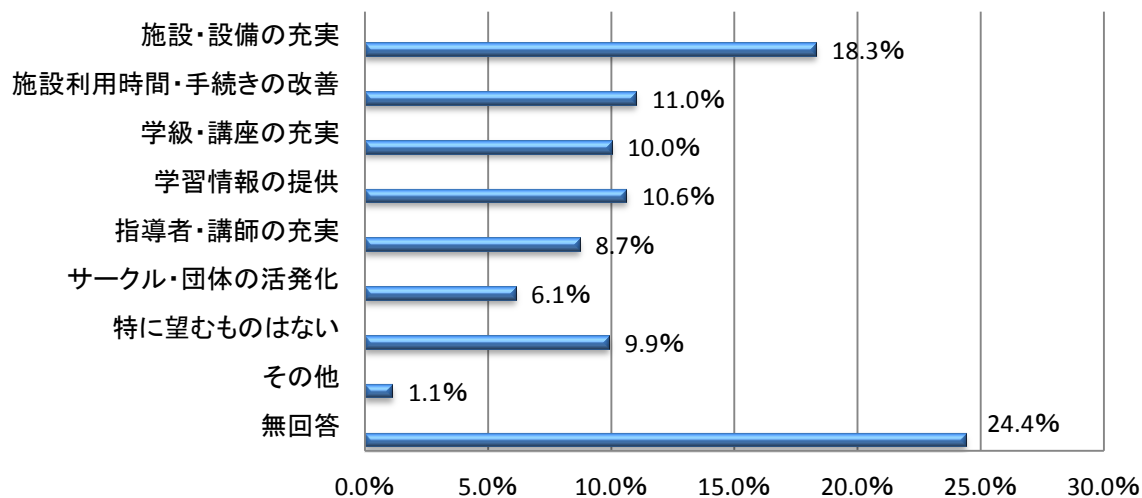
【男女別】生涯学習の事業、企画について



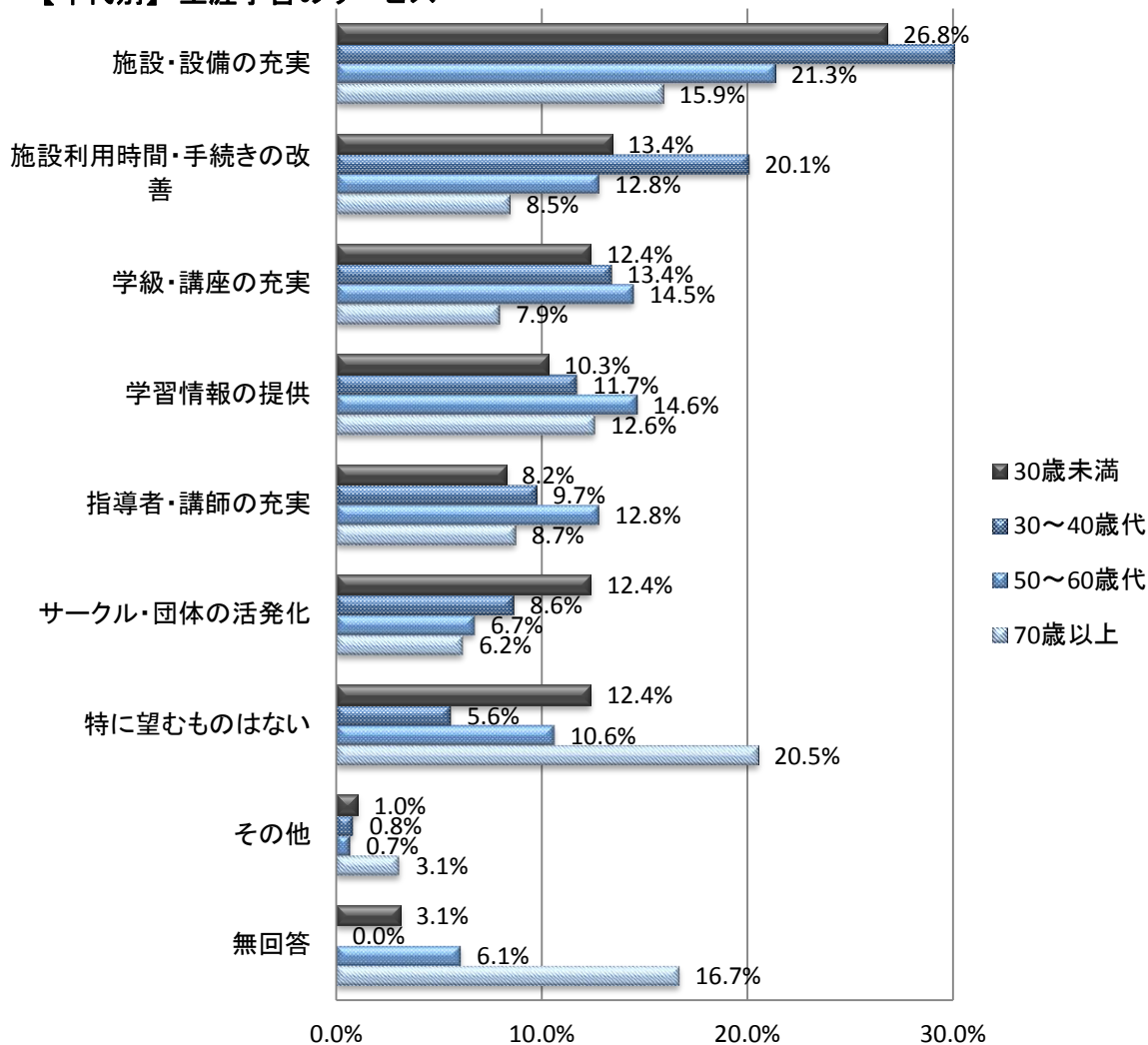
2. 生涯学習のサービスとしてどのようなものを希望しますか。該当するもの2つを選択してください。

「公民館、図書館、体育館などの施設や設備を充実する」(18.3%)、「施設の利用時間や手続きの仕方を改善する」(11.0%)、「学習の機会や方法などに関する情報を提供する」(10.6%)、「学級や講座の種類を増やすなど、充実した内容にする」(10.0%)となっている。

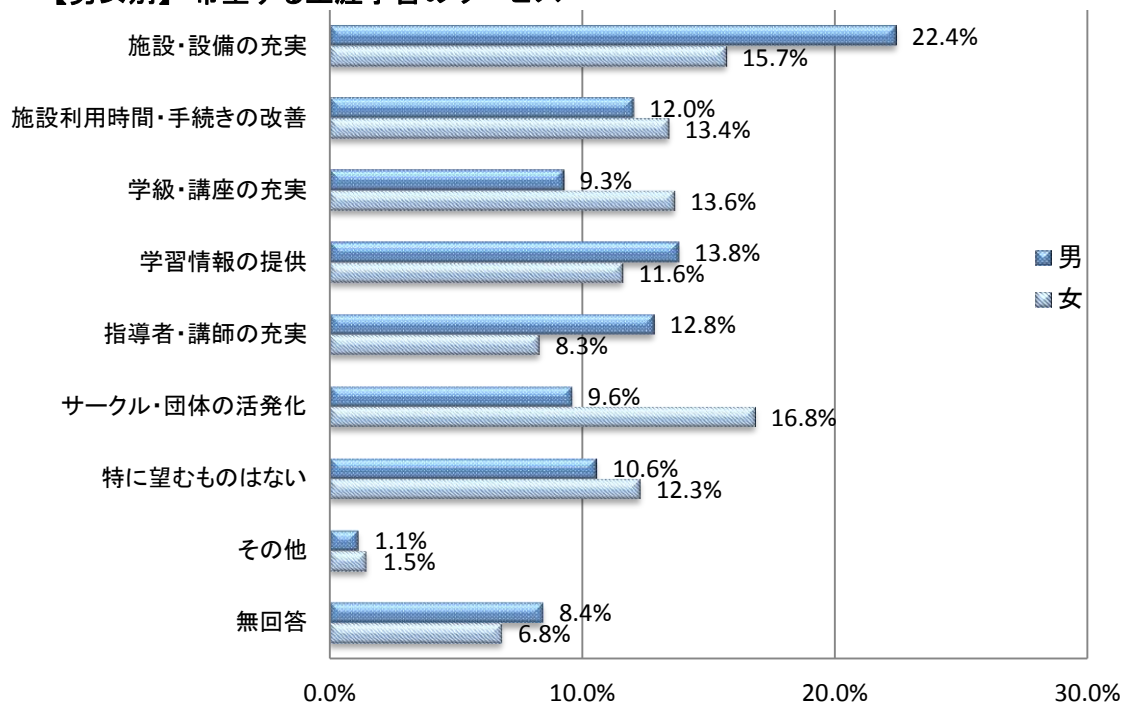
希望する生涯学習のサービス



【年代別】生涯学習のサービス



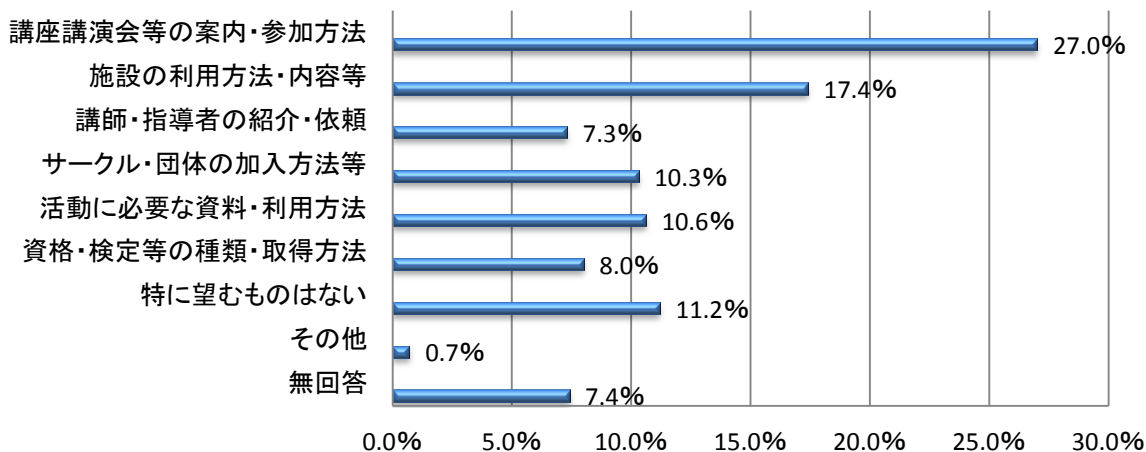
【男女別】希望する生涯学習のサービス



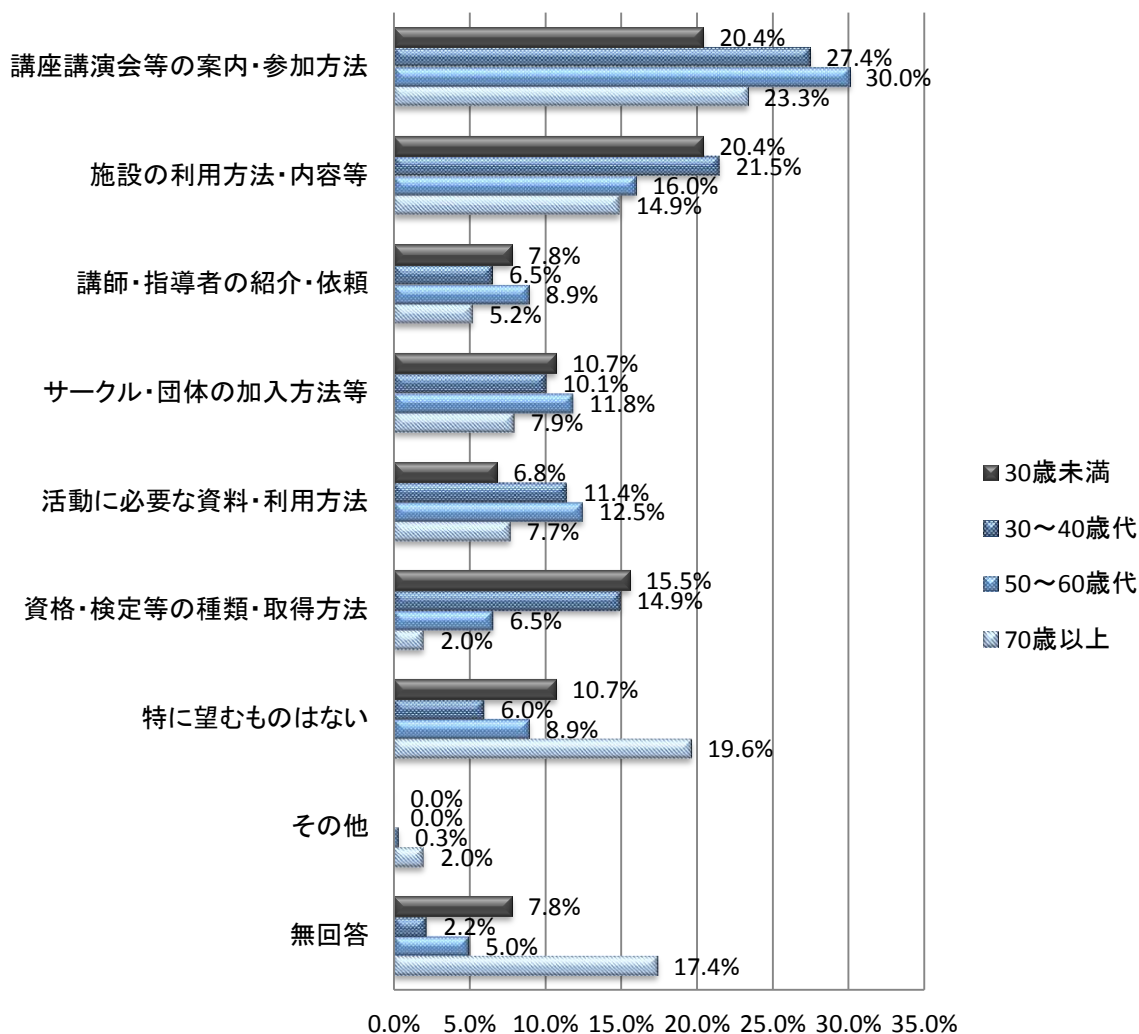
3. 生涯学習をすすめていく上で、どのような情報提供を希望しますか。該当するもの2つを選択してください。

「講座・講演会・催し物などの案内、参加方法」が27.0%と最も多く、次いで「利用できる施設の所在地、利用方法及び内容」(17.4%)となっている。

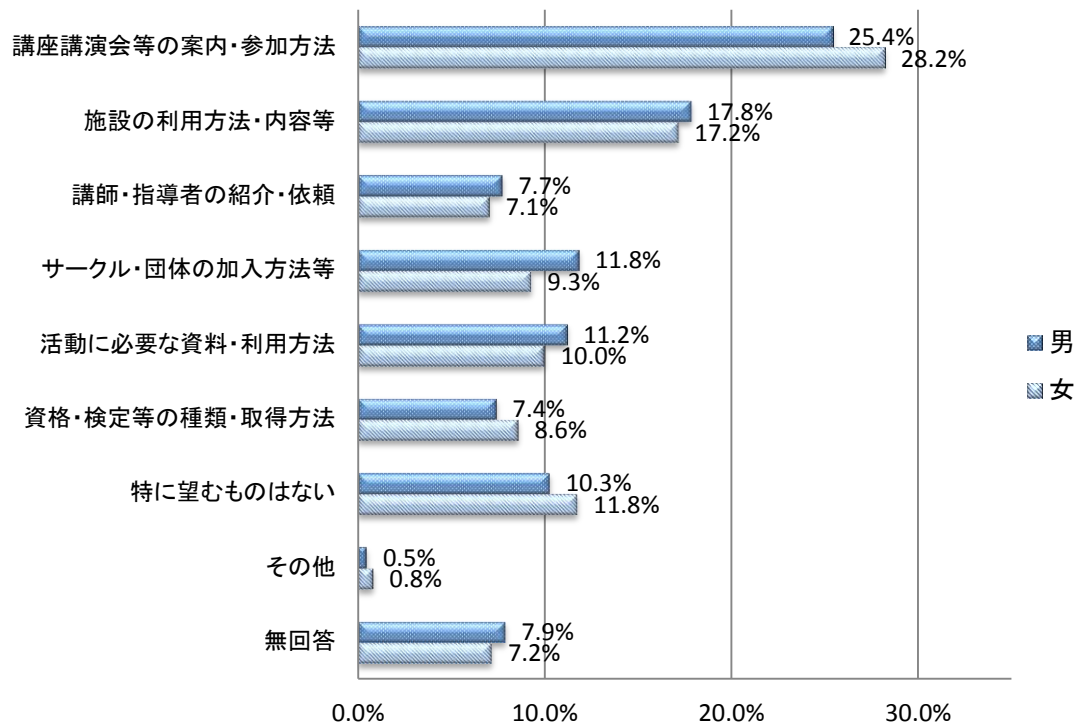
生涯学習をすすめていく上で希望する情報



【年代別】生涯学習をすすめていく上で希望する情報



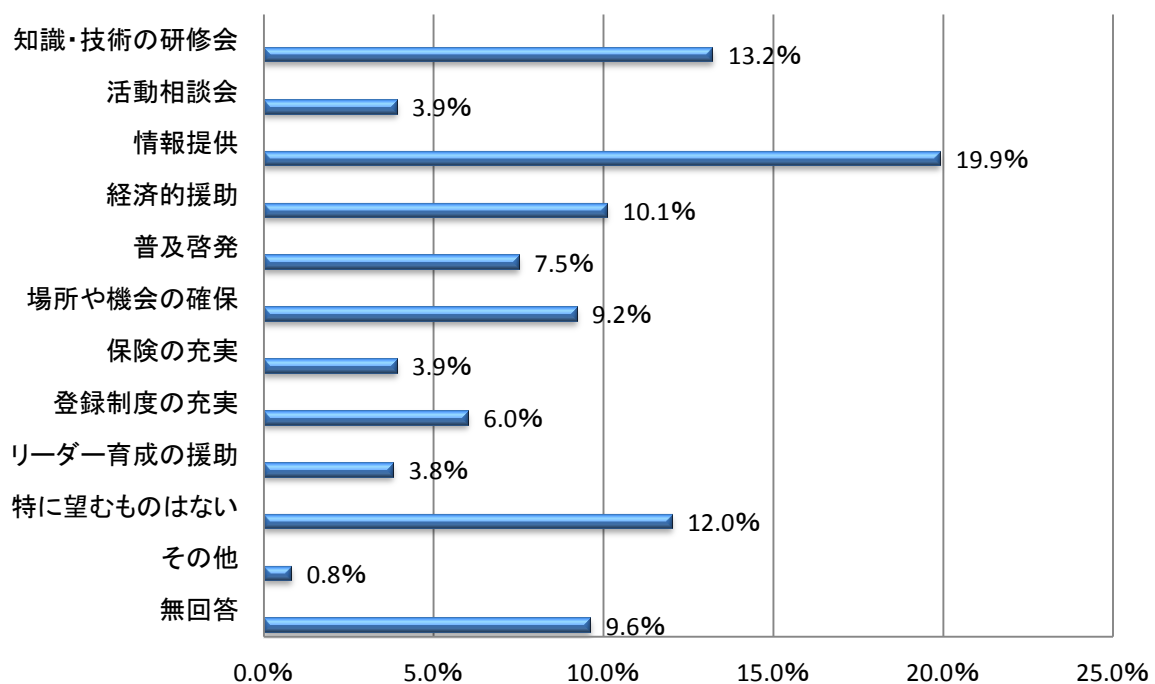
【男女別】生涯学習をすすめていくうえで希望する情報



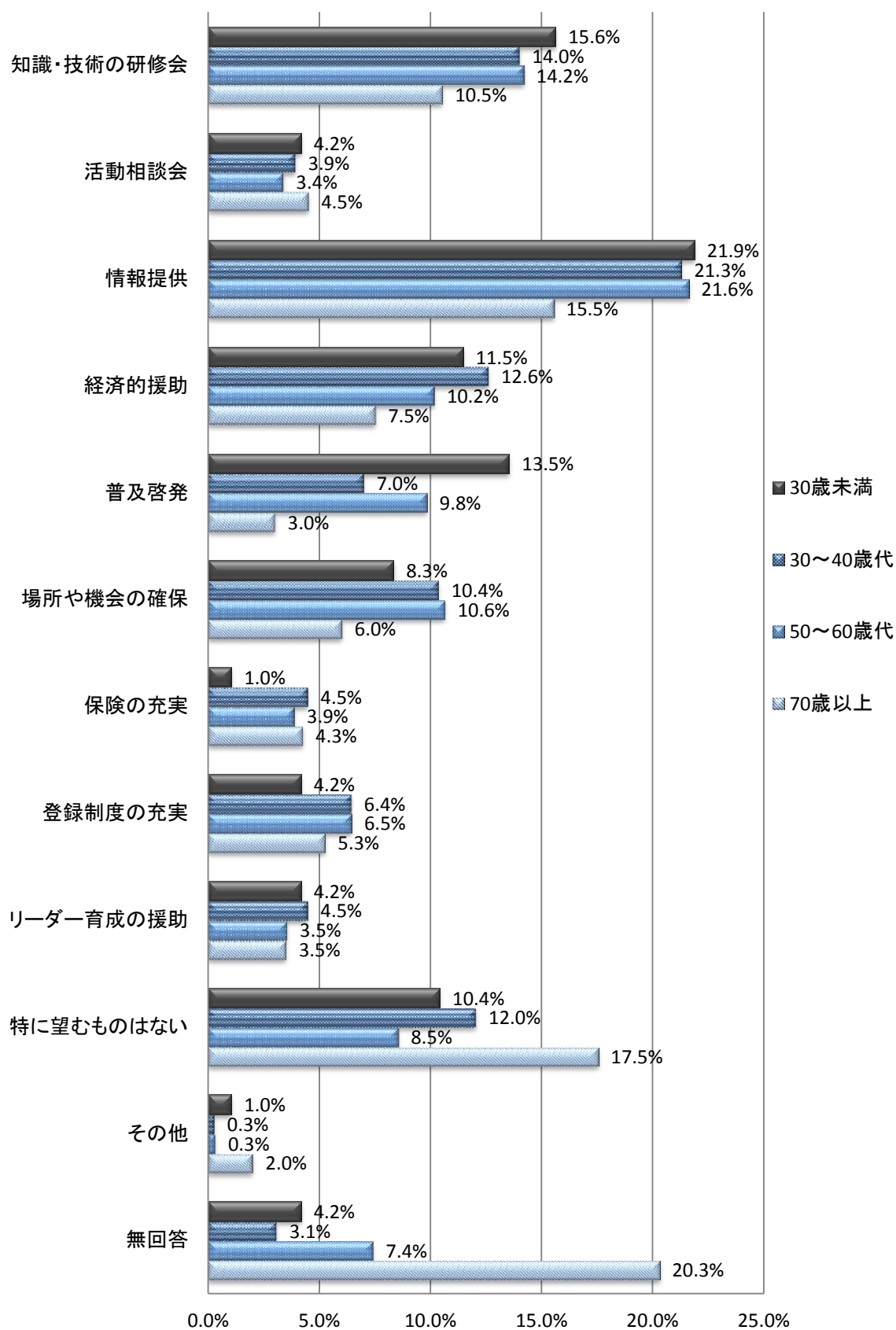
4. ボランティア活動の行政支援としてどのようなことを希望しますか。該当するもの2つを選択してください。

「様々な情報提供」(19.9%)が最も多く、次いで「知識や技術などの研修会の開催」(13.2%)、「特に望むものはない」(12.0%)となっている。

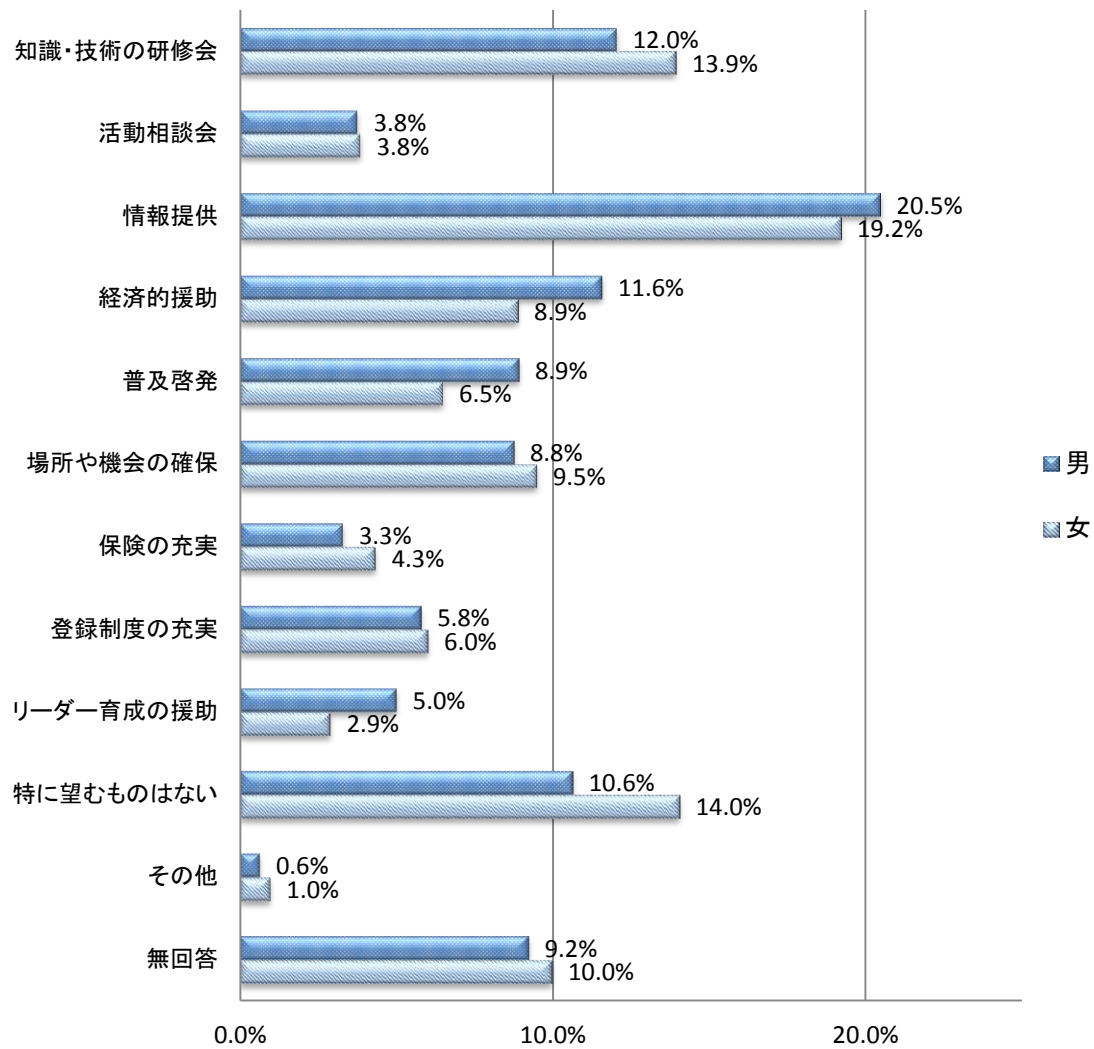
ボランティア活動を行ううえで希望する行政支援



【年代別】 ボランティアを行ううえで希望する行政支援



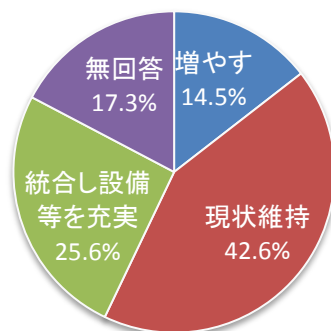
【男女別】 ボランティアを行ううえで希望する行政支援



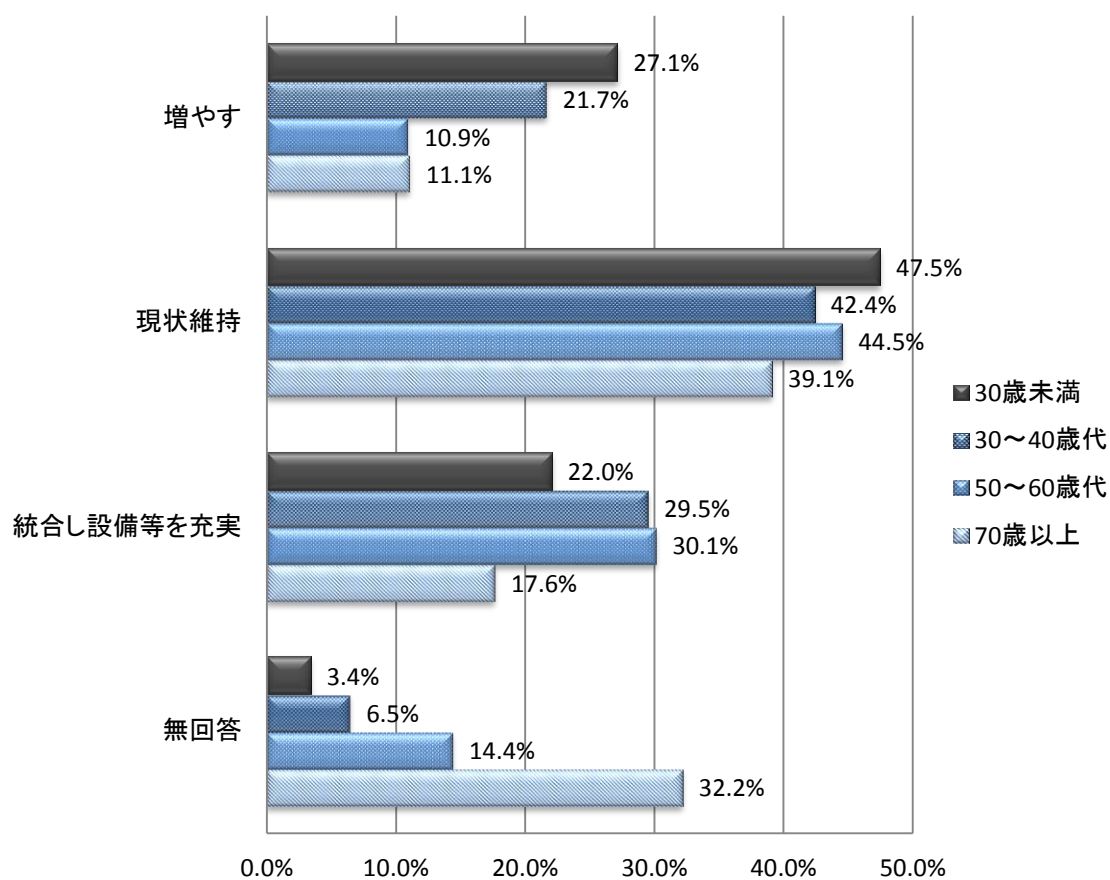
5. さぬき市の公的施設の数や行事についてどのようにお考えですか。それぞれ1つ選択してください。

施設数、行事数ともに「現状維持」が最も多く、次いで「統合し充実」、「増やす」の順になっている。

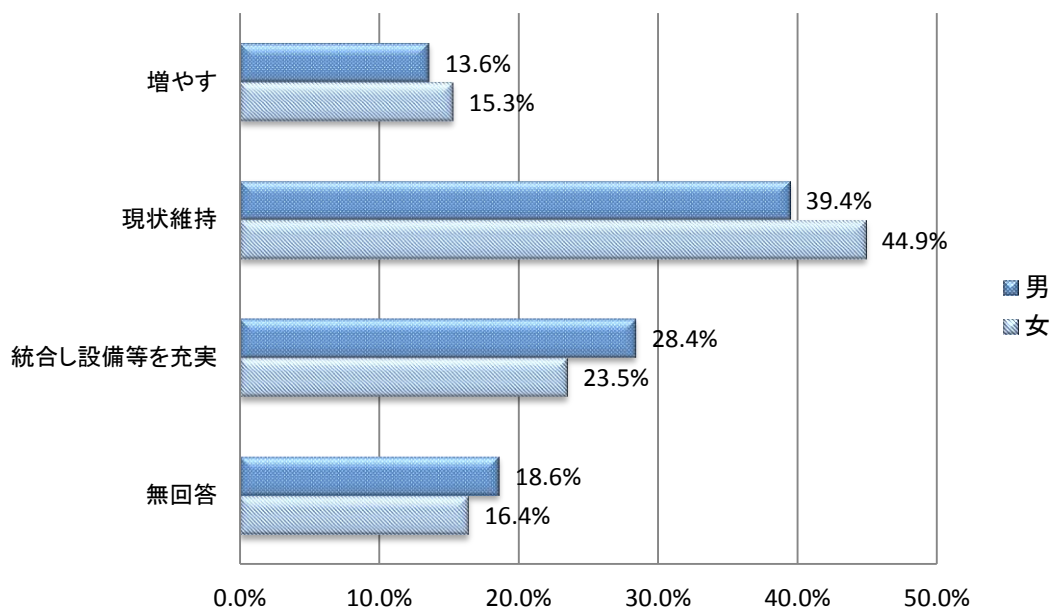
施設数



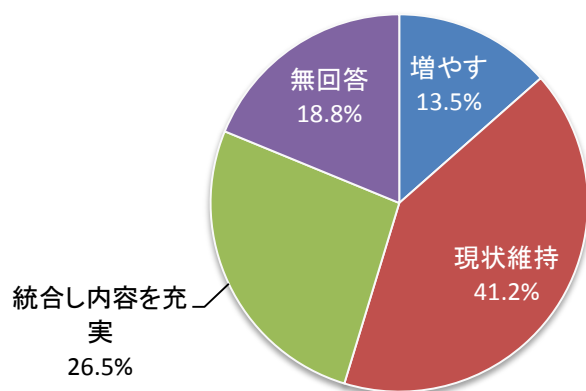
【年代別】施設数



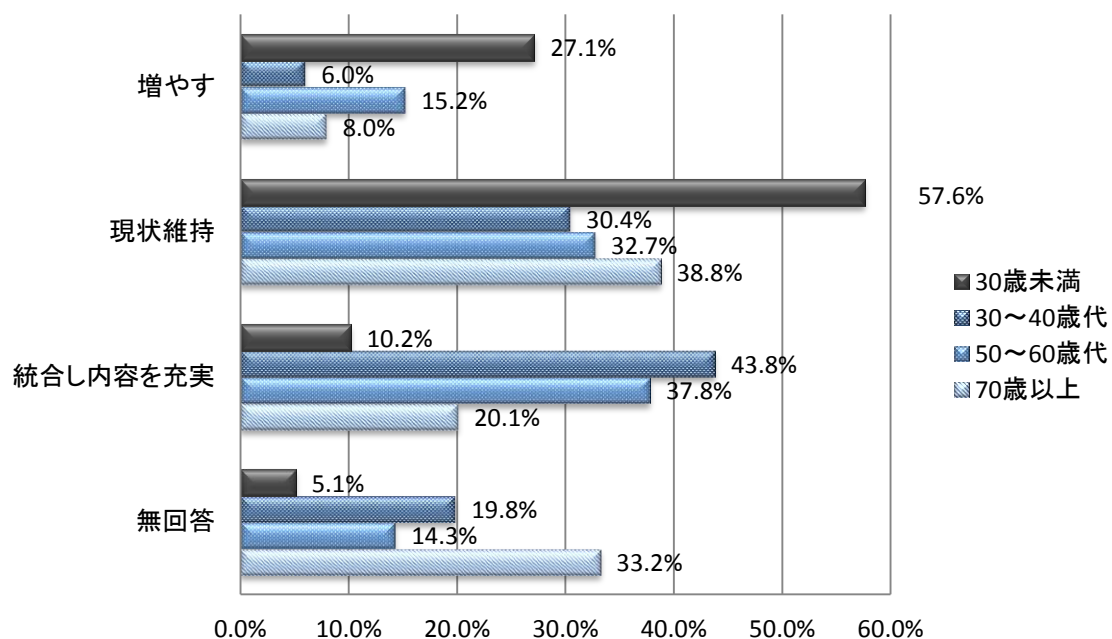
【男女別】施設数



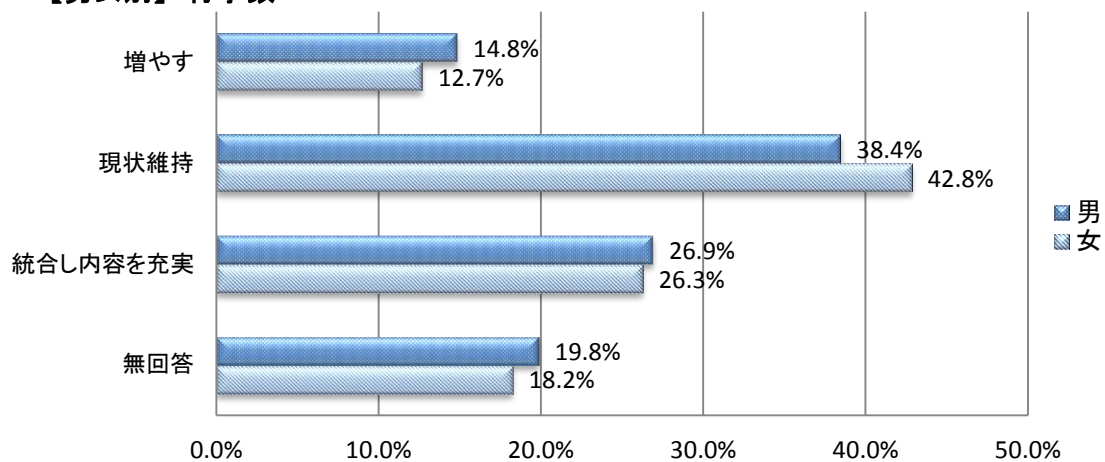
行事数



【年代別】 行事数



【男女別】 行事数



その他、さぬき市生涯学習事業全般について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

➡ 教室・講座、イベント等についての意見・要望

	意 見 ・ 要 望 内 容 等	性別	年代
1	高齢化により寝たきりの人を増やさないように、スポーツ(体を動かす)等のできる場所(週2～3日程度を目安に)を多数の人と一緒に出来て毎日が張り合いのある生活が送れたらと思います。※スポーツの例(ジョギング・ダンス・ボール遊び・体操等)	女	60歳代
2	市の学習事業ということで、「シャッター通り」「自治会の衰退」等に代表される様に地方の街の良き処が消え去る状況にある。その地域の文化、伝統を受け継いで復活させる講座を普及させる必要がある。さぬき市も町単位のプロジェクトをつくり補助金等にて活動させる！市・町単位で介護・子育て出来る施策が必要では！「その町の良さ」「個性を重んじる子育て」儒教や古典の講座もいいと思います。(親子で)	男	60歳代
3	適切な判断などが出来る指導者及び関係者の増加。特別に行政などに部門、部署を設ける。	女	40歳代
4	私が今学んでいるものは、たまたまさぬき市以外が会場です。選択の基準は、指導者の方が誰であるかです。やがて近い将来車を利用することが出来なくなれば続けることをあきらめなくてはなりません。	女	60歳代
5	指導者、講師の質の向上。	男	60歳代
6	今の時代にあった講演会、尾木ママの教育についての講演会とか、美文字講座をしてほしい。テアトロンを利用したコンサートもっと数を増やしたらいいと思う。実話を基にした映画上映や子供向けアニメなど、音楽ホールを利用してやってほしい。	女	40歳代
7	・団体や組織の構成メンバーの高齢化が言われている。若年層をどう取り込んでいくかが今後の課題ではないか。・少子化への対策、子どもの健全な育成のためのボランティア支援の充実、埋もれた人材の発掘活用ができればよい。・自主講座・・・時代に合った内容の講座新設。実施曜日、時間帯の工夫。・このアンケートにより改善された点の情報は、どこで確認できますか？	女	50歳代
8	誰でもが参加できるような事業を進めていってほしい。	女	50歳代
9	年令に関係なく参加できることを生涯学習としてほしい。	女	60歳代
10	公民館活動など参加してみたいと思うが、以前から長く参加し続けている人が多くて、新しく入りづらい雰囲気がある。若い人たちも年配の人たちも気軽に活動できる場であってほしい。	女	40歳代
11	運動に感しては入りにくい事。すでにできているチームとか色々入りにくいです。	女	60歳代
12	60才すぎまで仕事、自宅、自治会だけの流れの中に生活していたので何をするにも外のことがわからず色々なことに、おさそいもなく、今さら何か参加するにもグループが出来ている中には加入しづらい	女	60歳代
13	個々のサークル、講座の中での、年齢的な入れ替わり、会員さんの変化が少ない。たとえば若い人(40才、50才)の加入がないので、60才、70才の団体がそのまま10年経過すると、代表者などの役がでにくくなり解散してしまう。新しい方が入りにくいのは、なぜなのだろう。	女	50歳代
14	さぬき市生涯学習では地域に混じることができにくい状態にある。働く世代を対象になにか運営、企画をしてみられないでしょうか。	女	40歳代
15	現在働いているため時間が少なく、退職後に参加したいと思っている。しかし、民間と違いなかなか途中で入会するのはためらう。もっと加入・参加しやすい環境づくりを望む。(文化講座名を見ると興味のあるのが沢山ある)ボランティアに参加も今後したいと思うが、何があるのかよく分からない。もっと情報の提供をお願いしたい。	女	50歳代
16	パソコンを習おうとしたら時間、曜日が合わず断念したことがある。今は出来なくなったが男の料理教室を。	男	60歳代
17	日曜日の開催をして欲しい。体力づくり	男	60歳代
18	夜、仕事が終わって利用出来る施設か活動があればよい	男	40歳代
19	国際交流が出来るもの(外国人を招いたイベントや文化交流、日本語支援など)があれば良い。(特に若い世代に)ホームステイのホストファミリーの募集にも興味がある。	女	20歳代
20	さぬき市各地区で特色があるもの「ふるさと」に愛着が持てるような内容、世代間の交流があるようなものを考えて実施すべき	男	60歳代
21	高齢者を対象に健康維持を目的とした体操教室を毎月1回程度開催してほしい。	男	70歳代
22	講座がたくさんある様ですが、もう少し固めたら如何でしょうか。	女	80歳以上
23	相互交流の活性化をはかり、市としてのレベルアップをはかる。他市との交流をバックアップして、視野の広い、深い活動を目指す。	男	60歳代
24	高齢者と子供の交流は、お互い有意義だと思う。工芸品、料理、将棋からまき割り等々、教えてあげたらよいと思う。学習、ボランティア、地域交流と多面的な効果が期待できる。	男	30歳代
25	高齢化が進んでいますので、高齢者がどんどん参加できるボランティア活動内容を推進願います。	男	60歳代

	意見・要望内容等	性別	年代
26	教えられる立場を増やすことも大切です。それに加えて多くの人が『教える立場』になる環境づくりができればよいと思います。	男	30歳代
27	アート県といわれる香川ですが、瀬戸芸でも東讃の盛り上がりは小さいように思われます。子供達(美術部等)の芸術祭参加など、アートの芽をもっと伸ばす事業も希望します。直島のように子供時代からいろいろな体験をして大人になり、またそこから何かを発信していけるような「さぬき市」になれば、さぬき市に住みたいという子育て世代や移住する方も増えるのではないのでしょうか。	女	40歳代
28	ナイナイのお見合いイベントに来てもらう。	女	50歳代
29	宮崎県串間市から移って来たものです。さぬき市について生涯学習についてよくわかりません。老いて参りましたが体は動かし楽しみたいと思います。宮崎では月2回フラダンスをやっていました。そして年1回大きな舞台で発表会がありました。衣装もはなやかで気分も若くなりとてもよかったです。個人的に教室に行きますと月謝が高いですね。生涯学習だと2000円までで出来るのでは？先生は誰でもと言うのではなくそれなりに上手な方が望ましい。高齢卓球の初心者向け私は志度天野地区ですので音楽ホール当たり志度内だと思っていますが寒川、みろく等、遠すぎていやですね。私は孫保育送り迎えしてますから昼間の時間帯が望ましい。牟礼はとても充実してますよ。	女	70歳代
30	目前に高齢社会になります。健康保険の無駄使いと寝たきりにならないために65才～でも早目に頭、脳、下肢筋力の衰えを防止するために市が1～2回/月、町別に人員を決め(集会場でも可)一部自己負担(300～500円/1回)で半日でも頭の体操、下肢筋力低下予防の体操をして、たまには高齢者に身近な講演などをして下されば助かります。現在、70才以上の方が自宅または病院で一日を過ごされているのではないのでしょうか。現在、市がデイサービスの形ではなく近くで(集会場)市が主催して下さればと思います。高齢者でも一部積極的な方は車の運転をしてサークル活動、運動に参加されていると思いますが。	女	70歳代
31	あまり深く考えたことがなかった(生涯学習について)。自分が興味のあるものを学習して行きたいと思っている。	女	50歳代
32	体力づくり、娯楽なども良いですが(健康でこそ活動できますから)、ただ人間としてのマナー、ルールなども大事じゃないかと。自分が使ったもの(缶、弁当、タバコ、その他)に対して責任を持って処理するのはあたり前です。ゴミ捨ては年令に関係ないです。ほんととあきれています(自分が拾う事によってわかると思います)。大便があるときも。	男	60歳代
33	私は転職を考えていますが、また一からになりとても不安です。これから役に立つことや資格のこととか学べたらいいと思う。	男	20歳代
34	芸術関係の行事・学習が少ないように思います。(特に音楽関係)楽器などに興味がありますので学習したいのですが・・・(ピアノ、コーラスなど)よろしくお願いします。(津田町で)	女	70歳代
35	見学会、体験入会があれば良い。既にあるのかもしれませんが。	男	70歳代
36	イベントではなく、昔ながらのお祭りをしてほしい。出店がある祭りで人々の交流、ふれあいを増やすこと。	男	30歳代
37	公民館活動は、地域のコミュニケーションの場所として各種の会合、催しに利用しています。今後はだれでも参加できる地域活動の場として、多種の会合を計画してほしい。	男	70歳代
38	スポーツ、体力づくりの場を参加しやすいように (例)・腰痛(ギックリ腰)予防の運動 ・姿勢を正しく直す・シェイプアップ ・美しい歩き方 いろいろ取り入れてほしい	女	50歳代
39	市の予算が十分とれないと思うが、内容を予算内で決めずに、個人負担をしても中身の充実したものを、少ない回数でも希望。(バラまきの活動や決まりきったものは再チェックして、時代に合ったものに変えていきたいといいし、年代も幅広く活動できるものがおもしろいと思う。	女	60歳代
40	(例)地域を数ヶ所を統合し、月1～2回指導員又はボランティアの方の指導の上、健康ウォーキング、ラジオ体操等高齢者が多く戸外に出る機会の場を(さぬき市老連モデル地区の様に)。初めは散歩の気持ちで、1～2時間を目安に始めては・・・。何らかの活動の場があれば、参加してみようか意志が持てないのでしょうか？(環境は自然いっぱい市だから)	女	60歳代
41	生涯学習の内容の充実と、仕事を持っている人に対して時間帯の設定を遅くして欲しい。	女	50歳代
42	将来国際人となる機会が必要となるので、語学学習を重要と考えます。さぬき市民の多くが外国語に接することが出来るよう希望します。	男	70歳代
43	生涯学習は女性の方が積極的であるように思います。生涯学習の行事としては、男性高齢者の健康維持のために体操が必要ではないのでしょうか？現在の高齢者医療費増加や認知症の問題、生活習慣病など、体力低下に伴う筋力の衰えに対応出来るものが望ましいと思います。(特に男性高齢者限定)	女	70歳代
44	大川町に在住しているものですが、現在志度の働く婦人の家で洋裁を受講しているのですが、今は車で行くことが出来るのですが、少し遠いので大川町にも洋裁教室を開いて欲しいです。志度音楽ホールでのピアノ教室について、定員の数を増やすか又は別の施設で講座を増やして欲しい。希望する人が多いため受講できない場合がある様に思います。	女	60歳代

意見・要望内容等		性別	年代
45	いきいき自主講座について ①公民館を使用しているが、会費は講座によりまちまちで月3,000円～無料までであるが、公の建物を使用している以上1,000円ぐらいまでの会費が妥当と思っています。特別に材料等が必要であればそれは別途個々に支払えば良いと思う。(会費に入れるべきではない。) ②一人の先生が何箇所もの公民館を使用している状況もあるようで、公の建物を利用して多くの収入を得ているとの噂もあり、これは改めるべきである。公民館を使用するのであれば、ボランティアに近いものでなければいけないと思う。(交通費等の実費程度でよいと思います。) ③市の財政も厳しいので公民館を利用している人には利用料として少し負担してもらおうとよいのでは？ ④【提案】 (ア)各講座(会費が1,000円以下のものは除く)の会費内訳について市報で発表してください。また、会費の会計監査をするべきである。(会費＝月謝となっていないか。) (イ)各受講者から市が会費として毎月1,000円徴収し、指導者に市が交通費等の実費を支払ってはどうか。	女	60歳代

➡ 生涯学習施設及び施設内設備等についての意見・要望

意見・要望内容等		性別	年代
46	芝の養生	男	40歳代
47	市のスポーツジムがあれば良いと思います。	女	60歳代
48	公的施設を利用する機会がない為よく分かりません。	女	20歳代
49	高齢化するので近くで参加できるようにして欲しい。	女	60歳代
50	運動公園の職員の知識向上の研修を乞う。(地理不案内)	男	60歳代
51	高齢者が気軽に集まれるところをもう少し多く場所をつくってほしい。	男	70歳代
52	体育館とかの早い者順で利用しているのはどうなのか。後から来た者が使えない。	男	30歳代
53	参加しやすい近くの場所での事業を希望。参加したくても交通アクセスの問題がある。	女	20歳代
54	利用度の少ない施設の有効活用を考えたい。新設の必要はない(超高齢化社会への対応)。	男	70歳代
55	小さな幼児が遊べる公園が作ってほしい。小学校、幼稚園、保育所にも入れず、公園も遠いです。	女	40歳代
56	小さい子供を連れていける公的施設の充実をしてほしい。	女	30歳代
57	現在育児をしている者の意見として、子どもと遊べる施設が少なすぎると思います。そして清潔でない気がします。	女	30歳代
58	地区ごとの施設が多すぎてとてもむだだと思う。時代にあったやり方で、経費のむだ使いをやめてほしい。	女	60歳代
59	講演会、催し物、大会等の参加に交通の便が悪い。高齢になると車の運転、自転車での移動も困難。良い方法があったらと思う。	女	70歳代
60	あっちこっちにありすぎ。散らばりすぎ。統合して内容の濃いものにして欲しい。さぬき市合併しても、何にも変わってない感じです。	女	60歳代
61	高齢者が利用できる室内スポーツジム等があれば、健康増進に大いに役立つと思う。他県には多くあると聞いている。特に希望いたします。	男	70歳代
62	志度図書館の設立は大変良かった。中・高校生、一般の人々も有意義に利用している。ふれあいプラザ等もよく利用しているようだ。自動車の進入路が不便である(鴨部)。	男	80歳以上
63	足腰弱った老人でも参加可能になる様な方法、近くで集会場があれば行ってみたい。今迄のやり方は、考え方によればある程度若者むき？80才以上でも少しだけ勉強してみたい。	女	80歳以上
64	今は仕事をしているために時間がとれず参加できませんが、時間がとれる様になれば参加したいと思っています。近くで、大勢ではなく家庭的な感じで出来れば良いと思っています。	女	60歳代
65	3才の子供がいてフルで仕事をしているので、なかなか公的施設を使用する時間がありません。図書館を、月曜が仕事が休みなので、使用する機会がありませんでした。幼児が使える施設がたくさんあればと思います。	女	30歳代
66	私は志度町内在住の者で卓球を愛好する者ですが、現在志度中学校体育館で毎週火曜日(午後7時～午後10時)に体育館が開放されており利用していますが毎週日曜日にも同体育館で利用が出来たらと思います、宜しくお願いします。	男	70歳代
67	生涯学習に使用する施設(公民館や体育館)については、今後修繕・備品更新等で維持管理費が増加すると思うので、使用しない市民との公平性を考え、受益者負担という意味から施設使用料の値上げを検討されても良いと思います。	男	30歳代

	意見・要望内容等	性別	年代
68	今は県外にいますがツインパルが再開しよかったと思います。バスケットをしています。学校のグラウンドにもゴールがなくさみしい限りです。増えていけばいいと願っています。ミニの指導者も若い人が増えて行けばもりあがるのでは	男	10歳代
69	今あるものをどう活かすか。なぜ活かせないかを考え新しいものをつくるのではなく、もっと今あるものを充実すべきだと思います。子育ての中でほとんど時間も今は何もできませんが、時間ができたら活用したいと思える施設をしてほしいです。また子どもと遊べる公園等を安全に使えるよう古いものは直してほしいです。	女	30歳代
70	ボランティア活動(男女共同参画社会など)についての講演会が、現在は平日に行われているようです。休日にも開催していただくと、活動する人も増えると思います。図書館を時々利用します。読書や勉強だけでなく、将棋などをして仲間との楽しい時間を過ごしている人たちを見かけます。施設や設備の充実は大切だなあと感じます。	女	30歳代
71	公的施設がたくさんあることにおどろきました。行事には参加したことがないのでどの程度参加者(利用者)があるのかわかりません。問16については、回答がむずかしいと思います。利用者が多いもの(人気があるもの)は宣伝をして回数を増やして、あちこちの施設ですればいいと思いますが、利用率が低いものは、設備の管理費も必要ですから統合した方がよいと思います。	女	50歳代
72	合併したとはいえ、各地区で同じような物が同じ時期に、同じように開催され、同じような施設が同じような内容で、同じ赤字をたれ流している。学校は簡単に統合するが、各地区にある野球場、運動公園、広場等々はそのまま。学校は減少するのに、このような施設はそのままのはいかなものか？新しく地区にこだわらず、必要な生涯学習に必要な施設を作るべし。赤字施設をつぶし、地区にこだわらず新施設を作ることです。	男	70歳代
73	子育て中ですので、子どもと一緒に参加できて、体を動かして楽しめるような企画があればと思います。年度末で生涯学習の計画期間が終了とありましたが、このアンケートが届かなかったらわからない情報でした。施設がたくさんあることに驚きましたが、建物が古いところがたくさんありますし、統合して設備を充実するという考えに賛成です。しかし市民としては、生涯学習よりもっと福祉や医療、大切な面で公的資金を使って欲しいです。	女	30歳代
74	スポーツに関して、トレーニング施設(ルーム)を地区に1箇所程度作って欲しい。また、平日にも夜間利用が出来るよう少し遅くまで開けていただければサラリーマンにも助かります。自然、道路の整備も進んでいるさぬき市で是非ともサイクリングの取り組み(サークル、勉強会、自転車の貸出等)をしていただければ中高年の体力づくり、健康に楽しく気軽に参加できると感じます。	男	50歳代
75	さぬき市にも隣の三木町の「サンサン館三木」のような、スポーツ施設、図書館、その他学習施設などが整った公的施設を望みます。個人的にはスポーツ施設、勉強・自主学習スペースの広い図書館の設立を希望します。私は社会人で、現在フットサルのとあるチームに入っていますが、さぬき市内で行えるところは知らず、高松市の東部運動公園を利用したりしています。また試験や資格の勉強については、「サンサン館みき」や飲食店を利用しているのが現状で、さぬき市から出ていづれも行っています。さぬき市内の公的施設が充実すれば、市内の人の利用率も増え、結果としてさぬき市の発展にもつながっていくのではないのでしょうか。	男	20歳代
76	現実に日々仕事、家事に時間におわれ、施設等の使用をした事はありません。子供が小さい頃は、学校、地域の役をし、関わることも多く、かなりの頻度で使用しておりました。子育て中は地域の設備は必ず利用し必要なものです。安全で機能的に活動できるようにメンテナンスを行ってほしいです。そして高齢者が娯楽の場として何歳になっても勉強心を忘れずいきいきと活動できるコミュニティの場として、公共の場は必要不可欠です。そのためにはまず健康づくり。医療費の削減になるだけではなく、まんねり病院通いをやめ、公共の設備を利用してリハビリ等を受けてもらうようにして下さい。無駄な医療費がそこにいきすぎています。(リハビリツアーバスを出すとか・・・)	女	50歳代
77	さぬき市にあってほしいのは、演劇、コンサート、美術展など文化的な(上質なもの)が開ける建物です。高松まで行けばそれらに接する事はできますが、生涯学習という限り高齢になっても、車が運転できずとも、さぬき市内にあれば大変助かると思います。(個人的なことですが、私の場合京阪神ですばらしい美術展や一流の演劇がある時は、さいわいまだ健康ですので高速バスで出向いています。)蔵書の充実した大きな図書館もあればいいですね。生涯学習として続ける場合、スポーツ的なものは体力的にいつか出来なくなる時がきます。が、文化的なものは、体力が衰えたとしてもずっと長くやって行けます。体育館やスポーツ広場などはもう充分整っていると思いますので、それ以外の文化的催事が行える施設の充実を希望します。	女	50歳代

◆ 生涯学習に関する情報提供についての意見・要望

	意見・要望内容等	性別	年代
78	活動内容、実施日、サークル等広報にでもっと報告すべき！	男	60歳代
79	もっと詳しく知らせてほしいです。(場所、時間、参加方法等)	女	60歳代
80	情報があまり伝わってこないの、いつ、どこで、何をやっているのかわかりにくい。	女	60歳代

	意見・要望内容等	性別	年代
81	生涯学習、ボランティアについては、やる気がありますが、現在は仕事で時間がとれないため、学習等情報提供を情報誌等で実施を希望する。	男	60歳代
82	退職して時間に余裕ができ、自分の教養を高めるための活動とボランティア活動ができたらと思っています。そのための情報等が得られたらと思っています。	女	60歳代
83	リビング文化教室のようなシステムが気軽に受講しやすくて良い。毎月広報などに掲載して人気のある講座は繰り返し行う。さんさん館三木のようなシステムが良い。	女	50歳代
84	今は育児のため、自宅にこもりがちで外部からの情報がとても少ないです。たまに外出するスーパーなどの目につきやすい場所に、情報資料があれば嬉しく思います。	女	30歳代
85	高齢者は動いて頭を使っていれば元気でいられます。行事と誘いかけのことを考えていただけたら、健康寿命も延びると思います。よろしくご指導の程おねがいします。	男	70歳代
86	私自身の意識が薄いのか、どこでどの様な活動が運営されているのか、なかなか個人に伝わって来ないので、参加、学習が出来ないのが現状です。意欲はあるのですが。	女	70歳代
87	参加募集について＝ロコミではなかなか周知できないので教育委員会へ申込みば有線放送で5回か6回でも無料で放送していただきたいです。生涯学習事業として許可いただける部門に限ってです。	女	80歳以上
88	広報等を利用してさぬき市で活動している団体の紹介や特集をしてほしい。事業全般での紹介や相談を受け付ける窓口を設置してほしい。窓口があるなら、それを市民全体に知ってもらえるよう活動してほしい。	男	20歳代
89	問16の施設数及び行事数の現状について知らないが、学習を希望する者が何かを得たい時に行事等を探した際に目に留まりやすいようにすべき。インターネット等でホームページ上でわかりやすく記載するなど。	男	20歳代
90	事業内容について、何をどの様に行っているかわからないため、このアンケートの解答については信頼性の乏しいものとなっている。よって事業内容を市民に周知する活動をするべきだ！そもそも「さぬき市生涯学習計画」とは何ですか？	男	30歳代
91	生涯学習の必要性については個人差がある。基本的には情報の提供をしっかりとすれば良い。内容の充実等は、個人又は同じ目的を持ったグループでレベルアップすれば良い。なお、施設の利用等で市への要望があれば、できるだけ便宜を図る。	男	70歳代
92	生涯学習事業と言っても何をしているのか存在も知らない。周知が十分でないのでは？三木町のような色々な講座を開くことは無いのですか。既に開いているのであればやはり周知が不十分。【問12】にあるようなテーマに一体どれほどの人が興味を持つのか疑問。三木さんさん館でやっているような事が興味深い。	男	30歳代
93	まず、さぬき市どのような生涯学習が行われているのかを全く知りません。私自身が情報を集めようとしていないことも理由の1つですがもう少し情報提供、若い世代でも気軽に参加できるような事業を分かりやすい形で周知していただければと思います。	女	20歳代
94	冊子によってボランティア等の呼びかけをするのが一番良い。しかし、それだけでは冊子自体を読む人が少ないので、さぬき市独自の無料配布冊子を提案する。さぬき市にある全てのお店にスポンサーになってもらい、割引クーポンを付けさせてもらい同時に広告する。更には、学生等の活動をも取り上げることで低年齢と保護者の層も取り込める。その上でボランティア活動や勉強会、サークル活動の募集ページを作り人集めをしてはどうか。	男	30歳代

➡ 行政についての意見・要望

	意見・要望内容等	性別	年代
95	生涯学習については形体が多岐にわたり、支援もどう企画しようと不公平になると思います。積極的な創造型でなく支援中心に考えられたらいいかと。	男	60歳代
96	このアンケート用紙が届くまで、さぬき市に生涯学習課と言う課があることも知らなかったので良い機会になりました。そんな市民がもっといそうなので情報を発信していただきたいと思います。	女	30歳代
97	私は家事の合間に(ボケ)防止として編み物をしています。編んだりほいたりして。いろいろな活動に参加するとしても、交通の便が悪く参加出来ない事が多いです。	女	80歳以上
98	もっと市民の事を考えて行動する事。生涯学習課の人の自己満足になっていませんか？このアンケートの意味がわからない。する意味がない。このアンケートかわるべき。記入している人の事を考えろ！時間の無駄じゃ！	女	20歳代

	意見・要望内容等	性別	年代
99	旧の町政のあとがいまだに残っている。また、体育施設の管理者(緑造園?)の合理化により事実、サービスが低下している。市役所への報告と実に言っている事に差がある。もう少し使用者が増えるように努力するべきだ。行政として!!	男	40歳代
100	生涯学習そのものの意味や、それを理解しているか、個々人がその必要性を感じているか、又参加しようとする意識があるのか?どうすれば参加意識が高まるのか?又、何故各々の行事への参加が少ないのかを考えて見ることも大切と考えます。	男	60歳代
101	「ボランティア活動など」子ども～老人まで連携が大切(バラバラ)にしている。共に交流をしながら相互理解を深め地域の一員として役割や地域意識を高められるのではないのでしょうか。コーディネーター役は行政の横の連携も考えてはどうでしょうか。	男	70歳代
102	生涯学習の必要性を再検討しては。本当に必要とされていることか?行政が手を出すことではないのでは。行政側が自ら仕事を創り、手間と金の消費の為に宣伝しているのでは。自己責任で、行政などに頼らずに生活出来る最低限の活動が、これからの行政に求められるのでは。	男	50歳代
103	教えてもらった事柄は大変良かったと思います。高齢化社会に対して食の大切さ健康管理の大切さ、みんなが勉強して疾病の予防に努めることが社会、個人にとって幸福であると考えます。これから色々な分野に於いて的確な施策をしてください。常に問題意識を持ち続けてゆく姿勢が明日を良くする第一歩です。	男	60歳代
104	市民一部の人しか参加していない生涯学習活動無意味である。施設の充実、事業計画、税の無駄な使い方、予算を年度内に使わなければと言った考えを払拭すべきである。学習に参加出来ず、いつまでも生活の為に働いている人達がたくさん居る事を考慮すべきではないか。3000名ものアンケートを発信自体も無駄な税の使い方である。すべてがマスターベーションである。	男	60歳代
105	趣味・娯楽的なものは、個人でもサークル的にでも続けていけばいいのではないかと思います。市として考えてほしいこと。今後ますます大変になる社会保障費を少しでもへらせるような取り組みをしてほしい。だれもが年は重ね老化していきます。その老年期の各人の生き方、健康・社会との関わり方、他人のために出来る様なボランティアの種類とか仕組、地域の中で身近なところで活動出来る新しい組織づくり等。	女	70歳代
106	生涯学習というのは本来個人的なことであるので、行政が多くかかわらない方がよいと思う。その上で施設や行事を利用するなら、当然当事者が料金は負担すべきだと思う。又、多くの住民の意見を聞いたところで、マイノリティの満足するようなことはできない。生涯学習は「かくあるべき」という信念を行政側が持ち、プランを練るのが望ましい。もちろんその場合、行政にたずさわる個々が責任をとる覚悟をもつことは言うまでもない。	男	30歳代
107	税の浪費はやめた方がよい。特に設備や運転資金が経常的にかかるものは見直すべき。学習については環境より情報の内容なので、一点集中でそこに資金を投入し、特に人件費はカットして下さい。	男	30歳代
108	私は18才で東京にでました。そして大学を終えて22才で地元にもどってきて、18まで住んでいた感じとはまた違うものをかんじれるようになって、言えることは各施設へのアクセス面や利用時間、充実性をもっと高めていけばいいのかなと思いました。首都と地方では異なるのは知っているつもりですが、色々な面で子供の時から首都圏で過ごし、育った人間とわたりあえるようにするためにも上記で挙げたようにすればいいのかなと思います。	男	20歳代
109	本アンケートについては、「生涯学習の継続の必然性あり」との発想からの誘導アンケートになっています。さぬき市の少ない財源の効率的かつ有効性を吟味し、生涯学習が本当に優先的に必要かどうか検討されましたか?平成25年度末で期間満了により終了した場合には、市の財政や事業計画のすべてを見直し、初心に帰り再度必要性の有無を検討すべきです。「従来実施してきた事業を継続する」前提のアンケートはいかがなものかと考えます。本当に市民に役立つ行政の執行を強く期待します。	男	60歳代
110	意見の内容が的を得ていないことをまずお詫び申し上げて、私が日頃感じていることを書かせて頂いております。まず最初に男女共同参画会ですが、定期的に告知されて参加者を募っていますが、単発的で継続がない。私は退職後、東かがわ警察の交通安全に取り組ませて頂いておりました関係で、今でも東かがわ市の支援を行っております。さぬき市で支援活動と思っても、各種団体が当て職ばかりで実質実態がどうしても見えません。おかしいです。いろいろな面で東かがわ市は教育・行政改革が先行しています。さぬき市はその後その後について行っています。現職時からすごく感じていました。	女	60歳代
111	現在勉強中のため、三木町のサンサン館みきの図書室や共有スペース等を利用している。理由は通常の図書館よりも開館時間が早く、閉館時間も遅いので、長時間勉強できるからである。また、図書館は月曜日が休みであるが、サンサン館みきは火曜日が休みなため、図書館が閉まっている時にも利用できる。このように施設を利用できる時間を長くすることで、仕事で時間がとれない人等にも生涯学習を行う機会を与えることができ、さぬき市においてもそのような取り組みを行うべきだと思う。市の職員のみで行うことができればNPOや民間の力を使えばいいし、Web講義等時間帯を選ばないで学習できるような取り組みも有効だと思う。	男	20歳代

	意 見 ・ 要 望 内 容 等	性別	年代
112	生涯学習や趣味の活動を行うにあたって、(率直に言えば)さぬき市が提供するサービスや情報を活用したことは、ほとんど無かった。興味のある内容のものがない。というよりは自分の興味のあるものは自分で探すことが多いので無理にさぬき市で活動をする必要性を感じず、結果として選択肢として意識しなくなっているのではないと思う。若い世代の視点からすれば、香川で言えばさぬき市よりは高松市、もっと視野を広げれば県外の方が魅力的に見えるのが事実であり、生涯学習どころか就職、生活の視点からしてもさぬき市をその場として選びたいかと問われたら難しいところである。高齢化している現状で高齢者の生活に目を向けるのも重要だとは思いますがこれからの若い世代の人間が暮らしやすい地域にしていってほしい。	男	20歳代

➡ その他の意見・要望

	意 見 ・ 要 望 内 容 等	性別	年代
113	まず、生涯学習とは何ですか？	男	50歳代
114	生涯学習事業…？ 現在何をしているのかわからない。	女	40歳代
115	生涯学習、詳しくは分かりません。	女	60歳代
116	生涯学習事業がどんな物なのかよくわかりません。	男	60歳代
117	すみません。生涯学習の意味があまりよくわかりませんでした。	女	30歳代
118	さぬき市の生涯学習について全く知識がありません。ただ、多くの働く世代は同じなのではないでしょうか。	女	40歳代
119	生涯学習という概念が一般に行き渡っていない。これが生涯学習だと一般大衆に気付かせる機会をあらゆる分野でつくって欲しい。	男	70歳代
120	なるべく市のお金を使わない様に	男	80歳以上
121	すべてを費用対効果で見直すべきと考える。	男	60歳代
122	家事、仕事におわれてゆっくりすることがない。	女	80歳以上
123	参加したい時もあるが、車以外の交通手段がない。	女	70歳代
124	行事・施設の数について知らないので答えられない。	男	40歳代
125	経済的余裕もないし、時間を作りだす余裕ももちたい。	男	60歳代
126	あまり興味がない。興味があるようなことを希望する。	女	40歳代
127	仕事フルでしている為、参加むずかしい。子育て中だし。	女	30歳代
128	帰省したばかりで現在のところ実態が理解できておりません。	男	60歳代
129	まだ小さい子どもがいるので難しいですが、良い方に変わってくれたらいいと思う。	女	30歳代
130	合併して10年になるが、まだまだ地域々の考え方が強く協調性がない。特に年いた方。	女	50歳代
131	仕事をしているので、生涯学習、ボランティアなどしたいとは思っていますが、時間がないので出来ないのが現状です。	女	70歳代
132	学習の場とアクセスがわからない。・高齢化に伴い車の運転もしなくなるので、施設へのアクセスを充実してほしい。	男	60歳代
133	講演会、催し物、大会等の参加に交通の便が悪い。高齢になると車の運転、自転車での移動も困難。良い方法があったらと思う。	女	70歳代
134	音楽ホールの利用料を納税者には安くしてほしい。少しはメリットがほしいです。納税者への差別化を少しはしてほしい。	女	30歳代
135	①人口5万人程度の市であれば、多目的ホール(演芸・音楽対応、調理施設、和室、ダンス、展示対応ホール、洋室会議室、陶芸・美術対応教室等)1か所、図書館1か所、他にこれ等の分館(いわゆる公民館3~4か所で多様な生涯学習に対応できるよう、ハード面の集約すべき。②これに伴い、対応する要員体制も集約すべき。③有期、臨時的人材で対応できるもの・ことは、正職員からこれらの人材へ切り替える。④市民が直接運営する各種講座を募集し、公表し、参加者を募る。	男	60歳代
136	施設の使用料(冷暖房)の減免はこのまま続けて頂きたいと思っています。施設の使用料が各個人一教室につき¥100を上げてでもお願いします。	女	70歳代
137	行政が行うのではなく、民間にまかせ財政負担を軽減させる。学習にかかる費用は利用者が負担する。生涯学習は必要だが、行政が助けるのではなく自己の意識で自ら行うべき。	男	40歳代
138	生涯学習は、高齢者が多く学習参加していますが、健康な体力を保つため、スポーツも市内にある民間の施設(ゴルフ・プール)を安く使用できるよう行政が働きかけてください。	女	70歳代

	意見・要望内容等	性別	年代
139	近年における生活スタイルの多様化などの社会情勢の変化により、市として住民に提供すべき生涯学習事業の在り方そのものについて検討していく必要があるのではないのでしょうか？	男	40歳代
140	アンケートの為のアンケートはやめて下さい。何かしていないといけないのでアンケートを取りましたか？何も役に立たないし、人件費のむだづかいです。何かがかわるでしょうか(笑)	女	80歳以上
141	本アンケートは、すべて実施していなければいけないものなので、高齢のため十分な答になっていません。その中で実際にできたらいいなあという項目はいくつかありますが、目的にかないませんので答えられませんでした。最後の方に希望欄もありますが、これもまた違った角度からの項目なのできちんとしたアンケート答になっていません。	女	80歳以上
142	生涯学習を理解している市民がどれくらいいるかご存知か？訳のわからないこのようなものを郵送すること、赤字の市政でまさに税金の無駄遣いであると思う。市は何を考えているのか。三木町は中学生で医療費無料となっている。税金の遣い方を思慮してもらいたい。呆れます。	女	40歳代
143	アンケートとして力作であることは解りますが、70才代の家庭の主婦にとっては解答の①方法がない設問②答の内容、が殆んどであると思います。 1)70才の女性のこれからの学習の意義 2)行動範囲の限定(運転が出来ず、交通機関が不便な場所では問題あり) など基本的な問題を考えることが大事ではないのでしょうか。	女	70歳代
144	この調査は、何のための調査か。一部活動家のみの調査でないか。もう少し年齢別に対応した一般的なアンケートにすべき。	男	70歳代
145	この世の中生涯学習事業等に参加しようと思っても皆さん仕事を持たれている方が多く時間的に余裕がない状況ではある。また初参加しようとしてもその後継続できるかどうかという不安があります。	女	40歳代
146	各個人仕事をしながら事業をするのは限りがあります。(出欠の有無など)本当は、数多く事業があればよいのですが、活動すれば人が集まるわけでもないの、自己の意識を変えながら学習活動やスポレクなど行えば良いと思います。	男	50歳代
147	高齢化し、人口も減少傾向の中で、果たして生涯学習は盛り上がるのだろうか？この分野に限らず、さぬき市は各地域でバラバラに活動しているので盛り上がらないのだろうか？それとも地域性？まあ健康で、需要の声が多くなれば、そんなに重視すべき分野ではないと思う。	男	40歳代
148	高齢化社会や職場の流動化等により、地域における人間関係の在り方の重要性が以前よりも増していると思います。同じ趣味や興味、志を軸に地域の人間関係を促進、活性化することにつながるこうした調査や活動は、最初は試行錯誤も多いかもしれませんが、継続して頂きたいと思います。	男	40歳代
149	50代になり施設がないのか。入所待ちが長すぎる。親の介護に大変です。自分の趣味、娯楽どころでなく、在宅では自由な時間が取れない。公的施設の数について、増加してほしいのは看・介護施設を希望。国民年金で入所できる施設。ショート利用でしか利用できない。グループホームは15万、入所できるわけないでしょ！自分の体が不自由になった時に入所できる施設を作して下さい。	女	50歳代
150	みろくの歴史民俗資料館に展示されている資料がガラスケースに入っており、見る事が出来ない。原稿の保存が大切だが、コピーして見られるようにしてほしい。	男	60歳代
151	生涯学習事業と呼ぶものは、高齢者の生きがいづくりと同様のものと感じられる。活動している人が高齢の方が多いためか。若い人もいろいろなものに参加しているのでしょうか？自分自身が参加したことのない活動が多いのでわからない。生涯学習事業って公民館活動のことなの？アンケートの選択肢もそういうイメージでしかない。活動場所は公共施設じゃないとダメなの？さぬき市の施設の利用状況の向上をめざしているの？“人間生きている間ずっと勉強です”というスタンスでいるのなら、このアンケートの内容がよくわかりません。ということで、“生涯学習”っていうことの理解が出来ていない人が多いことが問題なのでは？	女	50歳代
152	生涯学習事業を充実させるには、情報・指導・活動資金・人材等いろいろの総合が必要と思いますが自己の意識が最も大切ではないのでしょうか。	男	70歳代
153	趣味、やりたい事のない人々の為に必要なことだと思います。すこしでも多くの人達が生き甲斐を見付け楽しく、尚かつ社会に役立てれば最高なものとなります。生涯学習事業頑張ってください。	男	50歳代
154	そもそも、“生涯学習の事業”自体の認識が少ない。何をしているのか、どういうメリットがあるのか。地元の人間でないとわからないし、参加しづらい。同じ年代も少ないので楽しくない。活動内容をわかりやすくオープンにしてみたり料金設定などの配慮もないと難しいと思う。	女	20歳代
155	高齢者(65歳以上)向けの情報提供が、他の階層に比べると少ないのではないかと思います。何らかの学習奉仕することにより高齢者に活力、満足感を得ることに高齢者特有の症状が少しでも遅らせることが出来るのではないかと思います。健康・災害に関する講演会、研修会を定期的に開催して医療費の軽減、災害時の避難等が理解されるのではないかと思います。その他として、さぬき市の年代別構成がどの様になっているかを市広報誌で住民に知らせることも必要ではないかと思います。要望として、当調査の結果がまとまり次第市広報誌で公表してほしい。	男	70歳代

Ⅱ 各分野における課題

1 学校・家庭教育における主な課題

家庭における教育の充実に資する情報の提供、親の悩みや不安について相談できる体制の整備、親が家庭を見つめ直す契機となるような学習機会の提供など、幅広い角度から総合的に支援していくことが重要です。

少子高齢化、国際化、高度情報化など社会全体が大きく変化する中、国の教育改革の流れを踏まえた教育内容の一層の充実が求められているほか、子どもたちを取り巻く様々な今日的な課題に対し、より適切かつきめ細やかに対応していくことが求められています。

子どもを健やかに育てるためには、学校教育だけでなく、家庭や地域での教育も重要であることから、家庭や地域の教育力の向上が求められています。

2 生涯学習・スポーツにおける主な課題

生涯学習とは、自己研鑽及び自己実現のための生涯を通じた学習活動であり、市民一人ひとりのニーズや、時代の推移により多種多様なものが求められております。これらは、市民がその生涯を通じて、家庭、地域、学校及び職場で、または、個人の能力を高めるため学習するものであり、趣味や体育・レクリエーション、ボランティア活動から職業における専門知識の習得まで様々なものがあります。

しかし、住民アンケートにもあるとおり、「生涯学習」の意味、内容が広く市民に浸透していないことが分かります。その中において、市民のニーズに見合った生涯学習を推進することは、多方面にわたり困難をきたしているのが現状です。

市立図書館については、蔵書の半数以上が購入から10年以上経過した古い資料であるため、新鮮さを求める市民ニーズに対応できていないことなどから、貸出冊数が伸び悩んでいる状況です。

また、生涯学習施設及び体育館等のスポーツ施設については、老朽化が進み、耐震基準を満たさない施設があり、早急な改修又は建て替え等の措置を講ずることが求められています。

3 歴史・文化における主な課題

市内に所在している文化資源を含め、文化財の調査・保護について充実を図り、これらの貴重な財産をより積極的に活用するための基礎資料作りを行っています。

さぬき市における代表的な文化財として、津田古墳群及び富田茶臼山古墳や、旧恵利家住宅及び細川家住宅などがあり古の人々の生活習慣を知るために重要な手がかりの一つであります。その他畿内地方の中央政権との深いつながりが予想される埋蔵文化財が数多く点在していることも特徴といえます。

ただ、これらの発掘及び調査には膨大な時間と労力が必要であり、統轄的な計画の下進めていかなければならない状況です。

また、地域に伝わる伝統文化や伝統芸能では、少子高齢化の波を受け、また地場産業等に就労する人口も少なくなっていることから、地域に伝統を受け継ぐ若い力が不足している状況です。

文化活動に関しては、市民が身近に芸術文化にふれ親しみ、また、自発的に芸術文化活動を行えるように様々な機会と場の充実を図ることが望まれています。

多様化する芸術文化活動において、指導者の育成を図り、市民の要望に応えられる支援体制を充実していかなければなりません。

また、芸術作品の展示・発表の場としての文化施設においても、生涯学習施設とともに老朽化による施設の修繕箇所が増えており、所要の修繕を実施するとともに、適正な維持管理に努めていく必要があります。

4 青少年健全育成における主な課題

さぬき市の未来を担う青少年が、非行に走ることなく、素直で明るく希望あふれる青少年に育つことを目指すには、家庭や学校だけでなく、警察や地域で見守り育てていくことが、必要であります。

子どもの登下校時の安心・安全を守るための不審者情報のメール送信については、運用方法の改善を望む声があり課題となっています。

青少年期の子どもたちを、非行行為や犯罪行為から守っていくためにも、少年育成センターをはじめ子ども会育成連絡協議会やスポーツ少年団、PTA、青年会等その他関係機関が相互に連携してより積極的な活動に継続して取り組む必要があります。

5 人権・同和教育における主な課題

人権は、日本国憲法第14条にも謳われているとおり『すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。』とあります。

しかしながら、現在の社会には依然として、人種、民族、信条、性別、障害、年齢、社会的身分又は門地等による人権侵害が存在しており、人権尊重の理念に関して正しい理解が定着したとは言えない状況です。また、IT関連の普及によりインターネット等を利用した新たな人権侵害も発生しています。これらは、人命を脅かす最低で愚劣な行為であり、到底許されるべきものではありません。すべての市民が互いの立場を理解し、市民一人ひとりが支え合い、地域社会を形成していることを意識することが強く求められていることから、人権教育及び人権啓発の推進は、極めて重要な課題です。

第3章

計画の基本方針

I 基本理念

生涯学習は、現在及び将来の暮らしに心の豊かさをもたらすものです。

さぬき市では、市民一人ひとりが個性や意欲、創造性を十分に発揮することができるよう、「第2次さぬき市総合計画（平成27年3月）」の基本構想において掲げられている基本目標Ⅳ「学ぶ意欲と豊かな心を育むまち」を本計画の基本理念とします。

基本理念	基本目標	内 容
	学校・家庭・地域の教育力の連携と強化	① 子育て支援の充実 ② 家庭教育の啓発と推進 ③ 家庭・地域・学校の連携による教育環境の充実
学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	生涯学習・生涯スポーツの推進	① 生涯学習の推進
		② 生涯スポーツの推進
		③ 生涯学習施設等の適切な整備と管理運営
	歴史・文化の伝承	① 文化財の保存と活用
		② 地域の歴史と伝統文化の伝承
		③ 文化活動の推進と優れた芸術に触れる機会の提供
	青少年の健全育成	① 青少年健全育成活動の推進
		② 健全な社会環境づくり
		③ 相談・支援活動の充実
	人権教育の推進	① 人権教育・啓発活動の推進と充実
		② 国内外の交流を通じた活動の推進
		③ あらゆる差別、いじめ、暴力の根絶

Ⅱ 基本目標と内容

基本理念「学ぶ意欲と豊かな心を育むまち」に基づき、本計画の基本目標を以下に示します。

1 学校・家庭・地域の教育力の連携と強化

さぬき市の未来を担う子どもたちの豊かな人間性、たくましくしなやかな心身を育む教育活動を推進するために、多様な個性を生かし、一人ひとりの能力を伸ばし生涯にわたって豊かな心を持ち続けられるよう学校と家庭が地域の協力を得ながら子育てできる環境づくりを整備します。

また、親子がふれあい、親同士等の交流が深められる場所の整備に努め、子育て世代の悩み解消や、情報の共有化を図ります。

2 生涯学習・生涯スポーツの推進

生涯にわたって、生活に潤いをあたえ、また、生活の向上や職業能力の向上、生きがいづくり等のため、生涯学習を推進します。

そのために、市民の多様な学習ニーズに応じた学習機会を提供する情報の伝達や、習得した技術や知識を発表できる場や機会の創出などにより、学習意欲を高める工夫を行います。

健康づくりや体力づくりの視点をもって、市民が気軽に参加できる体育・スポーツの振興を図り、生涯にわたって健康を維持し健康寿命の長寿化を目指します。

また、多種・多様化するスポーツ分野の市民ニーズに対応し、地域スポーツを推進するうえで、指導者の養成は不可欠であるため、各種講習会及び研修会への参加促進や、体育協会等の団体育成を図ります。

また、図書館や公民館などの生涯学習施設や、地域における生涯スポーツの拠点である社会体育施設については、市民の生活を豊かにする機能を持つ重要な施設であることから、利活用者の満足度を高められるよう、適正な維持管理と運営に努めていきます。

3 歴史・文化の伝承

市内各所に所在する文化財資料は、さぬき市の歴史を具体的に知る貴重な資料であることから、今後も整理作業を継続し、保存に関する検討・専門委員会等の意見をもって、適正な保存に努め、成果を広く市民に伝えていきます。また、富田茶臼山古墳や津田古墳群などの国指定史跡については、復元も含めた整備に努め、観光拠点施設も視野に入れた活用方法を計画していきます。

地域に伝承されている伝統文化や伝統芸能についても、若い力を育成し継承できるよう努めていくとともに、必要な支援を行っていきます。

芸術や文化活動におきましては、生涯学習の根幹である自己実現のため、また、自己研鑽のためにも、これを推奨し、市民の文化意識の向上が図れるよう、団体育成及び活動場所や発表場所の確保に努めます。

また、志度音楽ホールをはじめとした文化施設の適切な整備と管理運営に努めます。

4 青少年の健全育成

青少年を取り巻く環境は、近年のインターネットの普及などで大きく変化しており、携帯電話をはじめSNSの利用、多種多様な情報の安易な入手が可能なことから、姿を見せない誹謗や中傷によるいじめや、また、大麻や危険ドラッグなど非合法な薬物の低年齢層への蔓延化など、非行や不良行為の危険因子が溢れています。

青少年の非行を早期に発見するために、家庭・学校・地域・警察が相互に連携し、青少年の健全な育成を目指し、明るく住みよいまちづくりに努めます。

さらに、広報啓発や有害な環境の浄化を進めるとともに、不登校児童・生徒のための適応指導教室の充実を図ります。

5 人権教育の推進

人権侵害は、インターネット等を利用した新たな案件が発生するなど、その形態は形を変化しつつも存在し、心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命、又は、身体に重大な危険を生じさせるものであり、あってはならない行為です。

同和問題をはじめとする様々な差別や人権問題の解決を図り、すべての市民が幸せに暮らせるよう、これまでの取組を継続しつつ、社会情勢の変化を的確にとらえた対応を図ります。

また、人権意識向上の一端として、市民の視野を広げ、思考を豊かにするために、国際交流活動の推進や国内他市町村との児童交流を実施していくとともに、市内居住外国人との交流の機会を設けるなど支援を行っていきます。

家庭内におけるDVや児童、高齢者虐待など人権問題を起因とするあらゆる差別、いじめ、暴力の根絶に向けた啓発活動に取り組むとともに、被害の防止・解決に努めていきます。



第4章

計画の内容



1 学校・家庭・地域の教育力の連携と強化

(1) 子育て支援の充実

乳幼児期の親子のふれあいを大切にした子育てプログラムの基本方針に則り、結婚、出産、子育てなど家庭生活における様々な悩みを解消するために、相談窓口や、親育ちプログラム関連事業を継続して実施します。

幼児期に培う力が、小学校以降の生活や学習に円滑につながるよう、幼児一人ひとりの発達課題や学びの連続性を踏まえ、家庭や地域と連携しながら子どもの育ちを支える就学前教育の充実に努めます。

(2) 家庭教育の啓発と推進

親子で参加できる家庭教育講座を実施するとともに、子育て支援広場「kimama・Garden」を実施し、子育て中の親と子育てにかかわる人とのつながりをつくり、子育てについての情報交換や情報提供等をします。

(3) 家庭・地域・学校の連携による教育環境の充実

家庭教育力向上応援講座を全小学校及び全幼稚園で実施します。また、放課後や週末等に学校施設や公民館等を活用し、子どもの安全・安心な活動拠点となる子ども教室を開設し、地域住民の参画を得て、学習・スポーツ・文化活動などの交流活動等に取り組みます。

幼・小・中学校で、地域と連携した授業展開や、登下校時の見守り隊活動、学校図書書の整理などを行う学校支援ボランティアの増員を図るため養成講座を実施し、新たな人材を育成します。

2 生涯学習・生涯スポーツの推進

(1) 生涯学習の推進

市民一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において自ら学習することができる社会の実現を図るとともに、住み良いふるさとづくりを進めていくため、学校や家庭、地域など社会全体が一体となった生涯学習を推進します。

市民が利用しやすい図書館づくりや蔵書の充実、新しい利用者への働きかけを含めた読書へのきっかけづくりに努めます。

(2) 生涯スポーツの推進

市民の健康・体力づくりのため、各種スポーツ大会及び教室に参加できるよう市体育協会等と連携して取り組むなど、広く市民スポーツを推奨します。また、スポーツ推進員をはじめ、各種競技団体指導者等を介しスポーツを通じたコミュニケーションづくりを行います。

幼児から高齢者まで幅広く楽しめるニュースポーツの新規開拓や、スポーツ参加機運を高めるため、賞賜金制度を活用して選手の活躍を支援していきます。

(3) 生涯学習施設等の適切な整備と管理運営

公民館や図書館をはじめとする生涯学習施設やスポーツの拠点である体育施設については、安全で利用しやすい施設として提供していけるよう必要な改修・整備を実施するとともに、適切な管理運営に努めます。

3 歴史・文化の伝承

(1) 文化財の保存と活用

貴重な歴史的財産である文化資料や文化財を適切に保存し、次世代へ継承するとともに、積極的な公開・活用を通じて市民が文化財等に親しみ、その価値への理解を深めていけるよう取り組みます。

(2) 地域の歴史と伝統文化の伝承

地域に伝わる伝統文化や伝統芸能を受け継ぐ若い力が不足し廃れつつあるため、子どもたちが小さいうちから関わるができるよう、担い手の育成に協力して伝統文化を継承・発展させていきます。また、歴史上の人物についても具体的に伝え、郷土愛を育む機会を多く設けるよう取り組みます。

(3) 文化活動の推進と優れた芸術に触れる機会の提供

各種活動団体の育成を支援するとともに、相互に連携しながら取り組めるネットワーク体制の構築をより強化していきます。

ハード、ソフトの両面から市民の主体的文化創作活動を支援していくとともに、優れた芸術文化に触れる機会の提供などに努めます。

4 青少年の健全育成

(1) 青少年健全育成活動の推進

すべての青少年が非行に走ることなく、素直で明るく希望あふれる青少年に育つことを目指して、学校、警察及び関係機関と連携し、補導体験活動や街頭での広報・啓発活動を行います。また、青少年健全育成市民会議や、校区会議等が行う健全育成活動を支援します。

(2) 健全な社会環境づくり

少年育成センター補導員による街頭補導を強化し、非行や不良行為の早期発見と防止に努めるなど、早期の非行対策を講じます。

警察、学校及び市民等から寄せられた不審者情報について、安全・安心コミュニティシステムを通して保護者に向けた注意喚起のメール配信を行います。また、不審者の現れにくい環境づくりに向けて、こどもＳＯＳの取組を継続するとともに、登下校時の見守りをはじめ、地域ぐるみで安全・安心づくりを推進します。

青少年のたまり場、有害図書、自動販売機等、青少年の健全な成長を妨げる環境を把握し、有害図書等の回収や重点パトロールの強化などにより環境の浄化に努めます。

(3) 相談・支援活動の充実

不登校や引きこもりの児童・生徒、その保護者等に対して、学校、家庭及び関係機関等と連携して相談活動を推進し、悩みの解決を図るとともに、適応指導教室において児童・生徒の支援に努めるとともに、広報活動を通じ、悩みを抱えている潜在的相談者の掘り起こしに努めます。

5 人権教育の推進

(1) 人権教育・啓発活動の推進と充実

すべての人が生涯にわたり、同和問題などのあらゆる人権問題について理解と認識を深めていくために各種啓発事業を実施します。また、人権教育を推進することで、市民の人権意識の向上を図り、差別や偏見のない人権尊重社会の実現を目指します。

(2) 国内外の交流を通じた活動の推進

国内市外の人との交流活動により、人と人とのふれあいの場を提供し、思いやりある人間づくりを目指します。また、市内居住外国人との異文化交流を深め、活動主体に対し可能な支援を行うとともに、活性化に努めます。

(3) あらゆる差別、いじめ、暴力の根絶

DVや児童虐待、セクシャルハラスメント、パワーハラスメントなどをはじめとするあらゆる暴力やいじめ、差別の根絶に向け、啓発活動の推進や相談窓口の充実に努めます。



第5章

計画の推進



1 生涯学習の普及・啓発と情報提供

市民一人ひとりが生涯にわたる学習を通じて教養や知能を高め、心の豊かさや生きがいを感じるとともに、学習した成果が社会生活や職業能力の向上等につながることで、自己の充実・実現を図ることができます。

本計画においては、生涯学習の意義について広く市民の理解や関心が深まり、学習活動のきっかけづくりに資するため普及・啓発に関する取り組みを推進します。また、生涯学習情報の一元的な収集、体系的な整理とともに、効果的、効率的な提供を行っていきます。

2 生涯学習推進体制の整備・充実

市民の学習ニーズや学習活動は、あらゆる世代が多岐にわたる分野について、多様な場、形態で行うものであることから、行政内部の推進体制を充実・強化するとともに、学習を支援する諸施設や教育機関、民間等との連携・協力を図り、それぞれの特性を生かし、専門性を発揮できるよう、ネットワークの構築を図ります。

3 計画の評価と進行管理

この計画の進捗管理については、生涯学習課を中心に、継続的に調査、評価し、推進に向けて取り組みます。

また、社会教育委員の会議などで市民の意見を受け、各種施策に取り組みます。

計画策定の経過

時 期	内 容
平成 25 年 5 月	次期生涯学習基本計画の策定に向けて ・ 計画策定スケジュールについて
平成 25 年 8 月	次期生涯学習基本計画の策定に向けて ・ 計画策定スケジュールの変更について ・ 市民意識アンケート調査の実施について
平成 25 年 10 月	次期生涯学習基本計画の策定に向けて ・ 市民意識アンケート調査の調査項目について
平成 26 年 2 月	生涯学習市民意識アンケート調査の実施 ・ 無作為抽出 18 歳以上の市民 3,000 人を対象に郵送 回収率 31.3%
平成 26 年 3 月	次期生涯学習基本計画の策定に向けて ・ 市民意識アンケート調査の結果報告
平成 26 年 9 月	次期生涯学習基本計画の策定に向けて ・ 資料編(案)について 市民意識アンケート調査の結果(グラフ化)
平成 27 年 11 月	次期生涯学習基本計画の策定に向けて ・ 原案検討
平成 28 年 2 月	次期生涯学習基本計画の策定に向けて ・ 原案策定
平成 28 年 3 月	さぬき市教育委員会第 12 回定例会 ・ 原案可決

さぬき市社会教育委員

区 分	氏 名	所 属 等
学校教育関係者	廣瀬 強	さぬき市小学校校長会 さぬき市立神前小学校長
学校教育関係者	江口 俊史	さぬき市中学校長会 さぬき市立志度中学校長
社会教育関係者	寒川 巧	さぬき市体育協会副会長
社会教育関係者	杉山 道代	さぬき市子ども会育成連絡協議会副会長
社会教育関係者	三好 成其	さぬき市文化財保護協会会長
社会教育関係者	中川 一美	さぬき市文化協会副会長
家庭教育の向上に資する 活動を行う者	福澤 美香	さぬき市家庭教育コーディネーター
家庭教育の向上に資する 活動を行う者	山本 正子	さぬき市婦人団体連絡協議会会長
学識経験のある者	石原 新造	香川県保護司会連合会 大川地区保護司会研修部長
学識経験のある者	松木 正美	さぬき市人権・同和教育研究協議会 企業啓発部会長

よりよく生きることを学ぶまち

自立と共生の生涯学習

主体的で自立的に生きるための学習、
生きがいを持てるような学習が生涯学習です。
地域の人々が必要に応じて学びあうまちを目指し、
自由意思に基づく学習を尊重し、自立とともに学ぶ学習を応援します。

第2次さぬき市生涯学習基本計画

平成28年 3月 策定

発行・編集 さぬき市教育委員会生涯学習課

香川県さぬき市津田町津田138番地15

TEL 0879-42-3107 / FAX 0879-42-5454

e-mail : syogaigakusyu@city.sanuki.lg.jp